

久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化
対策実行計画「区域施策編」含む）
策定にかかるアンケート調査
結果報告書

令和 5 年 4 月
久御山町

目 次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 住民アンケート調査結果	2
1 みなさんがイメージする久御山町について.....	2
2 省エネ活動状況や行動について.....	14
3 環境保全・地球温暖化対策（再エネ）に関する取組について.....	23
4 生物多様性に関する取組について.....	29
5 久御山町の環境への取組について.....	31
6 回答者について.....	39
III 事業所アンケート調査結果	42
1 事業活動と環境保全について.....	42
2 省エネルギー（省エネ）対策について.....	52
3 再生可能エネルギー※（再エネ）の導入などについて.....	58
4 電力の地産地消について.....	60
5 カーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けた事業の取組について.....	68
6 回答者について.....	70
IV 中学生アンケート調査結果	74

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、環境や温暖化対策に関するご意見をお伺いし、「久御山町環境基本計画（久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む）」策定のための基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

項目	住民アンケート	事業所アンケート	中学生アンケート
調査対象者	町内在住の 18 歳以上 2,000 人（無作為抽出）	久御山町に拠点のある事業所 1,341 社	久御山町内の中学校生 404 名（1 年生 126 名、2 年生 130 名、3 年生 148 名）
調査期間	令和 4 年 12 月 5 日（月）～ 令和 4 年 12 月 19 日（月）	令和 4 年 12 月 12 日（月） ～令和 4 年 12 月 26 日（月）	令和 5 年 1 月上旬実施
調査方法	郵送による調査票の配布・郵送による回収または WEB での回答		学校での調査票の配布・WEB での回答
配布数	2,000 件	1,341 件	404 件
有効回収数	575 件	229 件	342 件
有効回収率	28.8%	17.0%	85.0%

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

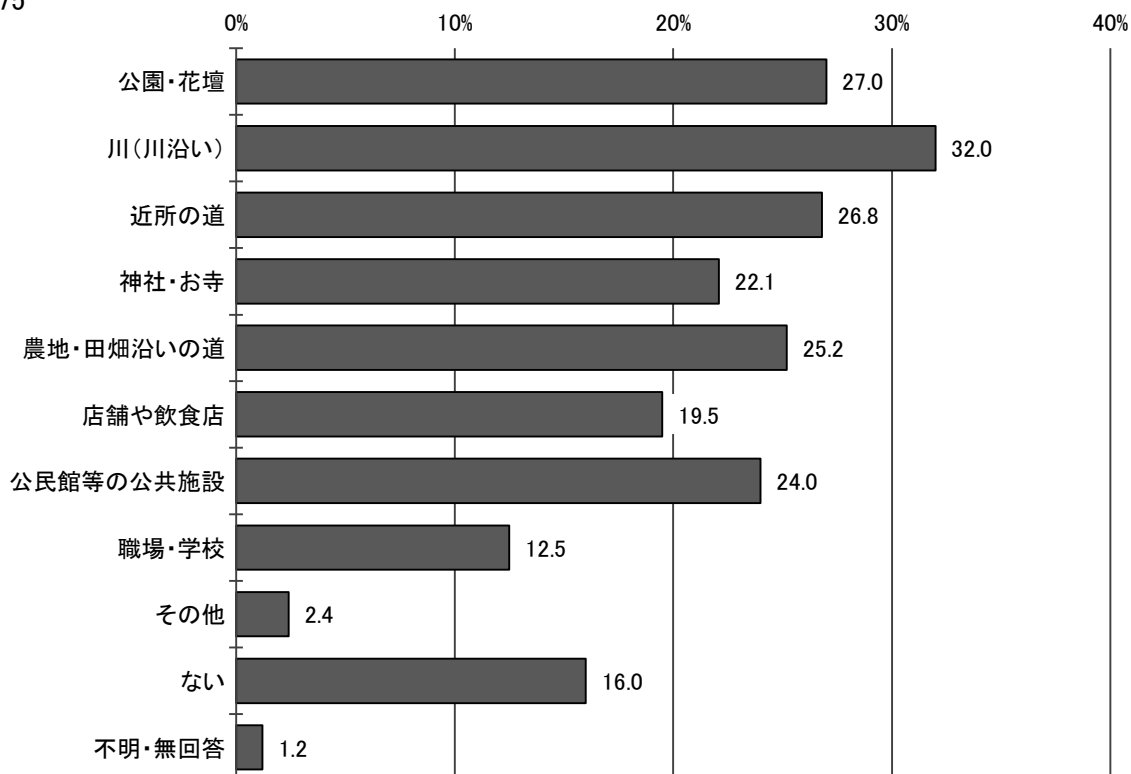
II 住民アンケート調査結果

1 みなさんがイメージする久御山町について

問1 久御山町内で、身近に自然とふれあえる、他人と交流できるような、あなたにとって大切な場所がありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

「川(川沿い)」が32.0%と最も多く、次いで「公園・花壇」が27.0%、「近所の道」が26.8%となっています。

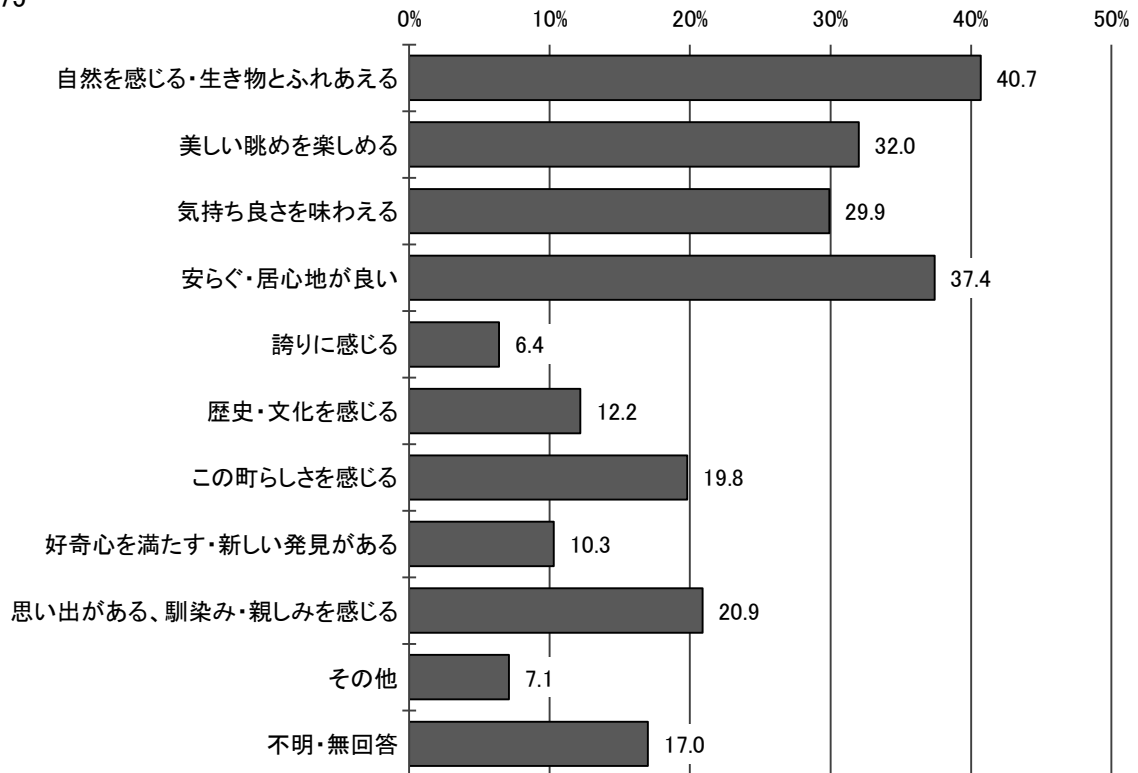
n=575



問2 問1で回答した場所が大切だと感じるのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

「自然を感じる・生き物とふれあえる」が40.7%と最も多く、次いで「安らぐ・居心地が良い」が37.4%、「美しい眺めを楽しめる」が32.0%となっています。

n=575



■ 年齢別

年代別では、『10 歳代』『20 歳代』『60 歳代』を除くすべての年代で、「自然を感じる・生き物とふれあえる」、『10 歳代』で「安らぐ・居心地が良い」、『20 歳代』で「思い出がある、馴染み・親しみを感じる」、『60 歳代』で「美しい眺めを楽しめる」「安らぐ・居心地が良い」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	自然を感じる・生き物とふれあえる	美しい眺めを楽しめる	気持ち良さを味わえる	安らぐ・居心地が良い	誇りに感じる	歴史・文化を感じる	この町らしさを感じる	好奇心を満たす・新しい発見がある
年齢	18～19歳	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	20～29歳	33 100.0	12 36.4	5 15.2	9 27.3	13 39.4	3 9.1	4 12.1	8 24.2	2 6.1
	30～39歳	40 100.0	18 45.0	6 15.0	11 27.5	13 32.5	3 7.5	2 5.0	8 20.0	2 5.0
	40～49歳	96 100.0	38 39.6	28 29.2	21 21.9	34 35.4	6 6.3	3 3.1	20 20.8	6 6.3
	50～59歳	99 100.0	35 35.4	31 31.3	32 32.3	30 30.3	3 3.0	11 11.1	15 15.2	14 14.1
	60～69歳	72 100.0	29 40.3	31 43.1	16 22.2	31 43.1	2 2.8	7 9.7	16 22.2	5 6.9
	70歳以上	223 100.0	100 44.8	80 35.9	80 35.9	88 39.5	19 8.5	42 18.8	44 19.7	29 13.0

上段:件数 下段:%		思い出がある、馴染み・親しみを感じる	その他	不明・無回答
年齢	18～19歳	1 20.0	0 0.0	1 20.0
	20～29歳	14 42.4	2 6.1	6 18.2
	30～39歳	10 25.0	2 5.0	5 12.5
	40～49歳	25 26.0	7 7.3	20 20.8
	50～59歳	27 27.3	6 6.1	19 19.2
	60～69歳	9 12.5	1 1.4	12 16.7
	70歳以上	33 14.8	23 10.3	33 14.8

■職業別

職業別では、『農業』『自営業』『学生』を除くすべての年代で、「自然を感じる・生き物とふれあえる」、「農業』『自営業』『学生』で「安らぐ・居心地が良い」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	自然を感じる・生き物とふれあえる	美しい眺めを楽しめる	気持ち良さを味わえる	安らぐ・居心地が良い	誇りに感じる	歴史・文化を感じる	この町らしさを感じる	好奇心を満たす・新しい発見がある
職業	農業	21 100.0	9 42.9	6 28.6	9 42.9	12 57.1	4 19.0	6 28.6	7 33.3	3 14.3
	自営業	38 100.0	10 26.3	12 31.6	6 15.8	14 36.8	2 5.3	4 10.5	6 15.8	4 10.5
	会社員	134 100.0	55 41.0	42 31.3	36 26.9	47 35.1	6 4.5	14 10.4	27 20.1	10 7.5
	公務員	49 100.0	23 46.9	12 24.5	13 26.5	20 40.8	1 2.0	3 6.1	10 20.4	0 0.0
	主婦(夫)	76 100.0	27 35.5	23 30.3	23 30.3	26 34.2	8 10.5	8 10.5	12 15.8	13 17.1
	パート・アルバイト	79 100.0	32 40.5	26 32.9	24 30.4	30 38.0	6 7.6	7 8.9	15 19.0	11 13.9
	学生	15 100.0	3 20.0	3 20.0	3 20.0	6 40.0	1 6.7	1 6.7	4 26.7	0 0.0
	無職	143 100.0	64 44.8	53 37.1	51 35.7	52 36.4	8 5.6	25 17.5	27 18.9	15 10.5
	その他	13 100.0	9 69.2	6 46.2	5 38.5	7 53.8	1 7.7	2 15.4	4 30.8	2 15.4

上段:件数 下段:%		思い出がある、馴染み・親しみを感じる	その他	不明・無回答
職業	農業	8 38.1	1 4.8	1 4.8
	自営業	6 15.8	2 5.3	8 21.1
	会社員	31 23.1	9 6.7	26 19.4
	公務員	13 26.5	4 8.2	3 6.1
	主婦(夫)	11 14.5	9 11.8	13 17.1
	パート・アルバイト	21 26.6	2 2.5	11 13.9
	学生	5 33.3	0 0.0	5 33.3
	無職	18 12.6	13 9.1	28 19.6
	その他	6 46.2	1 7.7	1 7.7

■住所別

住所別では、住所によってばらつきがあり、全体では「自然を感じる・生き物とふれあえる」「安らぐ・居心地が良い」が高くなっています。また、『藤和田』『野村』『田井』で「思い出がある、馴染み・親しみを感じる」、『西一口』で「歴史・文化を感じる」、『下津屋』で「美しい眺めを楽しめる」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	自然を感じる ・生き物と ふれあえる	美しい眺め を楽しめる	気持ち良さ を味わえる	安らぐ・居心 地が良い	誇りに感じ る	歴史・文化 を感じる	この町らしさ を感じる	好奇心を満 たす・新しい 発見がある
住所	大橋辺	21 100.0	9 42.9	6 28.6	8 38.1	8 38.1	2 9.5	0 0.0	4 19.0	4 19.0
	北川顔	7 100.0	3 42.9	2 28.6	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
	藤和田	7 100.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0
	島田	32 100.0	14 43.8	11 34.4	11 34.4	11 34.4	4 12.5	1 3.1	9 28.1	2 6.3
	坊之池	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0
	中島	10 100.0	4 40.0	4 40.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
	西一口	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	15 100.0	8 53.3	7 46.7	6 40.0	7 46.7	4 26.7	3 20.0	4 26.7	0 0.0
	相島	10 100.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0
	森	9 100.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2	4 44.4	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1
	野村	10 100.0	3 30.0	1 10.0	3 30.0	6 60.0	0 0.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0
	佐山	99 100.0	37 37.4	36 36.4	29 29.3	37 37.4	8 8.1	19 19.2	17 17.2	14 14.1
	佐古	25 100.0	9 36.0	9 36.0	7 28.0	11 44.0	2 8.0	3 12.0	6 24.0	5 20.0
	林	98 100.0	43 43.9	33 33.7	34 34.7	38 38.8	2 2.0	12 12.2	19 19.4	10 10.2
	市田	40 100.0	14 35.0	7 17.5	3 7.5	7 17.5	3 7.5	2 5.0	4 10.0	2 5.0
	田井	23 100.0	6 26.1	6 26.1	4 17.4	6 26.1	2 8.7	2 8.7	1 4.3	5 21.7
	下津屋	30 100.0	12 40.0	16 53.3	12 40.0	12 30.0	9 10.0	3 13.3	4 26.7	8 6.7
	栄	91 100.0	40 44.0	29 31.9	25 27.5	37 40.7	4 4.4	13 14.3	19 20.9	9 9.9

上段:件数 下段:%		思い出があ る、馴染み・ 親しみを感じ る	その他	不明・ 無回答
住所	大橋辺	1 4.8	3 14.3	6 28.6
	北川顔	2 28.6	0 0.0	2 28.6
	藤和田	3 42.9	0 0.0	2 28.6
	島田	6 18.8	1 3.1	5 15.6
	坊之池	2 40.0	0 0.0	0 0.0
	中島	4 40.0	0 0.0	3 30.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	4 26.7	1 6.7	2 13.3
	相島	4 40.0	0 0.0	3 30.0
	森	1 11.1	0 0.0	2 22.2
	野村	6 60.0	0 0.0	1 10.0
	佐山	15 15.2	8 8.1	14 14.1
	佐古	7 28.0	2 8.0	2 8.0
	林	16 16.3	6 6.1	15 15.3
	市田	6 15.0	3 7.5	14 35.0
	田井	11 47.8	5 21.7	1 4.3
	下津屋	5 16.7	1 3.3	6 20.0
	栄	19 20.9	8 8.8	15 16.5

■居住年数別

居住年数別では、『11～20年』を除くすべての居住年数で、「自然を感じる・生き物とふれあえる」、『11～20年』で「気持ち良さを味わえる」が最も高くなっています。また、『4年以内』では「安らぐ・居心地が良い」も高くなっています。

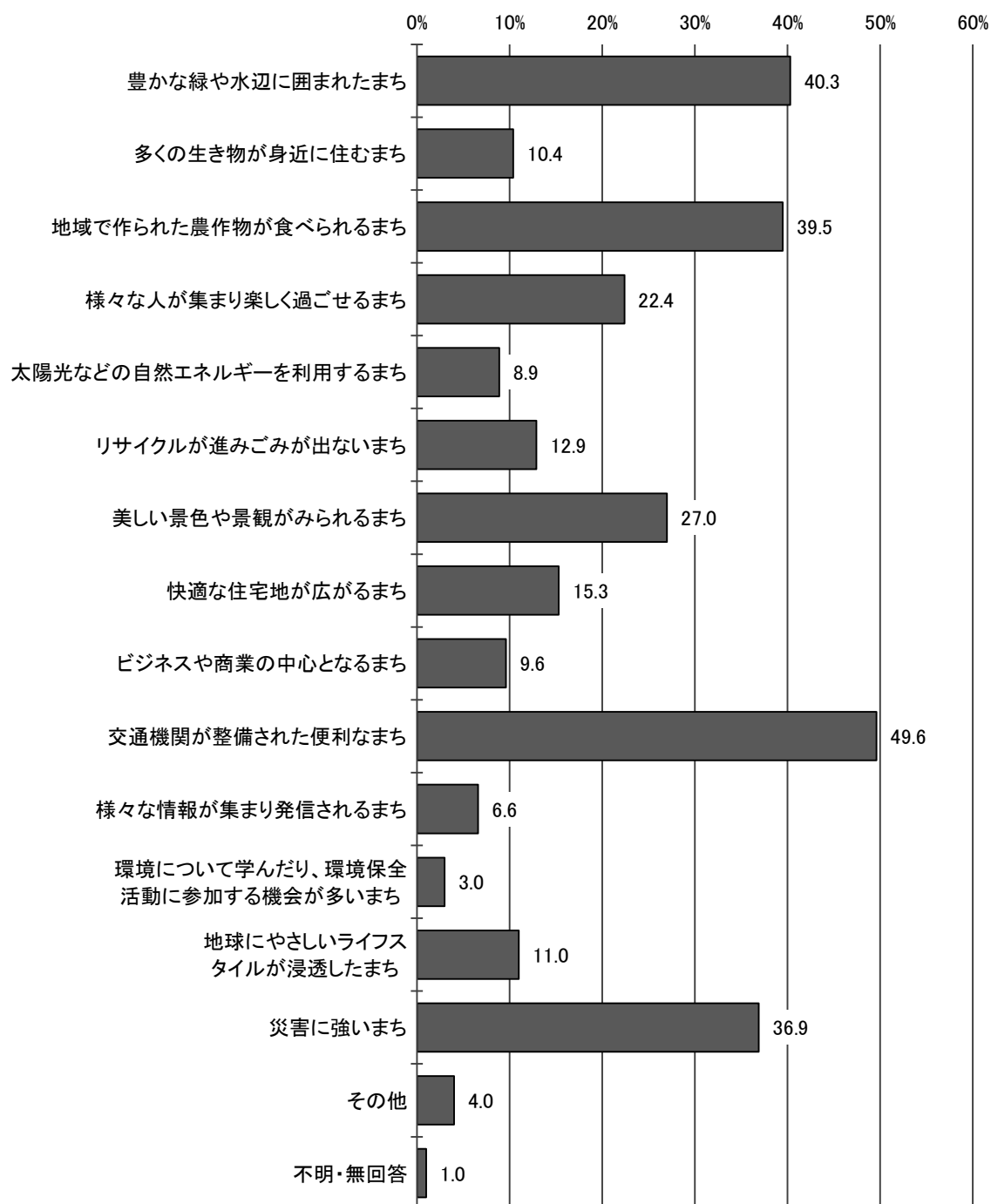
上段:件数 下段:%		合計	自然を感じる・生き物とふれあえる	美しい眺めを楽しめる	気持ち良さを味わえる	安らぐ・居心地が良い	誇りに感じる	歴史・文化を感じる	この町らしさを感じる	好奇心を満たす・新しい発見がある
居住年数	4年以内	24 100.0	9 37.5	7 29.2	7 29.2	9 37.5	0 0.0	1 4.2	7 29.2	1 4.2
	5～10年	39 100.0	19 48.7	10 25.6	9 23.1	15 38.5	3 7.7	3 7.7	6 15.4	6 15.4
	11～20年	76 100.0	24 31.6	19 25.0	26 34.2	25 32.9	1 1.3	2 2.6	16 21.1	6 7.9
	21～30年	75 100.0	35 46.7	27 36.0	19 25.3	30 40.0	8 10.7	9 12.0	20 26.7	6 8.0
	31年以上	322 100.0	129 40.1	112 34.8	97 30.1	123 38.2	25 7.8	53 16.5	58 18.0	39 12.1

上段:件数 下段:%		思い出がある、馴染み・親しみを感じる	その他	不明・無回答
居住年数	4年以内	3 12.5	0 0.0	3 12.5
	5～10年	6 15.4	5 12.8	5 12.8
	11～20年	17 22.4	6 7.9	16 21.1
	21～30年	18 24.0	7 9.3	12 16.0
	31年以上	68 21.1	20 6.2	55 17.1

問3 将来の久御山町の環境について、どのようになってほしいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

「交通機関が整備された便利なまち」が49.6%と最も多く、次いで「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」が40.3%、「地域で作られた農作物が食べられるまち」が39.5%となっています。

n=575



■年齢別

年代別では、『30歳代』を除くすべての年代で、「交通機関が整備された便利なまち」、『30歳代』で「地域で作られた農作物が食べられるまち」が最も高くなっています。また、『50歳代』では「地域で作られた農作物が食べられるまち」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や 水辺に囲ま れたまち	多くの生き 物が身近に 住むまち	地域で作ら れた農作物 が食べられ るまち	様々な人が 集まり楽しく 過ごせるま ち	太陽光など の自然エネ ルギーを利用するまち	リサイクル が進みごみ が出ないま ち	美しい景色 や景観がみ られるまち	快適な住宅 地が広がる まち
年齢	18～19歳	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0
	20～29歳	33 100.0	13 39.4	4 12.1	11 33.3	11 33.3	3 9.1	1 3.0	11 33.3	5 15.2
	30～39歳	40 100.0	12 30.0	3 7.5	24 60.0	8 20.0	2 5.0	6 15.0	8 20.0	5 12.5
	40～49歳	96 100.0	37 38.5	9 9.4	41 42.7	18 18.8	9 9.4	13 13.5	15 15.6	18 18.8
	50～59歳	99 100.0	44 44.4	7 7.1	47 47.5	17 17.2	7 7.1	9 9.1	29 29.3	17 17.2
	60～69歳	72 100.0	35 48.6	7 9.7	28 38.9	22 30.6	7 9.7	2 2.8	27 37.5	5 6.9
	70歳以上	223 100.0	88 39.5	29 13.0	75 33.6	52 23.3	22 9.9	43 19.3	62 27.8	35 15.7

上段:件数 下段:%		ビジネスや 商業の中心 となるまち	交通機関が 整備された 便利なまち	様々な情報 が集まり発 信されるま ち	環境につい て学んだり、 環境保全活 動に参加す る機会が多 いまち	地球にやさ しいライフ スタイルが浸 透したまち	災害に強い まち	その他	不明・無回 答
年齢	18～19歳	1 20.0	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	7 21.2	15 45.5	2 6.1	2 6.1	1 3.0	6 18.2	3 9.1	0 0.0
	30～39歳	4 10.0	18 45.0	5 12.5	1 2.5	4 10.0	13 32.5	2 5.0	0 0.0
	40～49歳	15 15.6	46 47.9	5 5.2	2 2.1	8 8.3	30 31.3	6 6.3	0 0.0
	50～59歳	9 9.1	47 47.5	7 7.1	2 2.0	15 15.2	37 37.4	5 5.1	0 0.0
	60～69歳	5 6.9	36 50.0	2 2.8	4 5.6	9 12.5	25 34.7	1 1.4	0 0.0
	70歳以上	14 6.3	114 51.1	15 6.7	6 2.7	26 11.7	97 43.5	6 2.7	4 1.8

■職業別

職業別では、『農業』『公務員』『主婦(夫)』を除くすべての年代で、「交通機関が整備された便利なまち」、『農業』で「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」、『公務員』『主婦(夫)』で「地域で作られた農作物が食べられるまち」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や 水辺に囲ま れたまち	多くの生き 物が身近に 住むまち	地域で作ら れた農作物 が食べられ るまち	様々な人が 集まり楽しく 過ごせるま ち	太陽光など の自然エネ ルギーを利用するまち	リサイクル が進みごみ が出ないま ち	美しい景色 や景観がみ られるまち	快適な住宅 地が広がる まち
年齢	農業	21 100.0	13 61.9	7 33.3	8 38.1	6 28.6	4 19.0	1 4.8	4 19.0	1 4.8
	自営業	38 100.0	10 26.3	1 2.6	12 31.6	11 28.9	3 7.9	3 7.9	7 18.4	5 13.2
	会社員	134 100.0	56 41.8	10 7.5	55 41.0	28 20.9	11 8.2	8 6.0	38 28.4	25 18.7
	公務員	49 100.0	20 40.8	4 8.2	27 55.1	14 28.6	5 10.2	1 2.0	10 20.4	5 10.2
	主婦(夫)	76 100.0	24 31.6	5 6.6	38 50.0	10 13.2	3 3.9	14 18.4	14 18.4	14 18.4
	パート・アルバイト	79 100.0	30 38.0	9 11.4	34 43.0	12 15.2	7 8.9	16 20.3	26 32.9	12 15.2
	学生	15 100.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	3 20.0
	無職	143 100.0	63 44.1	21 14.7	49 34.3	41 28.7	15 10.5	27 18.9	46 32.2	22 15.4
	その他	13 100.0	7 53.8	1 7.7	3 23.1	4 30.8	2 15.4	4 30.8	4 30.8	1 7.7

上段:件数 下段:%		ビジネスや 商業の中心 となるまち	交通機関が 整備された 便利なまち	様々な情報 が集まり発 信されるま ち	環境につい て学んだり、 環境保全活 動に参加す る機会が多 いまち	地球にやさ しいライフ スタイルが浸 透したまち	災害に強い まち	その他	不明・ 無回答
年齢	農業	1 4.8	9 42.9	1 4.8	2 9.5	4 19.0	10 47.6	1 4.8	0 0.0
	自営業	7 18.4	19 50.0	4 10.5	1 2.6	3 7.9	17 44.7	4 10.5	0 0.0
	会社員	19 14.2	72 53.7	9 6.7	3 2.2	13 9.7	39 29.1	8 6.0	0 0.0
	公務員	6 12.2	15 30.6	5 10.2	0 0.0	4 8.2	16 32.7	2 4.1	0 0.0
	主婦(夫)	7 9.2	36 47.4	4 5.3	4 5.3	13 17.1	34 44.7	1 1.3	1 1.3
	パート・アルバイト	6 7.6	40 50.6	1 1.3	1 1.3	11 13.9	23 29.1	1 1.3	0 0.0
	学生	2 13.3	11 73.3	2 13.3	2 13.3	0 0.0	6 40.0	1 6.7	0 0.0
	無職	6 4.2	70 49.0	10 7.0	4 2.8	12 8.4	58 40.6	5 3.5	3 2.1
	その他	1 7.7	9 69.2	2 15.4	0 0.0	3 23.1	6 46.2	0 0.0	0 0.0

■住所別

住所別では、住所によってばらつきがあり、全体では「交通機関が整備された便利なまち」が高くなっています。また、『北川顔』『西一口』『東一口』『佐古』で「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」、『大橋辺』『坊之池』『西一口』『佐古』で「地域で作られた農作物が食べられるまち」、『西一口』『佐山』で「災害に強いまち」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や水辺に囲まれたまち	多くの生き物が身近に住むまち	地域で作られた農作物が食べられるまち	様々な人が集まり楽しく過ごせるまち	太陽光などの自然エネルギーを利用するまち	リサイクルが進みごみが出ないまち	美しい景色や景観がみられるまち	快適な住宅地が広がるまち
住所	大橋辺	21 100.0	10 47.6	3 14.3	11 52.4	4 19.0	2 9.5	3 14.3	6 28.6	2 9.5
	北川顔	7 100.0	4 57.1	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
	藤和田	7 100.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	2 28.6
	島田	32 100.0	15 46.9	2 6.3	12 37.5	9 28.1	2 6.3	8 25.0	9 28.1	3 9.4
	坊之池	5 100.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
	中島	10 100.0	6 60.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 40.0	0 0.0
	西一口	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	15 100.0	9 60.0	5 33.3	3 20.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	6 40.0	2 13.3
	相島	10 100.0	4 40.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
	森	9 100.0	4 44.4	0 0.0	2 22.2	2 22.2	1 11.1	0 0.0	1 11.1	2 22.2
	野村	10 100.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
	佐山	99 100.0	40 40.4	8 8.1	32 32.3	24 24.2	11 11.1	17 17.2	22 22.2	17 17.2
	佐古	25 100.0	13 52.0	3 12.0	13 52.0	6 24.0	1 4.0	4 16.0	7 28.0	1 4.0
	林	98 100.0	33 33.7	10 10.2	38 38.8	24 24.5	7 7.1	9 9.2	35 35.7	16 16.3
	市田	40 100.0	16 40.0	3 7.5	11 27.5	9 22.5	1 2.5	1 2.5	11 27.5	7 17.5
	田井	23 100.0	6 26.1	1 4.3	12 52.2	7 30.4	1 4.3	3 13.0	6 26.1	2 8.7
	下津屋	30 100.0	10 33.3	3 10.0	9 30.0	7 23.3	3 10.0	2 6.7	6 20.0	4 13.3
	栄	91 100.0	40 44.0	8 8.8	39 42.9	17 18.7	10 11.0	17 18.7	24 26.4	22 24.2

上段:件数 下段:%		ビジネスや商業の中心となるまち	交通機関が整備された便利なまち	様々な情報が集まり発信されるまち	環境について学んだり、環境保全活動に参加する機会が多いまち	地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち	災害に強いまち	その他	不明・無回答
住所	大橋辺	2 9.5	9 42.9	3 14.3	1 4.8	3 14.3	3 14.3	2 9.5	0 0.0
	北川顔	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	藤和田	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	島田	4 12.5	18 56.3	2 6.3	0 0.0	5 15.6	8 25.0	2 6.3	0 0.0
	坊之池	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
	中島	0 0.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	西一口	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	1 6.7	7 46.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0
	相島	1 10.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0
	森	2 22.2	5 55.6	0 0.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0
	野村	3 30.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0
	佐山	11 11.1	50 50.5	10 10.1	2 2.0	6 6.1	50 50.5	2 2.0	0 0.0
	佐古	1 4.0	10 40.0	1 4.0	1 4.0	3 12.0	11 44.0	1 4.0	0 0.0
	林	10 10.2	51 52.0	6 6.1	3 3.1	8 8.2	36 36.7	4 4.1	3 3.1
	市田	4 10.0	25 62.5	2 5.0	0 0.0	1 2.5	19 47.5	1 2.5	0 0.0
	田井	2 8.7	13 56.5	1 4.3	0 0.0	3 13.0	9 39.1	1 4.3	1 4.3
	下津屋	1 3.3	13 43.3	2 6.7	3 10.0	6 20.0	11 36.7	2 6.7	1 3.3
	栄	8 8.8	41 45.1	5 5.5	5 5.5	12 13.2	30 33.0	3 3.3	0 0.0

■居住年数別

居住年数別では、『4年以内』『5～10年』を除くすべての居住年数で、「交通機関が整備された便利なまち」、『4年以内』で「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」、『5～10年』で「地域で作られた農作物が食べられるまち」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や 水辺に囲ま れたまち	多くの生き 物が身近に 住むまち	地域で作ら れた農作物 が食べられ るまち	様々な人が 集まり楽しく 過ごせるま ち	太陽光など の自然エネ ルギーを利用するまち	リサイクル が進みごみ が出ないま ち	美しい景色 や景観がみ られるまち	快適な住宅 地が広がる まち
居住年数	4年以内	24 100.0	15 62.5	4 16.7	11 45.8	2 8.3	2 8.3	3 12.5	7 29.2	2 8.3
	5～10年	39 100.0	15 38.5	5 12.8	20 51.3	9 23.1	2 5.1	5 12.8	7 17.9	7 17.9
	11～20年	76 100.0	26 34.2	7 9.2	27 35.5	15 19.7	9 11.8	11 14.5	20 26.3	8 10.5
	21～30年	75 100.0	33 44.0	6 8.0	32 42.7	14 18.7	7 9.3	7 9.3	22 29.3	13 17.3
	31年以上	322 100.0	128 39.8	32 9.9	116 36.0	81 25.2	26 8.1	47 14.6	90 28.0	55 17.1

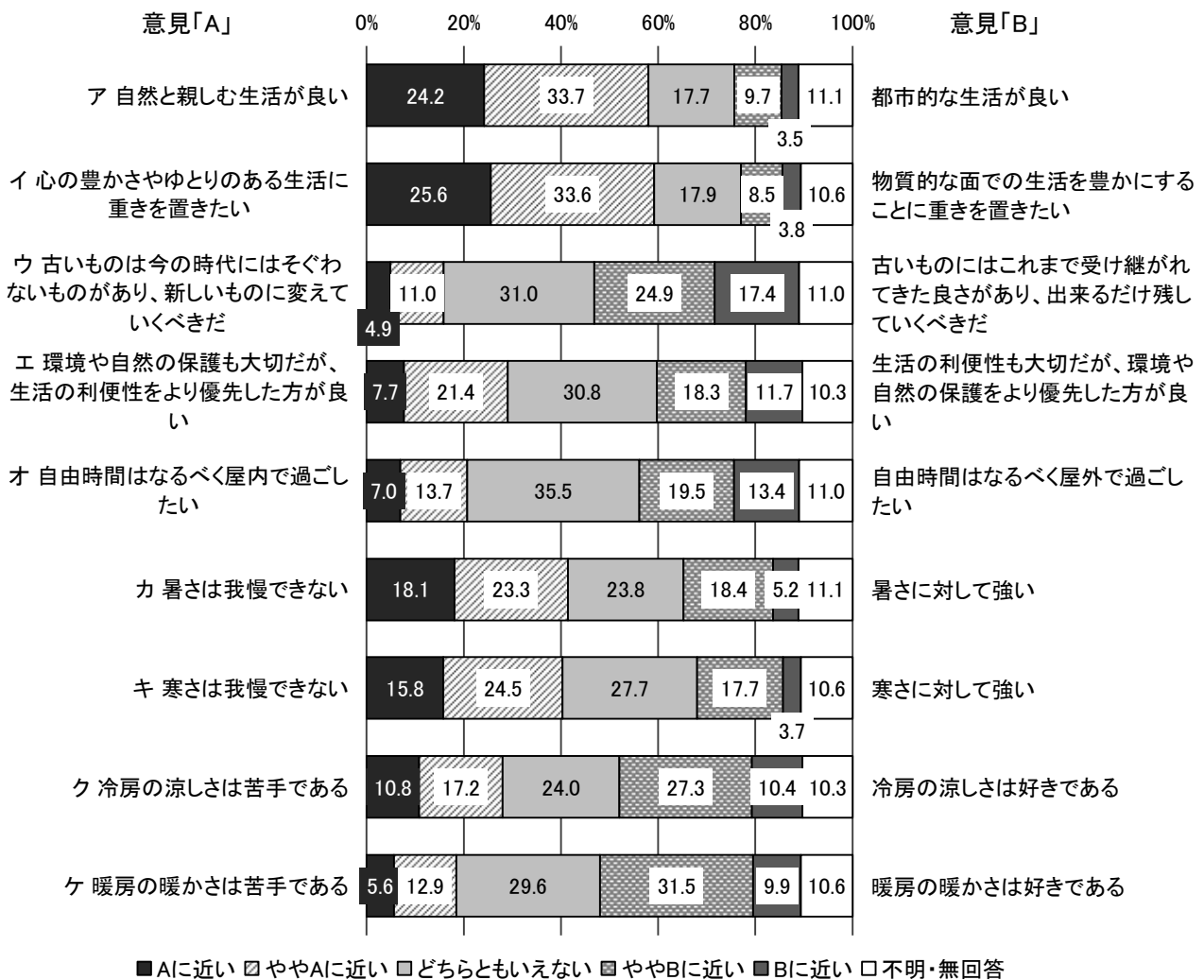
上段:件数 下段:%		ビジネスや 商業の中心 となるまち	交通機関が 整備された 便利なまち	様々な情報 が集まり発 信されるま ち	環境につい て学んだり、 環境保全活 動に参加す る機会が多 いまち	地球にやさ しいライフ スタイルが浸 透したまち	災害に強い まち	その他	不明・ 無回答
居住年数	4年以内	5 20.8	11 45.8	0 0.0	1 4.2	2 8.3	6 25.0	0 0.0	0 0.0
	5～10年	5 12.8	18 46.2	5 12.8	2 5.1	4 10.3	12 30.8	1 2.6	0 0.0
	11～20年	7 9.2	43 56.6	6 7.9	5 6.6	9 11.8	23 30.3	5 6.6	0 0.0
	21～30年	10 13.3	37 49.3	2 2.7	0 0.0	8 10.7	24 32.0	3 4.0	1 1.3
	31年以上	25 7.8	163 50.6	22 6.8	9 2.8	38 11.8	134 41.6	12 3.7	2 0.6

問4 これからの久御山町について、あなたの考えや感じ方は「A」と「B」の意見のどちらに近いですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

『Aに近い計(「Aに近い」と「ややAに近い」の合計)』では、[イ 心の豊かさやゆとりのある生活に重きを置きたい]が59.2%と最も多く、次いで[ア 自然と親しむ生活が良い]が57.9%、[カ 暑さは我慢できない]が41.4%、[キ 寒さは我慢できない]が40.3%となっています。

『Bに近い計(「Bに近い」と「ややBに近い」の合計)』では、[ウ 古いものにはこれまで受け継がれてきた良さがあり、出来るだけ残していくべきだ]が42.3%と最も多く、次いで[ケ 暖房の暖かさは好きである]が41.4%、[ク 冷房の涼しさは好きである]が37.7%となっています。

n=575

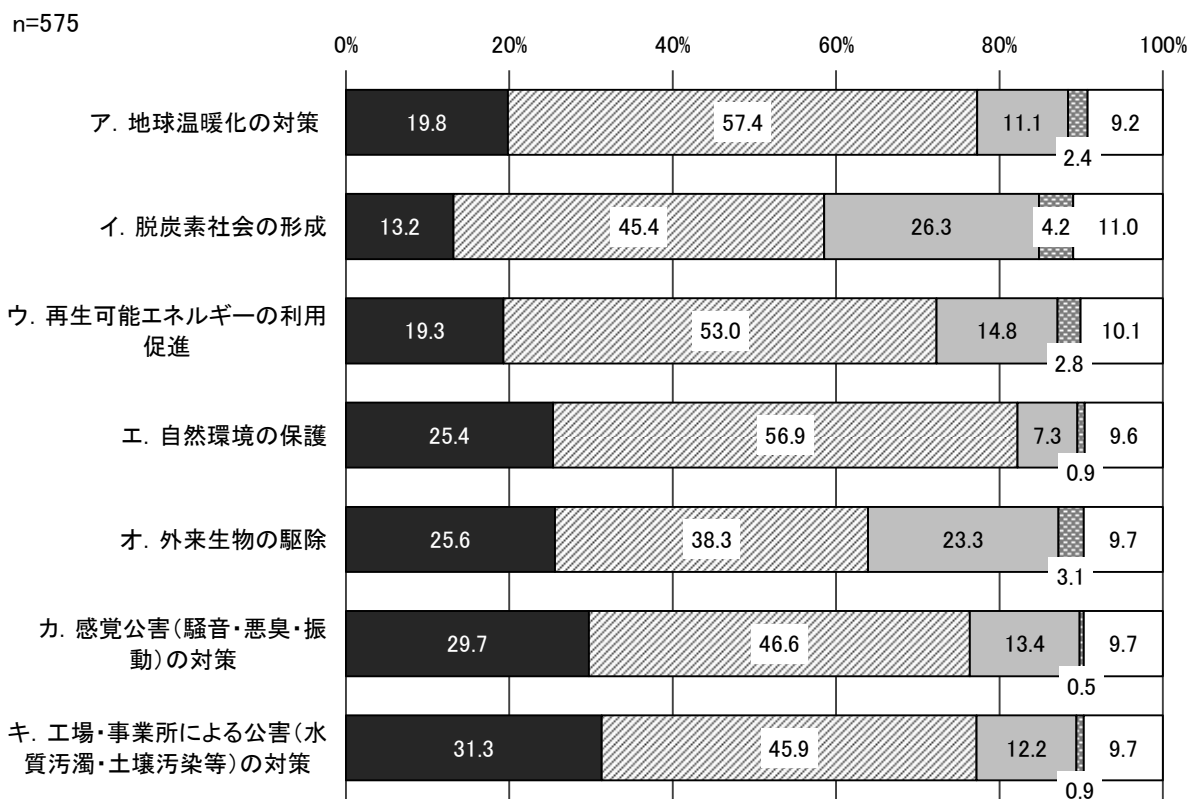


2 省エネ活動状況や行動について

問5 あなたは、環境に関する以下の取組について、どのくらい関心がありますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

『関心がある計(「非常に関心がある」と「関心がある」の合計)』では、[エ. 自然環境の保護]が 82.3%と最も多く、次いで[ア. 地球温暖化の対策][キ. 工場・事業所による公害(水質汚濁・土壌汚染等)の対策]が 77.2%、[カ. 感覚公害(騒音・悪臭・振動)の対策]が 76.3%となっています。

『関心が無い計(「関心が無い」と「あまり関心が無い」の合計)』では、[イ. 脱炭素社会の形成]が 30.5%と最も多く、次いで[オ. 外来生物の駆除]が 26.4%、[ウ. 再生可能エネルギーの利用促進]が 17.6%となっています。



■ 非常に関心がある □ 関心がある □ あまり関心が無い ■ 関心が無い □ 不明・無回答

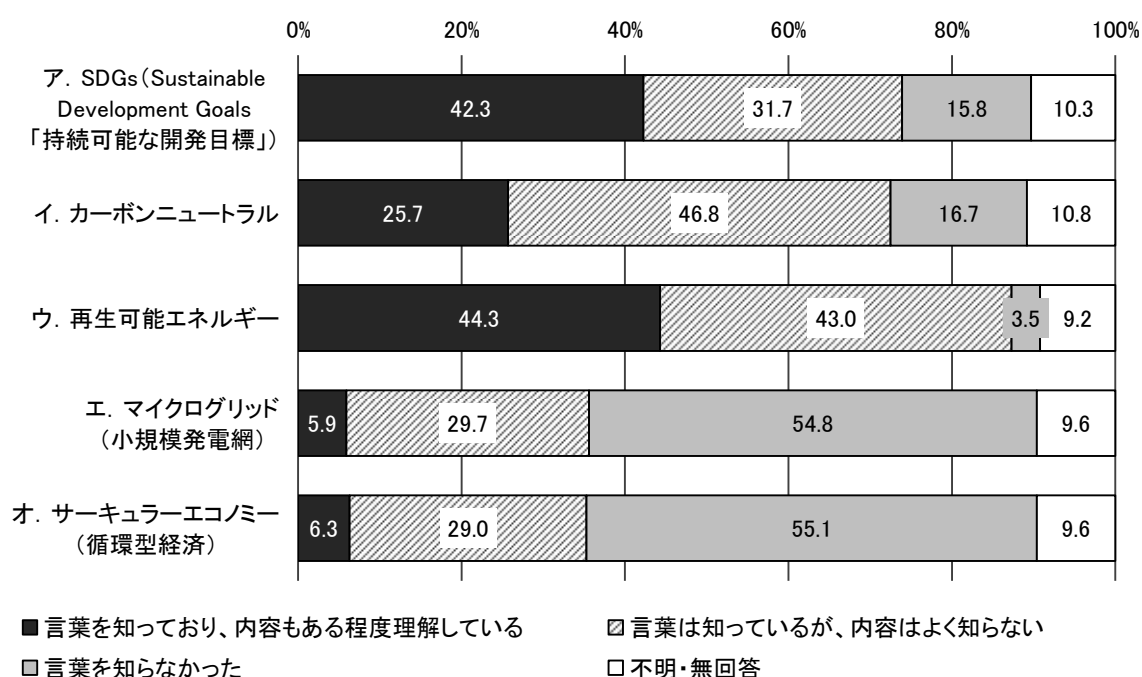
問6 あなたは、環境保全の取組に関する次の用語をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

「言葉を知っており、内容もある程度理解している」では、[ウ. 再生可能エネルギー]が 44.3%と最も多く、次いで[ア. SDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)]が 42.3%、[イ. カーボンニュートラル]が 25.7%となっています。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」では、[イ. カーボンニュートラル]が 46.8%と最も多く、次いで[ウ. 再生可能エネルギー]が 43.0%、[ア. SDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)]が 31.7%となっています。

「言葉を知らなかった」では、[オ. サーキュラーエコノミー(循環型経済)]が 55.1%と最も多く、次いで[エ. マイクログリッド(小規模発電網)]が 54.8%、[イ. カーボンニュートラル]が 16.7%となっています。

n=575

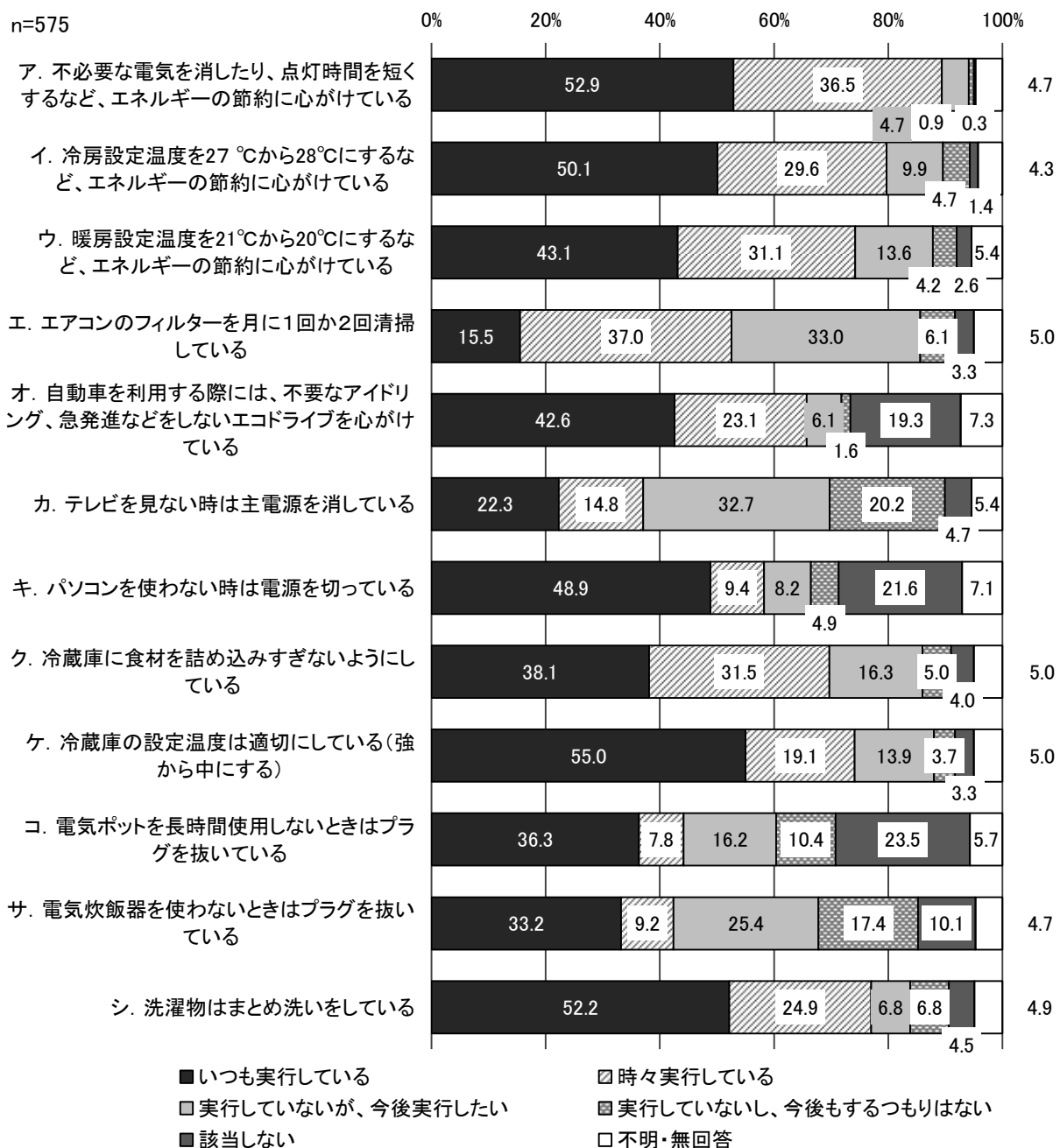


問7 あなたは、よりよい環境づくりのために普段どのようなことを行っていますか。次の項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

また、「実行していないし、今後もするつもりはない」と回答された箇所については、その理由として最もあてはまるものを下欄から1つ選び、番号を記入してください。

『実行している計(「いつも実行している」と「時々実行している」の合計)』では、[ア. unnecessaryな電気を消したり、点灯時間を短くするなど、エネルギーの節約に心がけている]が89.4%と最も多く、次いで[イ. 冷房設定温度を27℃から28℃にするなど、エネルギーの節約に心がけている]が79.7%、[シ. 洗濯物はまとめ洗いをしている]が77.1%となっています。

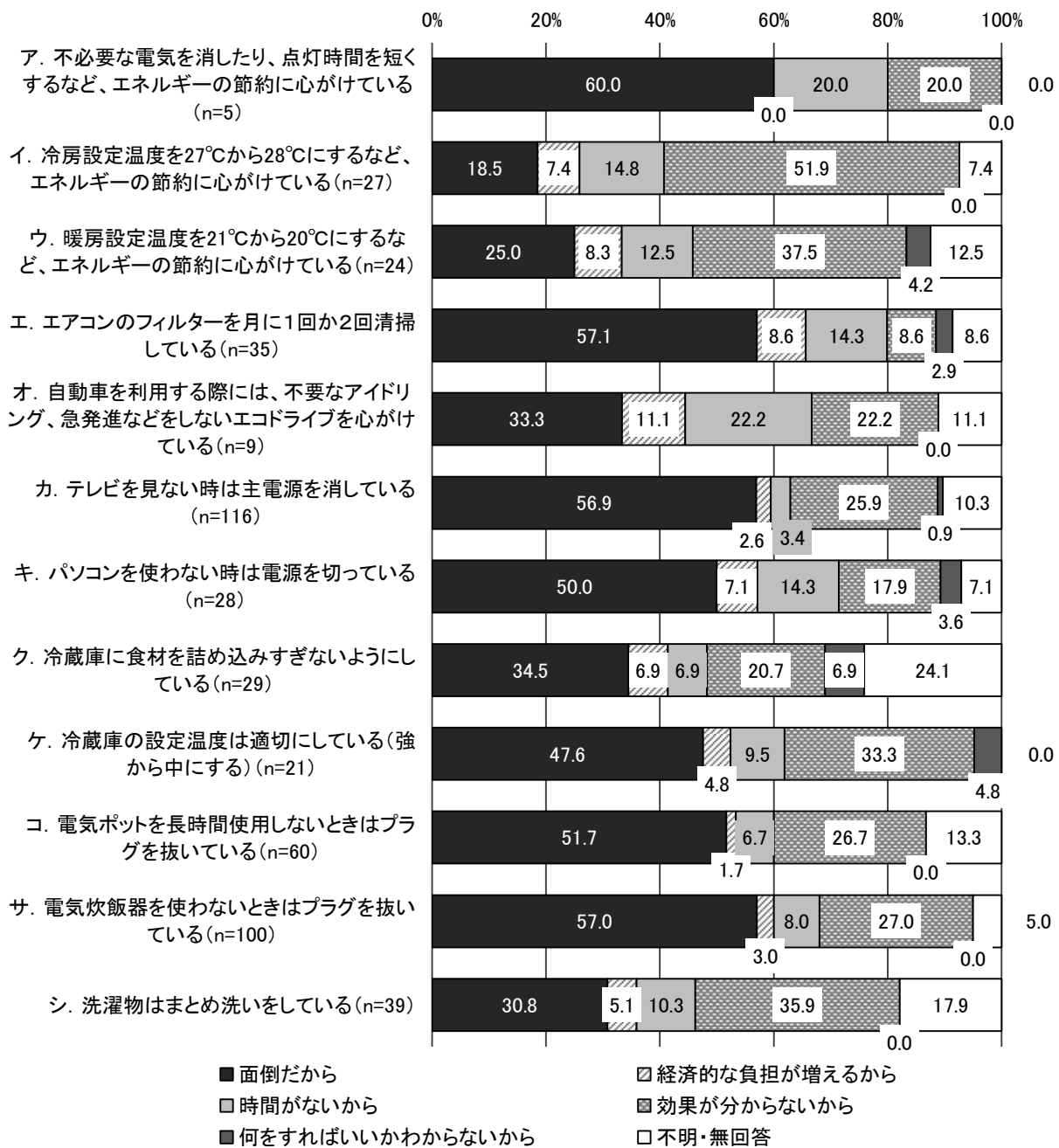
『実行していない(「今後もするつもりはない」と「今後実行したい」の合計)』では、[カ. テレビを見ない時は主電源を消している]が20.2%と最も多く、次いで[サ. 電気炊飯器を使わないときはプラグを抜いている]が17.4%、[コ. 電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜いている]が10.4%となっています。



「実行していないし、今後もするつもりはない」と回答された理由

「面倒だから」では、[ア. unnecessary電気を消したり、点灯時間を短くするなど、エネルギーの節約に心がけている]が60.0%と最も多く、次いで[エ. エアコンのフィルターを月に1回か2回清掃している]が57.1%、[サ. 電気炊飯器を使わないときはプラグを抜いている]が57.0%、[カ. テレビを見ない時は主電源を消している]が56.9%となっています。

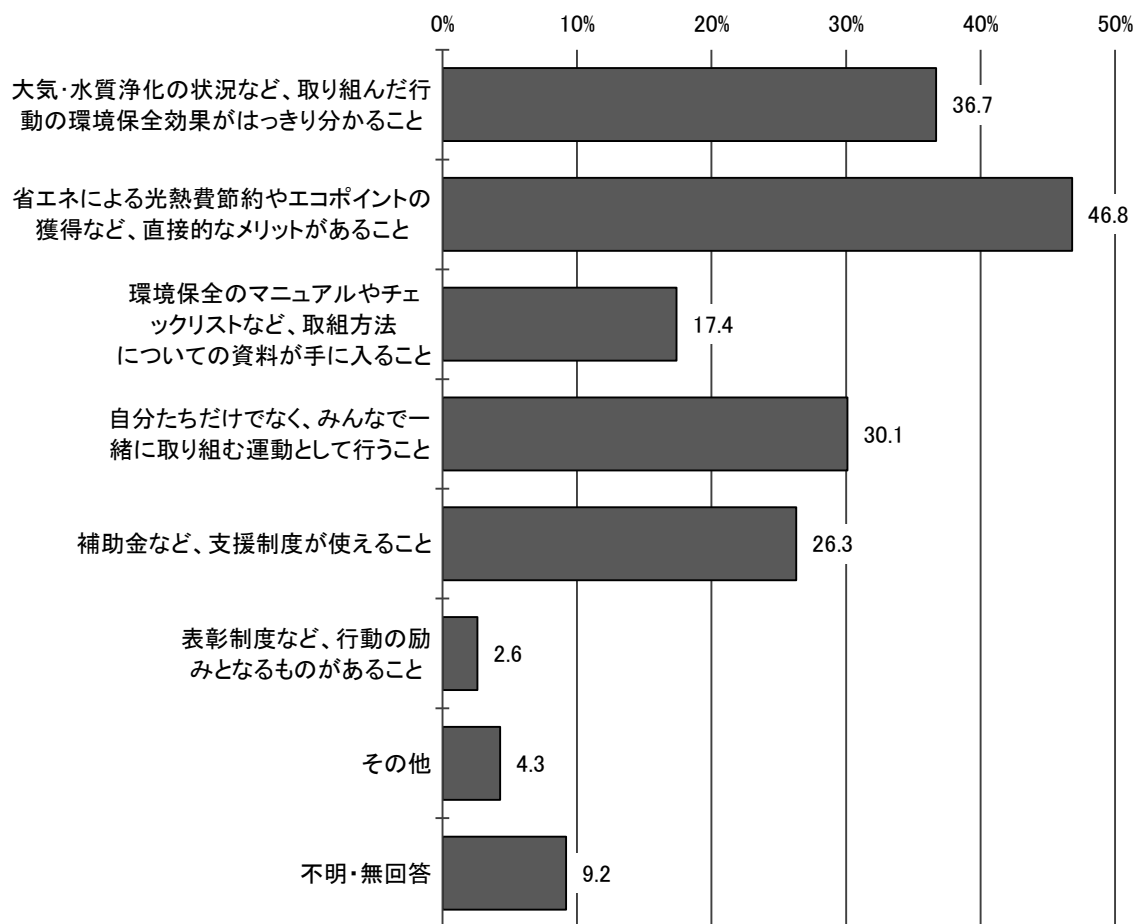
「効果が分からないから」では、[イ. 冷房設定温度を27℃から28℃にするなど、エネルギーの節約に心がけている]が51.9%と最も多く、次いで[ウ. 暖房設定温度を21℃から20℃にするなど、エネルギーの節約に心がけている]が37.5%、[シ. 洗濯物はまとめて洗いをしている]が35.9%となっています。



問8 あなたは、問7にあげた項目について、より積極的に取り組むには、どのようなことが必要だと思いますか。最もあてはまるものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。

「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」が46.8%と最も多く、次いで「大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果がはっきり分かること」が36.7%、「自分たちだけでなく、みんなと一緒に取り組む運動として行うこと」が30.1%となっています。

n=575



■年齢別

年代別では、『60 歳代』『70 歳以上』を除くすべての年代で、「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」、『60 歳代』で「大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果がはっきり分かること」、『70 歳以上』で「自分たちだけでなく、みんなで一緒に取り組む運動として行うこと」が最も高くなっています。また、『10 歳代』では「補助金など、支援制度が使えること」も高くなっています

上段:件数 下段:%		合計	大気・水質 浄化の状況 など、取り組 んだ行動の 環境保全効 果がはっき り分かること	省エネによ る光熱費節 約やエコポ イントの獲得 など、直接 的なメリッ トがあること	環境保全の マニュアル やチェックリ ストなど、取 組方法につ いての資料 が手に入る こと	自分たちだ けでなく、み んなで一緒 に取り組む 運動として 行うこと	補助金な ど、支援制 度が使える こと	表彰制度な ど、行動の 励みとなる ものがある こと	その他	不明・ 無回答
年 齢	18～19歳	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	20～29歳	33 100.0	7 21.2	22 66.7	3 9.1	5 15.2	17 51.5	2 6.1	1 3.0	2 6.1
	30～39歳	40 100.0	17 42.5	24 60.0	4 10.0	7 17.5	15 37.5	2 5.0	3 7.5	2 5.0
	40～49歳	96 100.0	31 32.3	50 52.1	6 6.3	21 21.9	40 41.7	3 3.1	5 5.2	3 3.1
	50～59歳	99 100.0	40 40.4	60 60.6	16 16.2	27 27.3	35 35.4	3 3.0	4 4.0	3 3.0
	60～69歳	72 100.0	33 45.8	31 43.1	15 20.8	21 29.2	15 20.8	4 5.6	2 2.8	6 8.3
	70歳以上	223 100.0	80 35.9	77 34.5	56 25.1	86 38.6	25 11.2	1 0.4	10 4.5	34 15.2

■職業別

職業別では、『農業』『無職』を除くすべての年代で、「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」、『農業』で「大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果ははっきり分かること」、『無職』で「自分たちだけでなく、みんなと一緒に取り組む運動として行うこと」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	大気・水質 浄化の状況 など、取り組 んだ行動の 環境保全効 果ははっきり 分かること	省エネによ る光熱費節 約やエコポ イントの獲得 など、直接 的なメリッ トがあること	環境保全の マニュアル やチェック リストなど、取 組方法につ いての資料 が手に入る こと	自分たちだ けでなく、み んなで一緒 に取り組む 運動として 行うこと	補助金な ど、支援制 度が見える こと	表彰制度な ど、行動の 励みとなる ものがある こと	その他	不明・ 無回答
職業	農業	21 100.0	15 71.4	8 38.1	5 23.8	6 28.6	3 14.3	0 0.0	0 0.0	2 9.5
	自営業	38 100.0	11 28.9	14 36.8	11 28.9	13 34.2	9 23.7	2 5.3	5 13.2	2 5.3
	会社員	134 100.0	46 34.3	73 54.5	17 12.7	32 23.9	53 39.6	4 3.0	4 3.0	8 6.0
	公務員	49 100.0	19 38.8	29 59.2	5 10.2	13 26.5	15 30.6	4 8.2	2 4.1	1 2.0
	主婦(夫)	76 100.0	30 39.5	32 42.1	22 28.9	23 30.3	12 15.8	0 0.0	5 6.6	7 9.2
	パート・アルバイト	79 100.0	30 38.0	47 59.5	6 7.6	17 21.5	27 34.2	1 1.3	1 1.3	7 8.9
	学生	15 100.0	2 13.3	10 66.7	1 6.7	4 26.7	7 46.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0
	無職	143 100.0	50 35.0	47 32.9	30 21.0	58 40.6	23 16.1	2 1.4	3 2.1	25 17.5
	その他	13 100.0	5 38.5	6 46.2	2 15.4	3 23.1	2 15.4	0 0.0	4 30.8	0 0.0

■住所別

住所別では、住所によってばらつきがあり、全体では「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」「自分たちだけでなく、みんなで一緒に取り組む運動として行うこと」が高くなっています。また、『大橋辺』『北川顔』『中島』『野村』『佐古』で「大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果がはっきり分かること」、『島田』で「補助金など、支援制度が使えること」も高くなっています。

	上段:件数 下段:%	合計	大気・水質 浄化の状況 など、取り組 んだ行動の 環境保全効 果がはっきり 分かること	省エネによ る光熱費節 約やエコポ イントの獲得 など、直接 的なメリッ トがあること	環境保全の マニュアル やチェックリ ストなど、取 組方法につ いての資料 が手に入る こと	自分たちだ けでなく、み んなで一緒 に取り組む 運動として 行うこと	補助金な ど、支援制 度が使える こと	表彰制度な ど、行動の 励みとなる ものがある こと	その他	不明・ 無回答
住所	大橋辺	21 100.0	11 52.4	11 52.4	4 19.0	4 19.0	5 23.8	0 0.0	1 4.8	2 9.5
	北川顔	7 100.0	4 57.1	0 0.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	藤和田	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	島田	32 100.0	13 40.6	14 43.8	5 15.6	11 34.4	14 43.8	0 0.0	2 6.3	1 3.1
	坊之池	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	中島	10 100.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0
	西一口	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	15 100.0	5 33.3	7 46.7	2 13.3	8 53.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7
	相島	10 100.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	森	9 100.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	5 55.6	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	野村	10 100.0	5 50.0	5 50.0	1 10.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	佐山	99 100.0	35 35.4	46 46.5	12 12.1	23 23.2	27 27.3	5 5.1	6 6.1	11 11.1
	佐古	25 100.0	13 52.0	6 24.0	4 16.0	9 36.0	5 20.0	2 8.0	0 0.0	3 12.0
	林	98 100.0	35 35.7	49 50.0	18 18.4	26 26.5	32 32.7	3 3.1	4 4.1	9 9.2
	市田	40 100.0	14 35.0	20 50.0	8 20.0	11 27.5	10 25.0	0 0.0	0 0.0	4 10.0
	田井	23 100.0	6 26.1	9 39.1	7 30.4	11 47.8	5 21.7	0 0.0	2 8.7	2 8.7
	下津屋	30 100.0	7 23.3	18 60.0	5 16.7	9 30.0	8 26.7	1 3.3	0 0.0	2 6.7
	栄	91 100.0	33 36.3	41 45.1	19 20.9	28 30.8	19 20.9	1 1.1	5 5.5	9 9.9

■居住年数別

居住年数別では、すべての居住年数で、「省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること」が最も高くなっています。

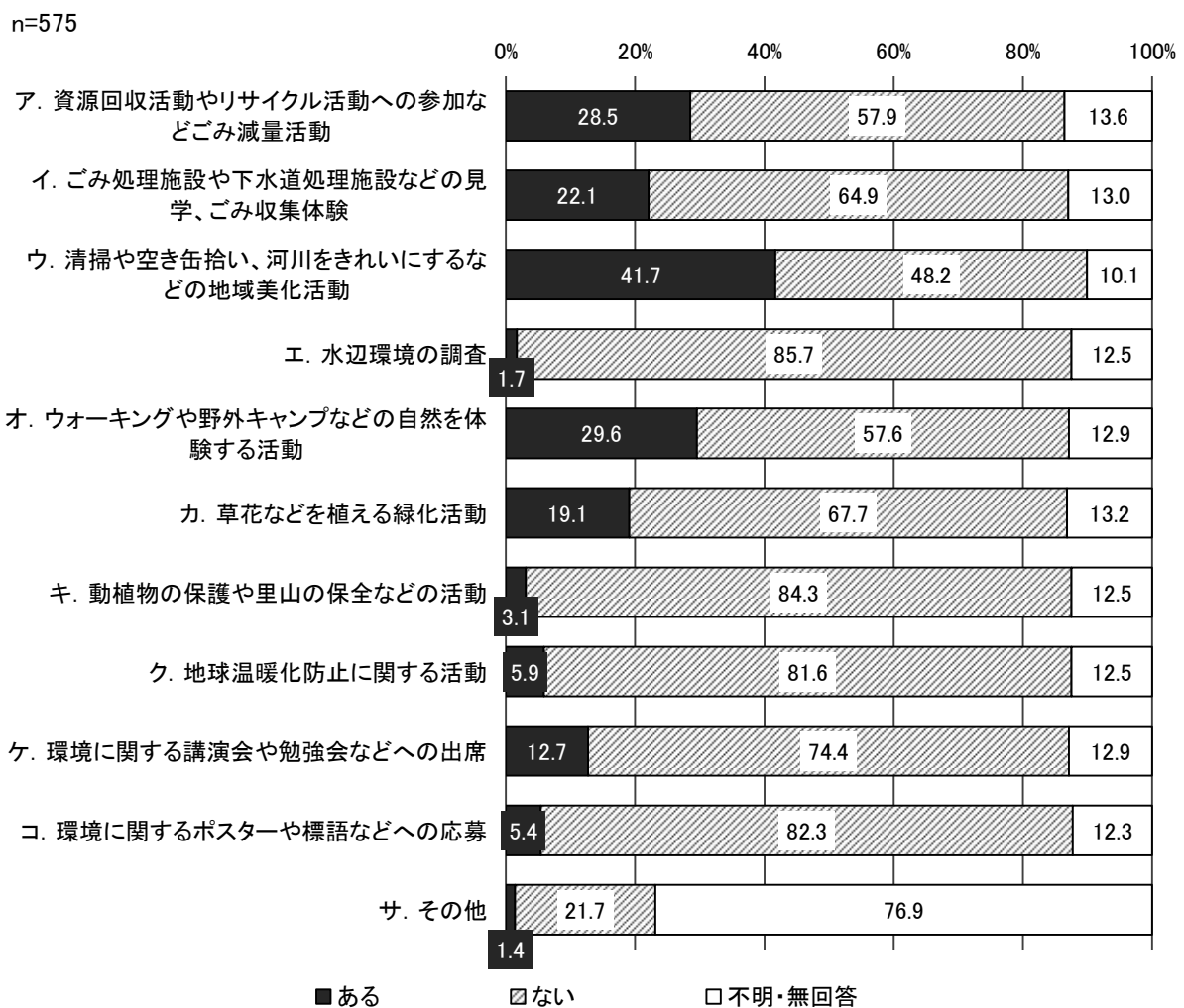
上段:件数 下段:%		合計	大気・水質 浄化の状況 など、取り組 んだ行動の 環境保全効 果がはつき り分かること	省エネによ る光熱費節 約やエコポ イントの獲得 など、直接 的なメリット があること	環境保全の マニュアル やチェック リストなど、取 組方法につ いての資料 が手に入る こと	自分たちだ けでなく、み んなで一緒 に取り組む 運動として 行うこと	補助金な ど、支援制 度が使える こと	表彰制度な ど、行動の 励みとなる ものがある こと	その他	不明・ 無回答
居 住 年 数	4年以内	24	9	15	2	5	10	0	3	0
		100.0	37.5	62.5	8.3	20.8	41.7	0.0	12.5	0.0
	5～10年	39	14	15	4	10	11	3	2	6
		100.0	35.9	38.5	10.3	25.6	28.2	7.7	5.1	15.4
	11～20年	76	22	41	9	16	34	1	5	7
		100.0	28.9	53.9	11.8	21.1	44.7	1.3	6.6	9.2
	21～30年	75	25	40	13	22	29	1	0	7
		100.0	33.3	53.3	17.3	29.3	38.7	1.3	0.0	9.3
	31年以上	322	125	136	68	107	60	8	14	31
		100.0	38.8	42.2	21.1	33.2	18.6	2.5	4.3	9.6

3 環境保全・地球温暖化対策（再エネ）に関する取組について

問9 あなたは、次にあげる環境保全活動や自然とのふれあいに関連した住民活動に参加したことがありますか。また、今後、参加したいと思いますか。久御山町が実施するものに限らず、次の項目ごとに、「参加経験」、「今後の参加意向」それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

① 参加経験

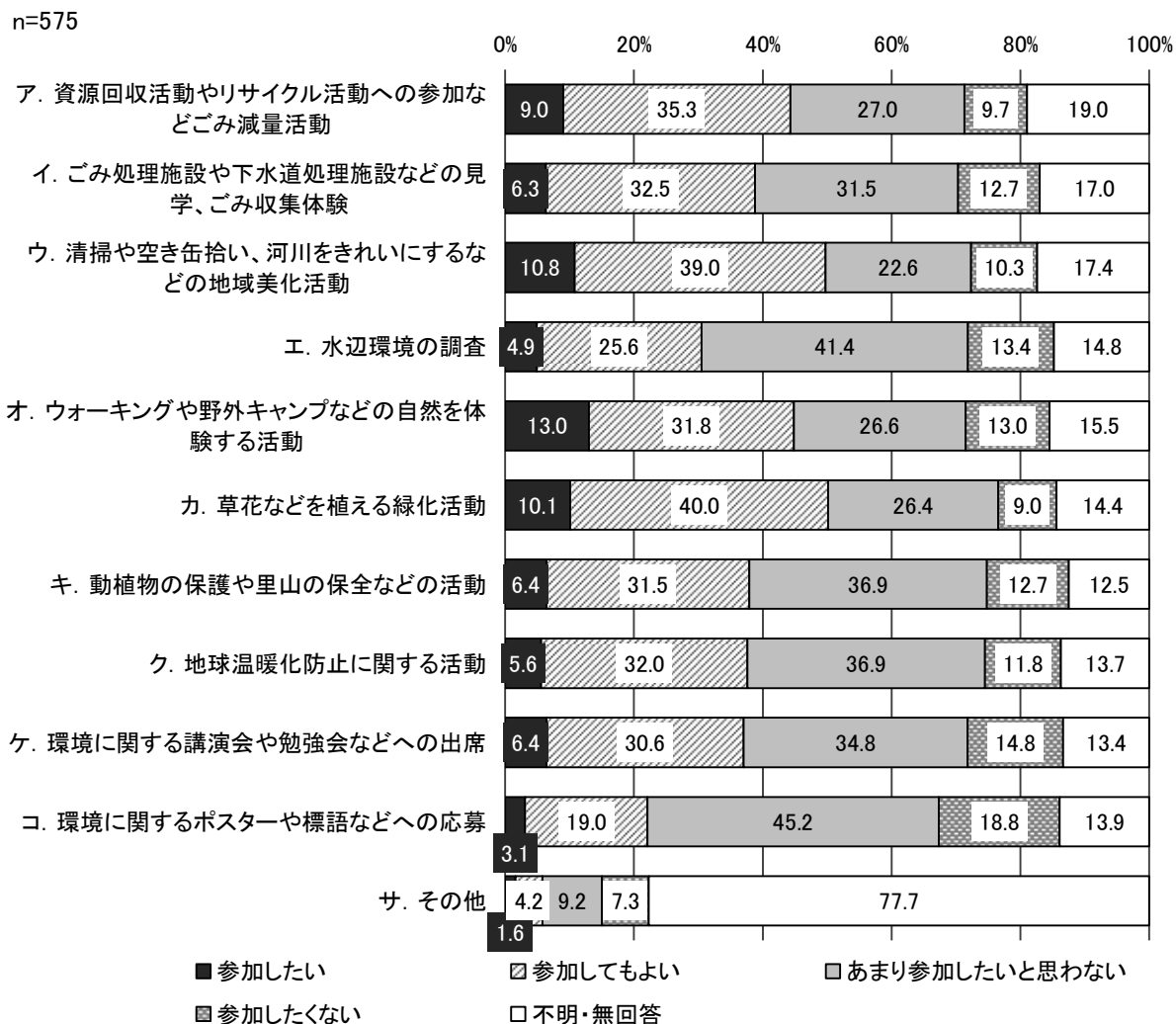
「ある」では、[ウ. 清掃や空き缶拾い、河川をきれいにするなどの地域美化活動]が41.7%と最も多く、次いで[オ. ウォーキングや野外キャンプなどの自然を体験する活動]が29.6%、[ア. 資源回収活動やリサイクル活動への参加などごみ減量活動]が28.5%となっています。



② 今後の参加意向

『参加意向あり(「参加したい」と「参加してもよい」の合計)』では、[カ. 草花などを植える緑化活動]が50.1%と最も多く、次いで[ウ. 清掃や空き缶拾い、河川をきれいにするなどの地域美化活動]が49.8%、[オ. ウォーキングや野外キャンプなどの自然を体験する活動]が44.8%となっています。

『参加意向なし(「あまり参加したいと思わない」と「参加したくない」の合計)』では、[コ. 環境に関するポスターや標語などへの応募]が64.0%と最も多く、次いで[エ. 水辺環境の調査]が54.8%、[キ. 動植物の保護や里山の保全などの活動][ケ. 環境に関する講演会や勉強会などへの出席]が49.6%、[ク. 地球温暖化防止に関する活動]が48.7%となっています。

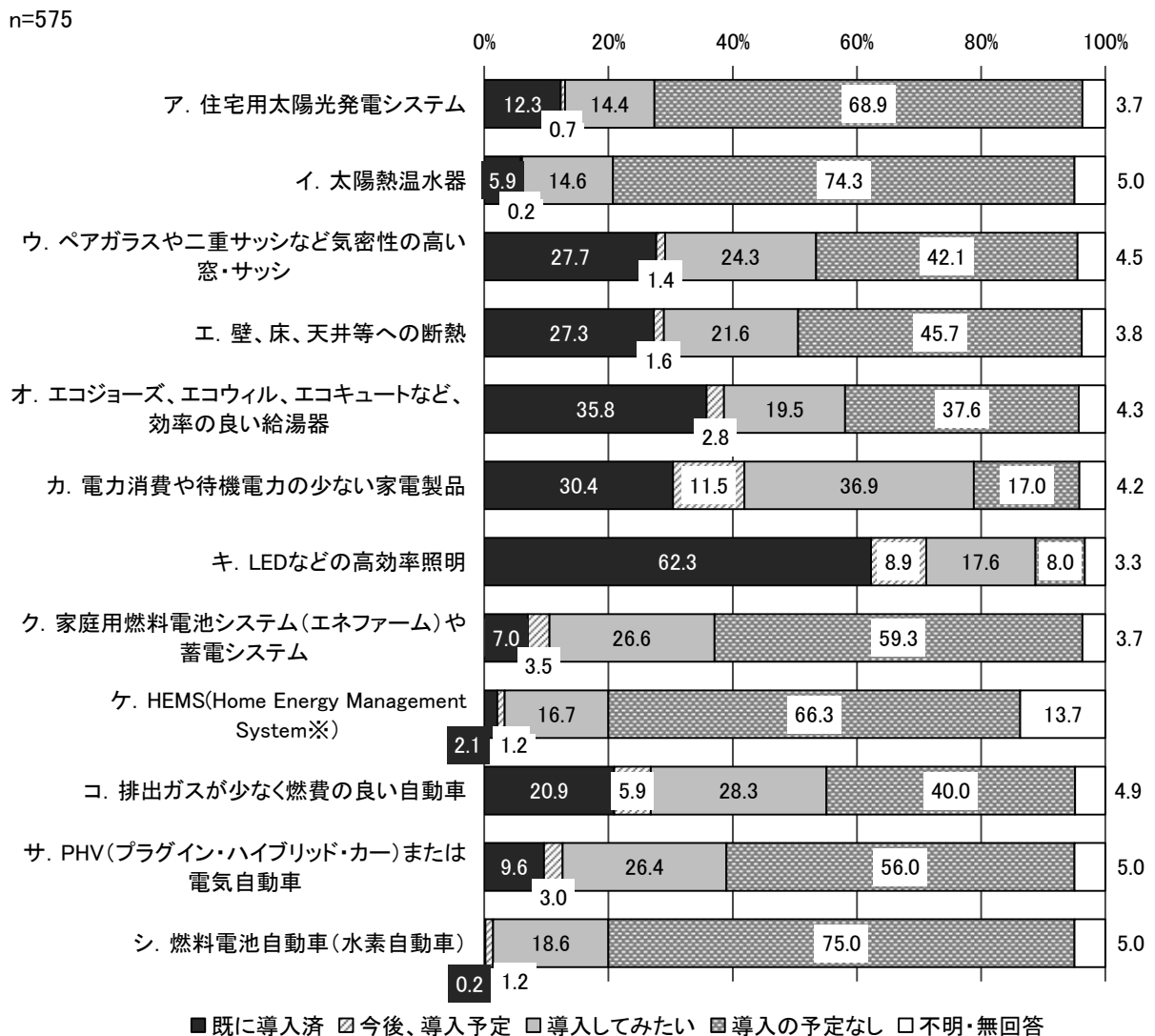


問 10 地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を教えてください。次の項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。また、「導入の予定なし」と回答された箇所については、その理由として最もあてはまるものを下欄から1つ選び、番号を記入してください。

「既に導入済」では、[キ. LED などの高効率照明]が 62.3%と最も多く、次いで[オ. エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器]が 35.8%、[カ. 電力消費や待機電力の少ない家電製品]が 30.4%となっています。

「導入してみたい」では、[カ. 電力消費や待機電力の少ない家電製品]が 36.9%と最も多く、次いで[コ. 排出ガスが少なく燃費の良い自動車]が 28.3%、[ク. 家庭用燃料電池システム(エネファーム)や蓄電システム]が 26.6%となっています。

「導入の予定なし」では、[シ. 燃料電池自動車(水素自動車)]が 75.0%と最も多く、次いで[イ. 太陽熱温水器]が 74.3%、[ケ. HEMS(Home Energy Management System)]が 66.3%となっています。



※「ホームエネルギーマネジメントシステム」の略で、家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステムのこと

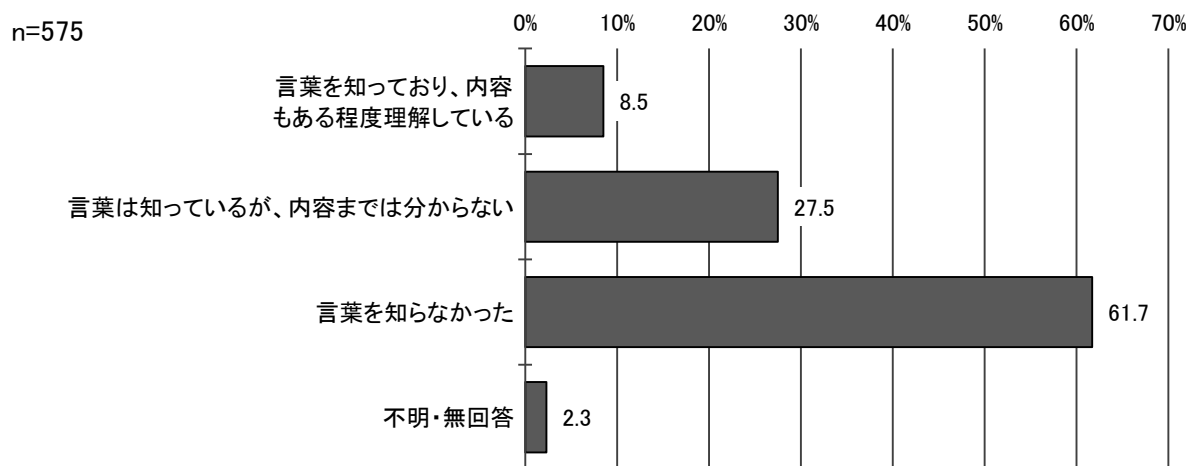
「導入の予定なし」と回答された理由

[ウ. ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ][エ. 壁、床、天井等への断熱][オ. エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器]では「現在の住宅には導入できない」、[ケ. HEMS(Home Energy Management System)]では「情報がない(よく知らない)」、その他の項目では「費用負担が大きい」がそれぞれ最も多くなっています。

単位：%	費用負担が大きい	現在の住宅には導入できない	効果があるか疑問がある	機器の性能に不安がある	情報がない(よく知らない)	必要性を感じない	買い替え時に検討する予定	その他	不明・無回答
ア. 住宅用太陽光発電システム (n=396)	37.4	35.9	3.8	3.0	3.0	7.8	1.8	4.5	2.8
イ. 太陽熱温水器 (n=427)	30.7	30.4	3.7	3.0	10.3	12.2	1.6	4.0	4.0
ウ. ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ (n=242)	36.0	37.6	2.1	1.2	2.9	13.6	1.7	3.3	1.7
エ. 壁、床、天井等への断熱 (n=263)	37.3	40.7	0.8	1.1	4.2	8.7	1.5	3.0	2.7
オ. エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器 (n=216)	30.1	35.6	0.0	2.3	8.3	11.1	4.2	4.6	3.7
カ. 電力消費や待機電力の少ない家電製品 (n=98)	39.8	13.3	5.1	2.0	5.1	10.2	13.3	7.1	4.1
キ. LEDなどの高効率照明 (n=46)	37.0	21.7	6.5	4.3	4.3	10.9	6.5	4.3	4.3
ク. 家庭用燃料電池システム(エネファーム)や蓄電システム (n=341)	36.7	24.9	1.5	2.6	13.8	9.1	2.6	4.4	4.4
ケ. HEMS(Home Energy Management System) (n=381)	27.6	18.6	2.4	1.3	30.2	10.0	1.6	5.0	3.4
コ. 排出ガスが少なく燃費の良い自動車 (n=230)	38.3	7.0	1.3	1.7	6.5	16.1	8.7	17.8	2.6
サ. PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)または電気自動車 (n=322)	39.8	6.5	1.6	2.5	6.5	17.4	9.3	14.3	2.2
シ. 燃料電池自動車(水素自動車) (n=431)	37.8	4.6	2.1	3.0	16.0	16.9	5.8	11.1	2.6

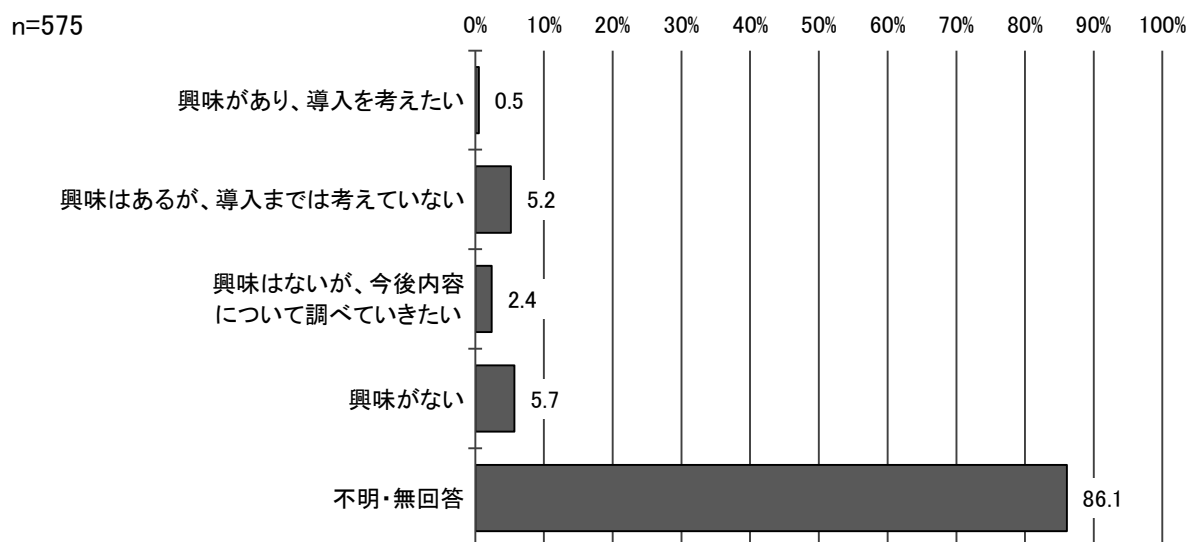
問 11 あなたは、「ソーラーシェアリング」という言葉をご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

「言葉を知らなかった」が 61.7%と最も多く、次いで「言葉は知っているが、内容までは分からない」が 27.5%、「言葉を知っており、内容もある程度理解している」が 8.5%となっています。



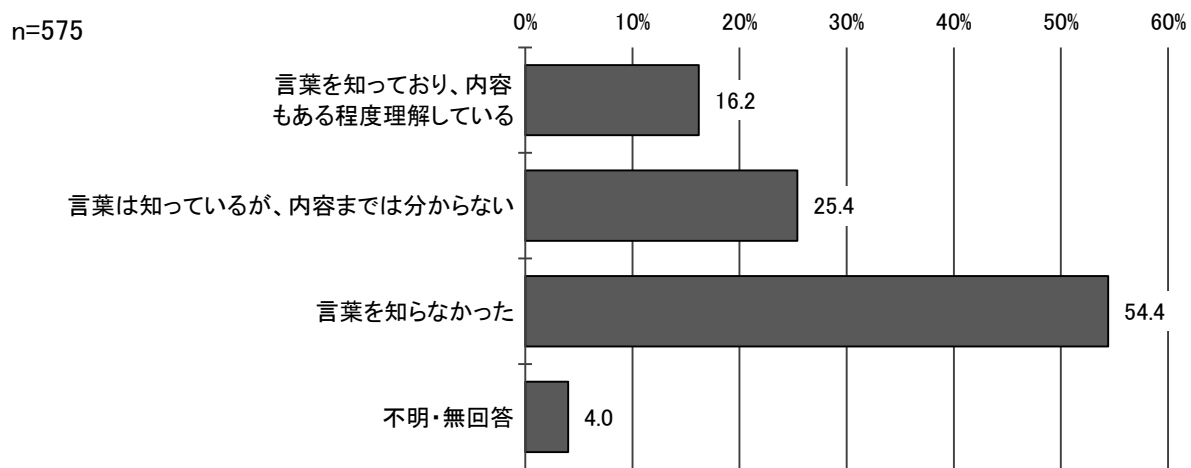
問 12 農業従事者の方におうかがいします。(農業従事者でない場合は問 13 へ) あなたは、「ソーラーシェアリング」に興味がありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

「興味がない」が 5.7%と最も多く、次いで「興味はあるが、導入までは考えていない」が 5.2%、「興味はないが、今後内容について調べていきたい」が 2.4%となっています。



問 13 あなたは、「ソーラーカーポート」という言葉をご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

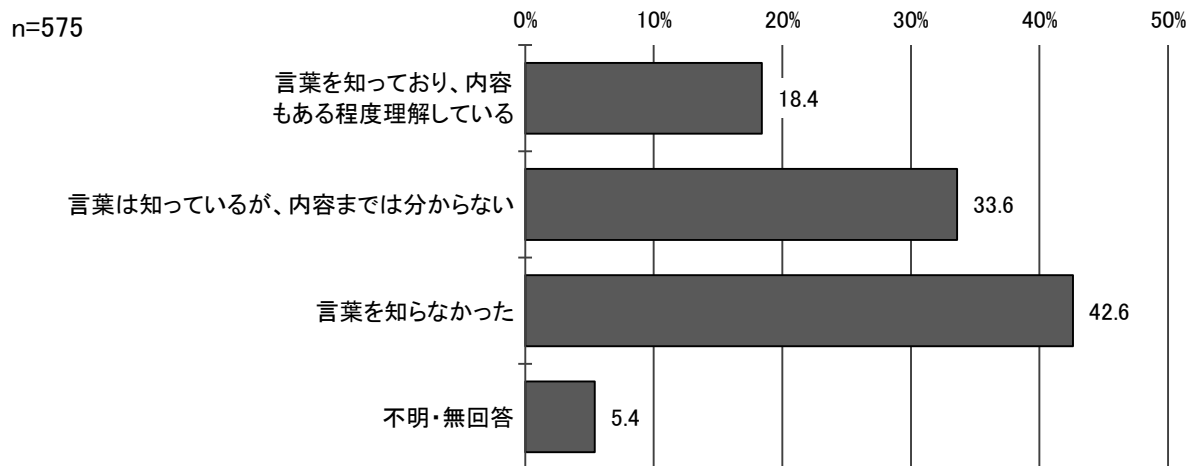
「言葉を知らなかった」が 54.4%と最も多く、次いで「言葉は知っているが、内容までは分からない」が 25.4%、「言葉を知っており、内容もある程度理解している」が 16.2%となっています。



4 生物多様性に関する取組について

問 14 あなたは、「生物多様性」という言葉をご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

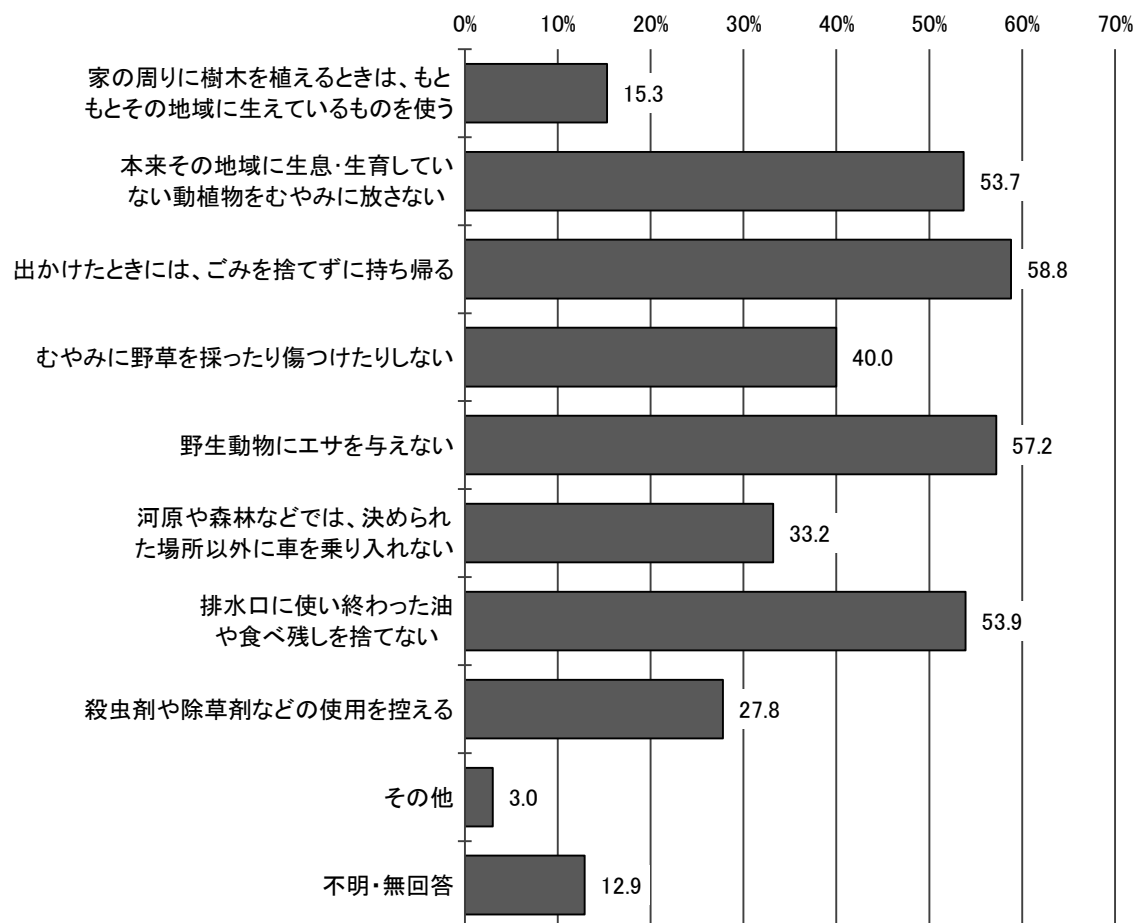
「言葉を知らなかった」が42.6%と最も多く、次いで「言葉は知っているが、内容までは分からない」が33.6%、「言葉を知っており、内容もある程度理解している」が18.4%となっています。



問 15 あなたは、生物多様性を保全するために、どのようなことができますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

「出かけたときには、ごみを捨てずに持ち帰る」が 58.8%と最も多く、次いで「野生動物にエサを与えない」が 57.2%、「排水口に使い終わった油や食べ残しを捨てない」が 53.9%となっています。

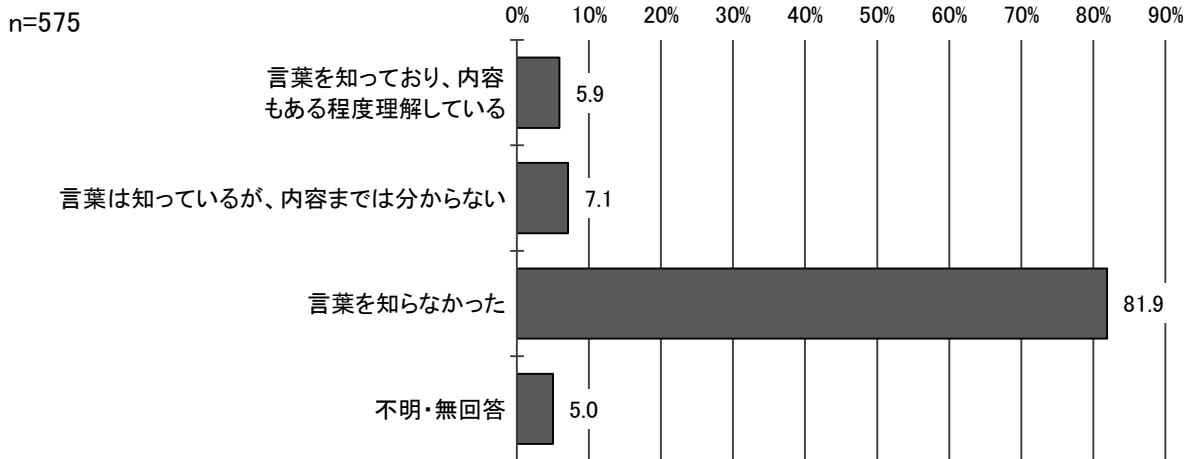
n=575



5 久御山町の環境への取組について

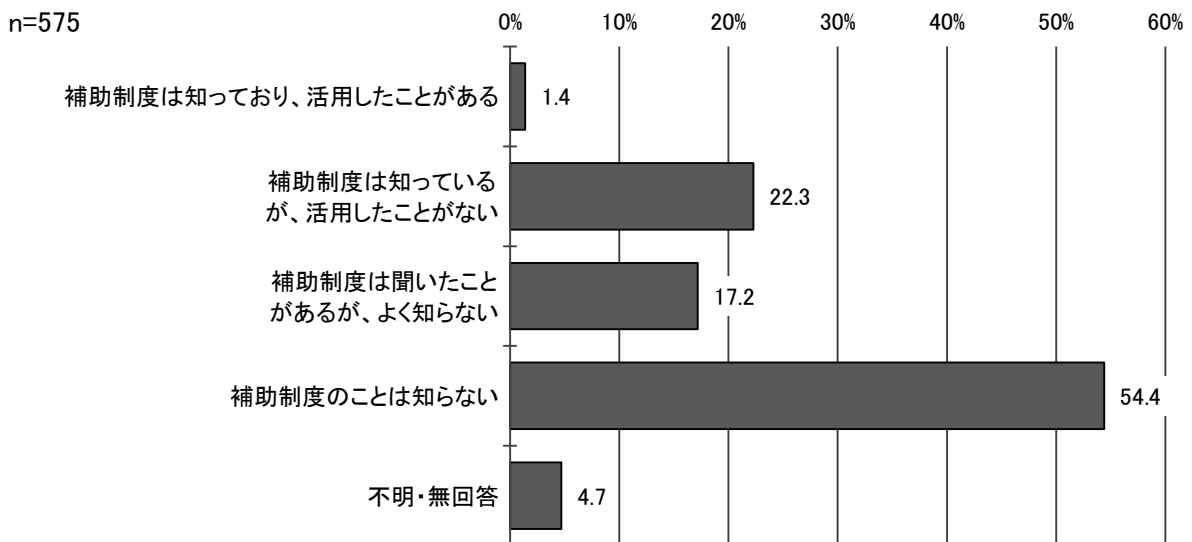
問 16 あなたは、「久御山クールドミノ戦略」についてご存知ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

「言葉を知らなかった」が81.9%と最も多く、次いで「言葉は知っているが、内容までは分からない」が7.1%、「言葉を知っており、内容もある程度理解している」が5.9%となっています。



問 17 あなたは、久御山町が実施している補助事業の「雨水貯留施設設置費補助金交付制度※」についてご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

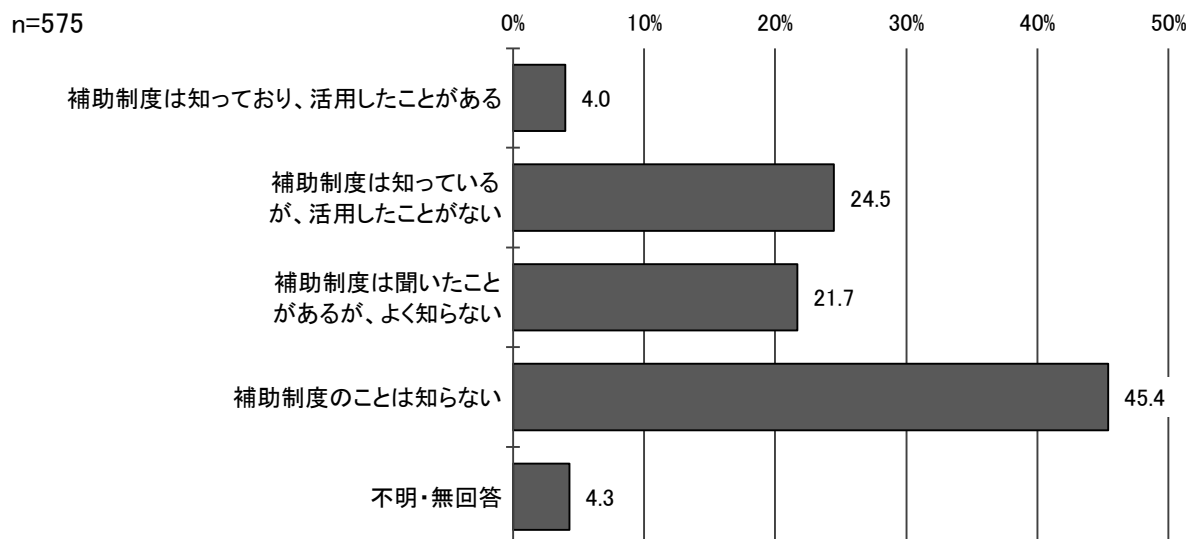
「補助制度のことは知らない」が54.4%と最も多く、次いで「補助制度は知っているが、活用したことがない」が22.3%、「補助制度は聞いたことがあるが、よく知らない」が17.2%となっています。



※近年、頻発する短時間豪雨による浸水被害の軽減や雨水の利活用による環境負荷の低減を目的に、京都府と連携して雨水貯留施設（雨水タンク）の設置に関する補助を行っています。

問 18 あなたは、久御山町が実施している補助事業の「住宅用太陽光発電・蓄電設備設置費補助金制度※」についてご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

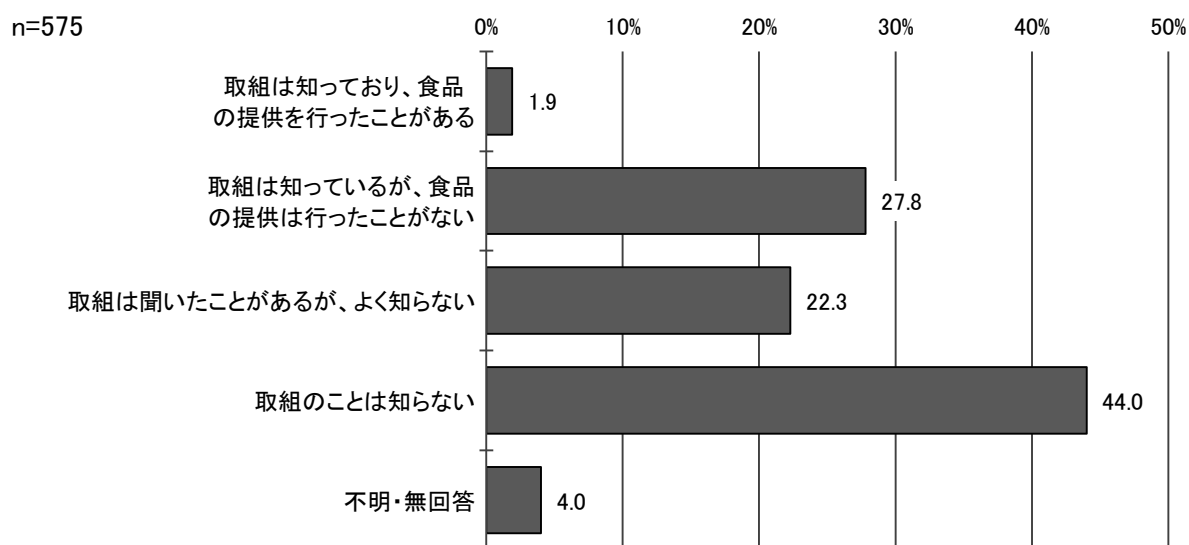
「補助制度のことは知らない」が 45.4%と最も多く、次いで「補助制度は知っているが、活用したことがない」が 24.5%、「補助制度は聞いたことがあるが、よく知らない」が 21.7%となっています。



※再生可能エネルギーの促進と環境負荷の低減を目的に、太陽光発電・蓄電設備を同時設置した個人、または太陽光発電・蓄電設備を設置した新築住宅を購入した個人に補助を行っています。

問 19 あなたは、久御山町が実施している「食品ロス削減推進事業（フードドライブ）※」の取組についてご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

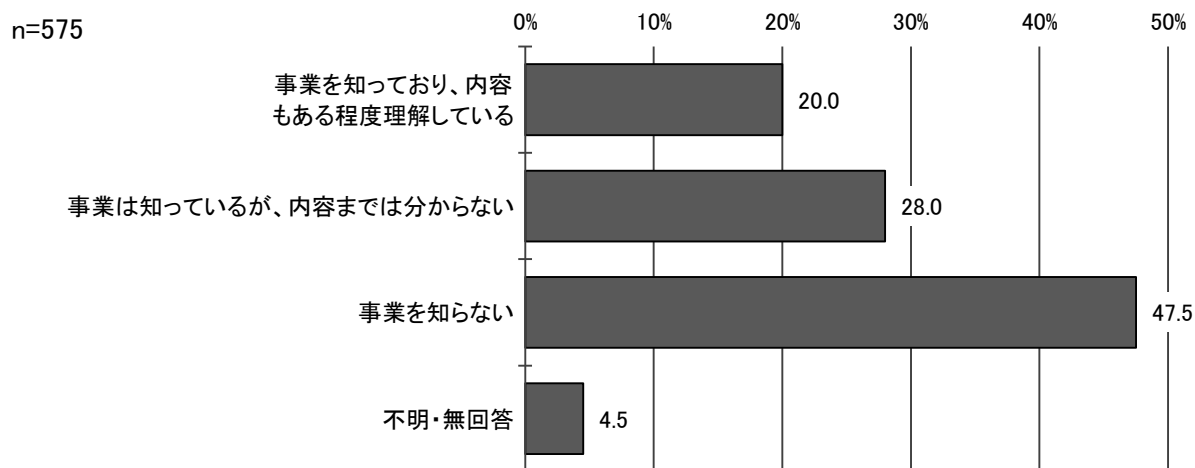
「取組のことは知らない」が 44.0%と最も多く、次いで「取組は知っているが、食品の提供は行ったことがない」が 27.8%、「取組は聞いたことがあるが、よく知らない」が 22.3%となっています。



※近年、大きな問題となっている食品廃棄物の減量化を目的に、家庭で消費しきれない食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に提供するフードドライブ事業の取組を行っています。

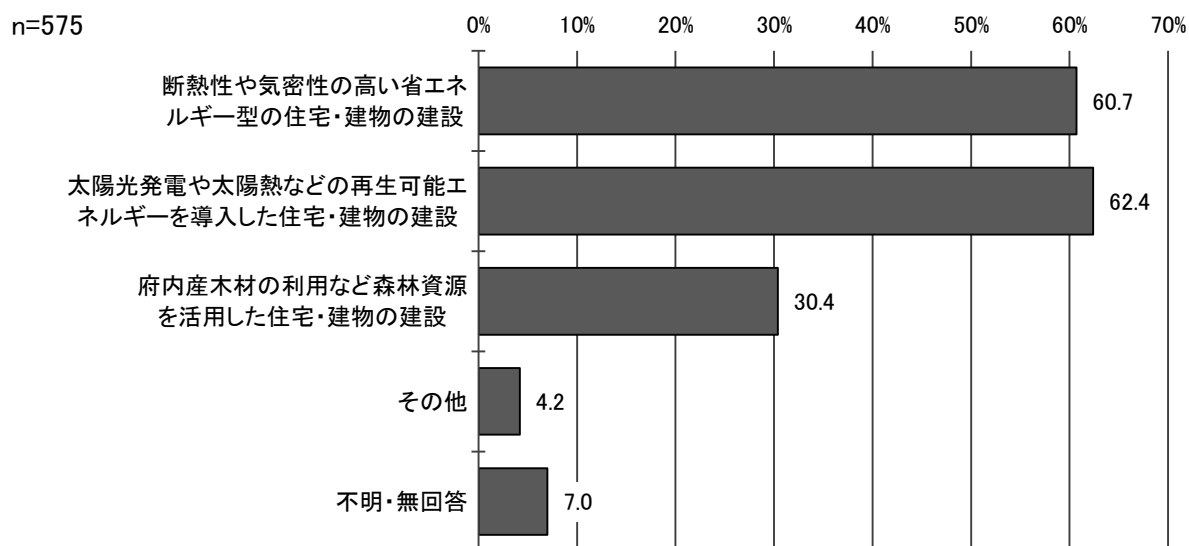
問 20 あなたは、『歩くまち「くみやま」推進事業』をご存じですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

「事業を知らない」が 47.5%と最も多く、次いで「事業は知っているが、内容までは分からない」が 28.0%、「事業を知っており、内容もある程度理解している」が 20.0%となっています。



問 21 現在、久御山町では「みなくるタウン」の整備を進めています。あなたは、地球温暖化防止に配慮した今後の住宅・建物のあり方として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

「太陽光発電や太陽熱などの再生可能エネルギーを導入した住宅・建物の建設」が 62.4%と最も多く、次いで「断熱性や気密性の高い省エネルギー型の住宅・建物の建設」が 60.7%、「府内産木材の利用など森林資源を活用した住宅・建物の建設」が 30.4%となっています。



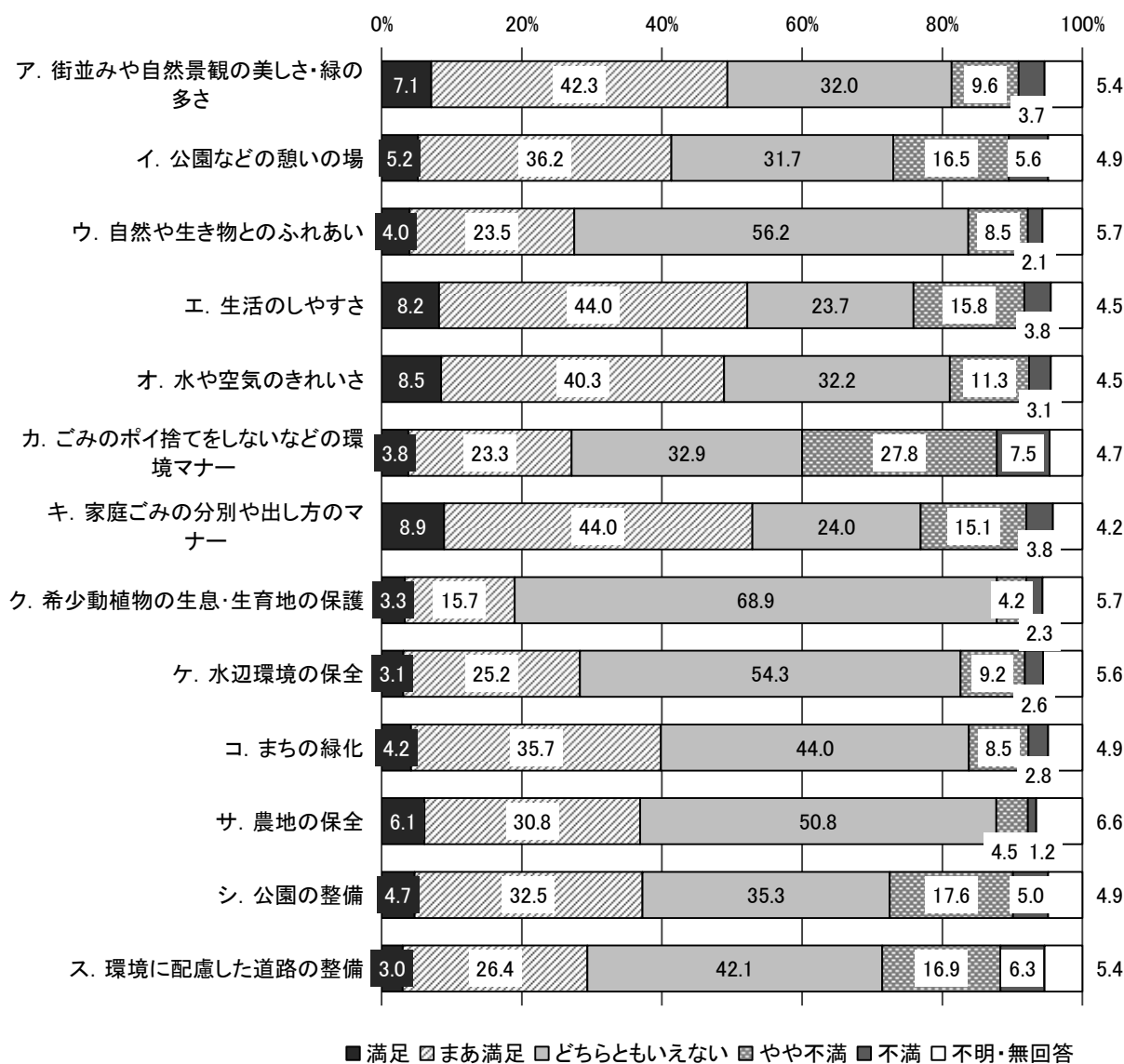
問 22 最後に、久御山町の環境に関する以下の各項目について、どの程度満足されていますか。また、将来の望ましい環境にどの程度重要だと思えますか。項目ごとに、あなたのお考えに最も近いものを満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

① 満足度

『満足計(「満足」と「まあ満足」の合計)』では、[ソ. 下水道整備]が 61.6%と最も多く、次いで[キ. 家庭ごみの分別や出し方のマナー]が 52.9%、[エ. 生活のしやすさ]が 52.5%となっています。

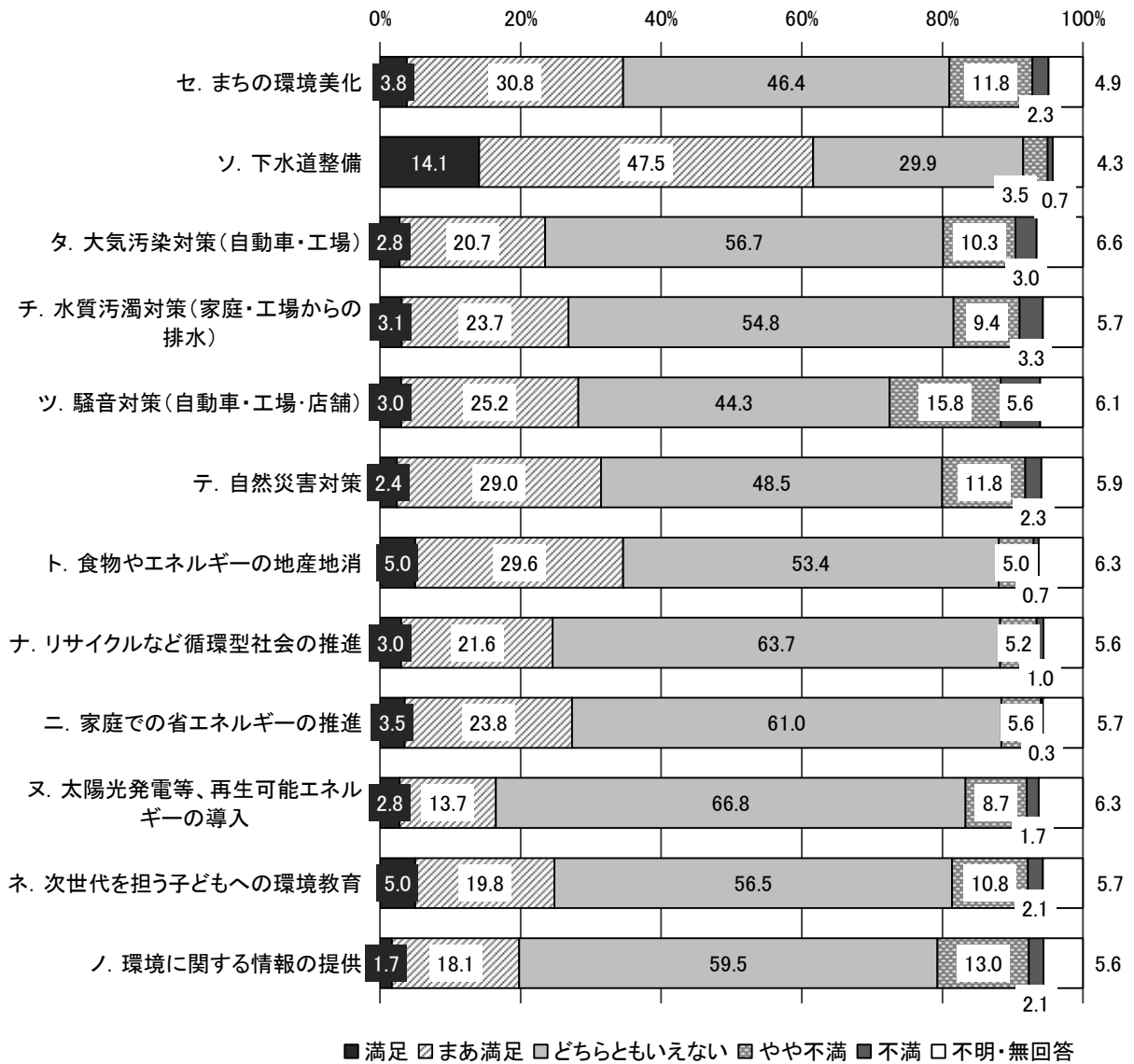
『不満計(「不満」と「やや不満」の合計)』では、[カ. ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー]が 35.3%と最も多く、次いで[ス. 環境に配慮した道路の整備]が 23.2%、[シ. 公園の整備]が 22.6%となっています。

n=575



(続き)

n=575

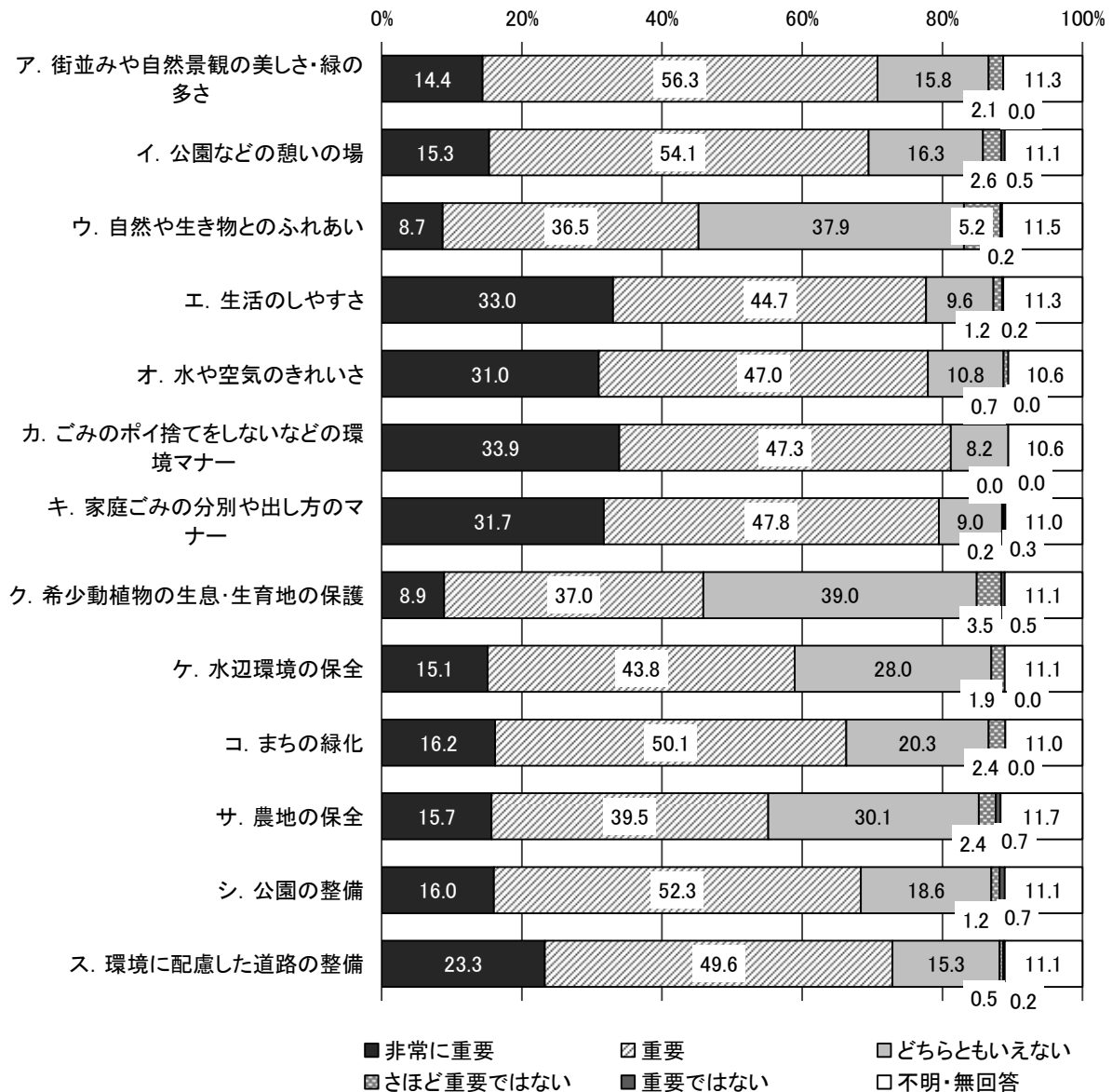


② 重要度

『重要計(「非常に重要」と「重要」の合計)』では、[カ. ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー]が81.2%と最も多く、次いで[キ. 家庭ごみの分別や出し方のマナー]が79.5%、[オ. 水や空気のきれいさ]が78.0%、[エ. 生活のしやすさ]が77.7%となっています。

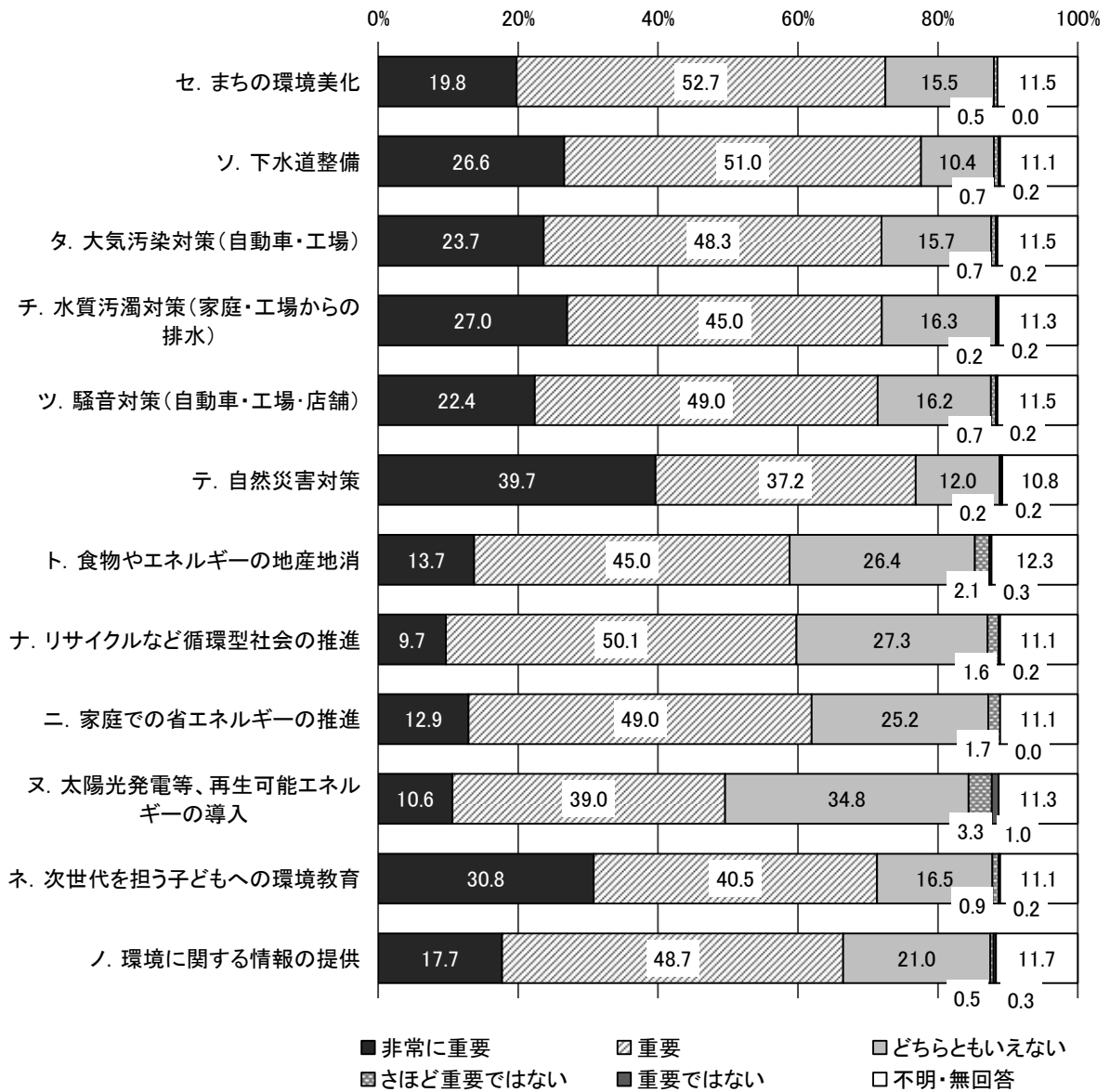
『重要ではない計(「重要ではない」と「さほど重要ではない」の合計)』では、いずれも1割未満となっています。

n=575



(続き)

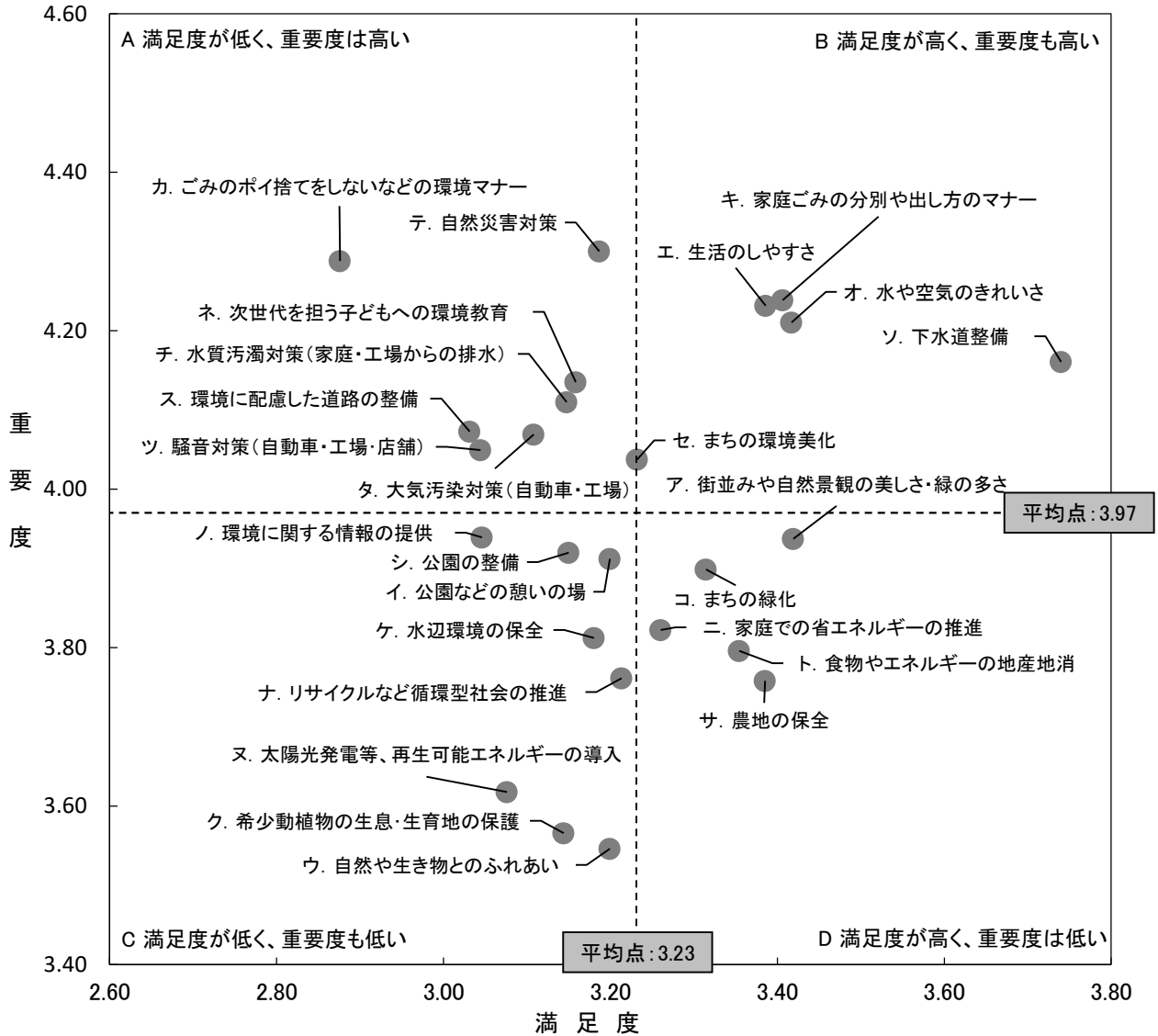
n=575



満足度と重要度の相関（優先度）散布図

久御山町の環境に関する重要度・満足度をみると、〈カ、ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー〉〈テ、自然災害対策〉の満足度が低く、重要度が高くなっています。

n=575



【点数化の説明】

各施策に対する町民の評価を点数化し、満足度と重要度の2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示している。点数化の方法は以下の通り。

満足度: 各項目について、「満足」を5点、「まあ満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出

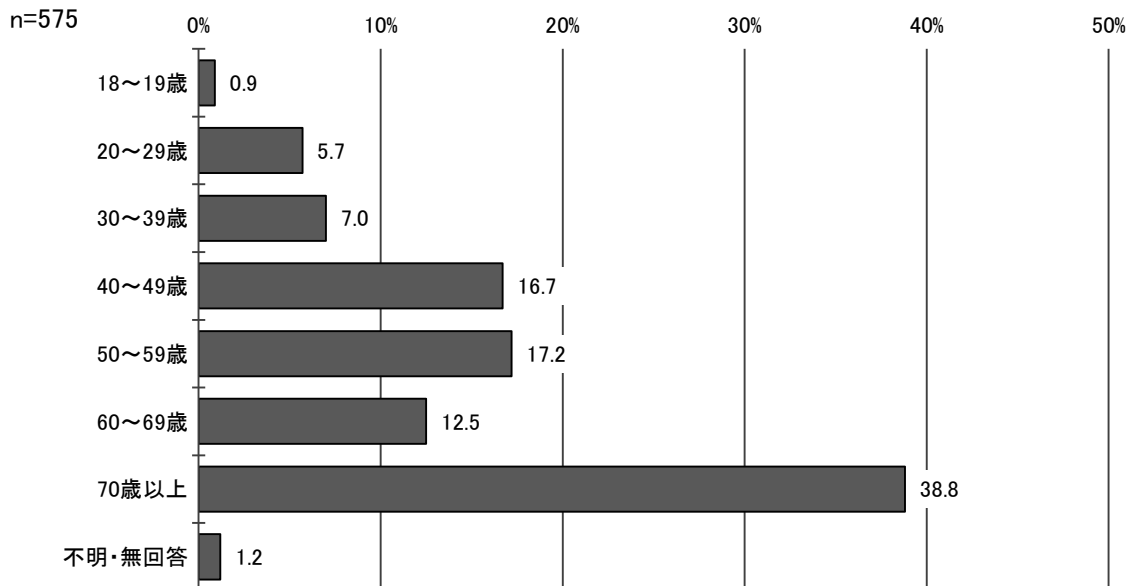
重要度: 各項目について、「非常に重要」を5点、「重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「さほど重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出

6 回答者について

問 23 あなたご自身のことについておうかがいします。次のそれぞれの質問について、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

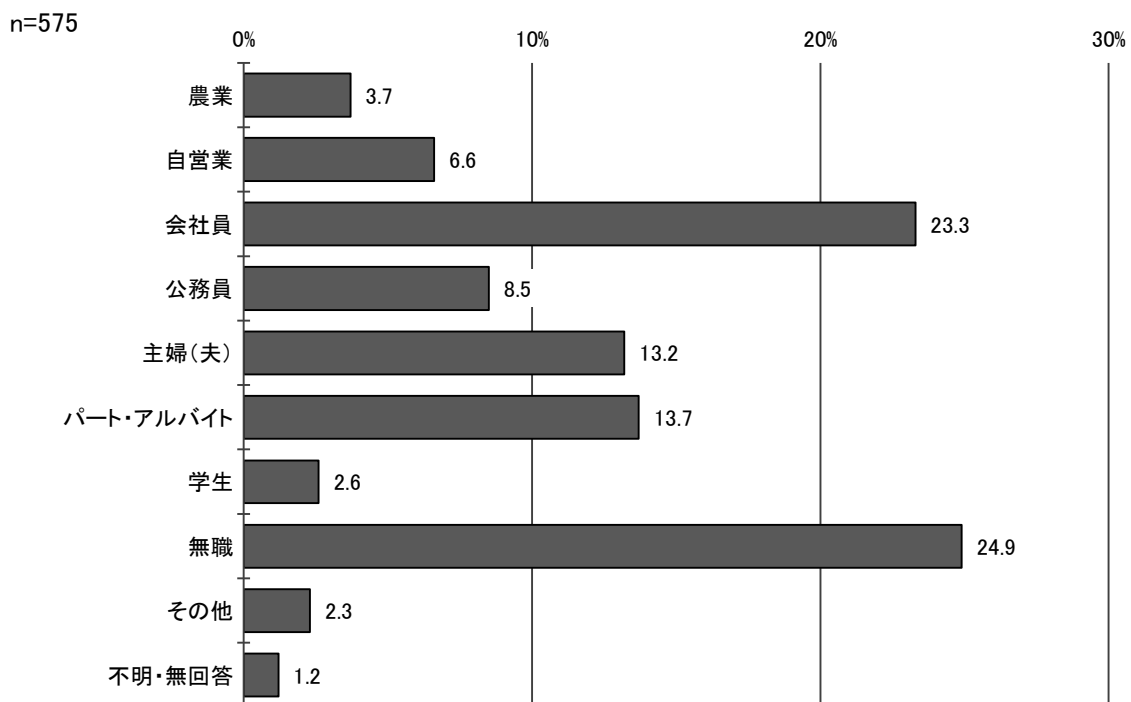
① 年齢

「70歳以上」が38.8%と最も多く、次いで「50～59歳」が17.2%、「40～49歳」が16.7%となっています。



② 職業

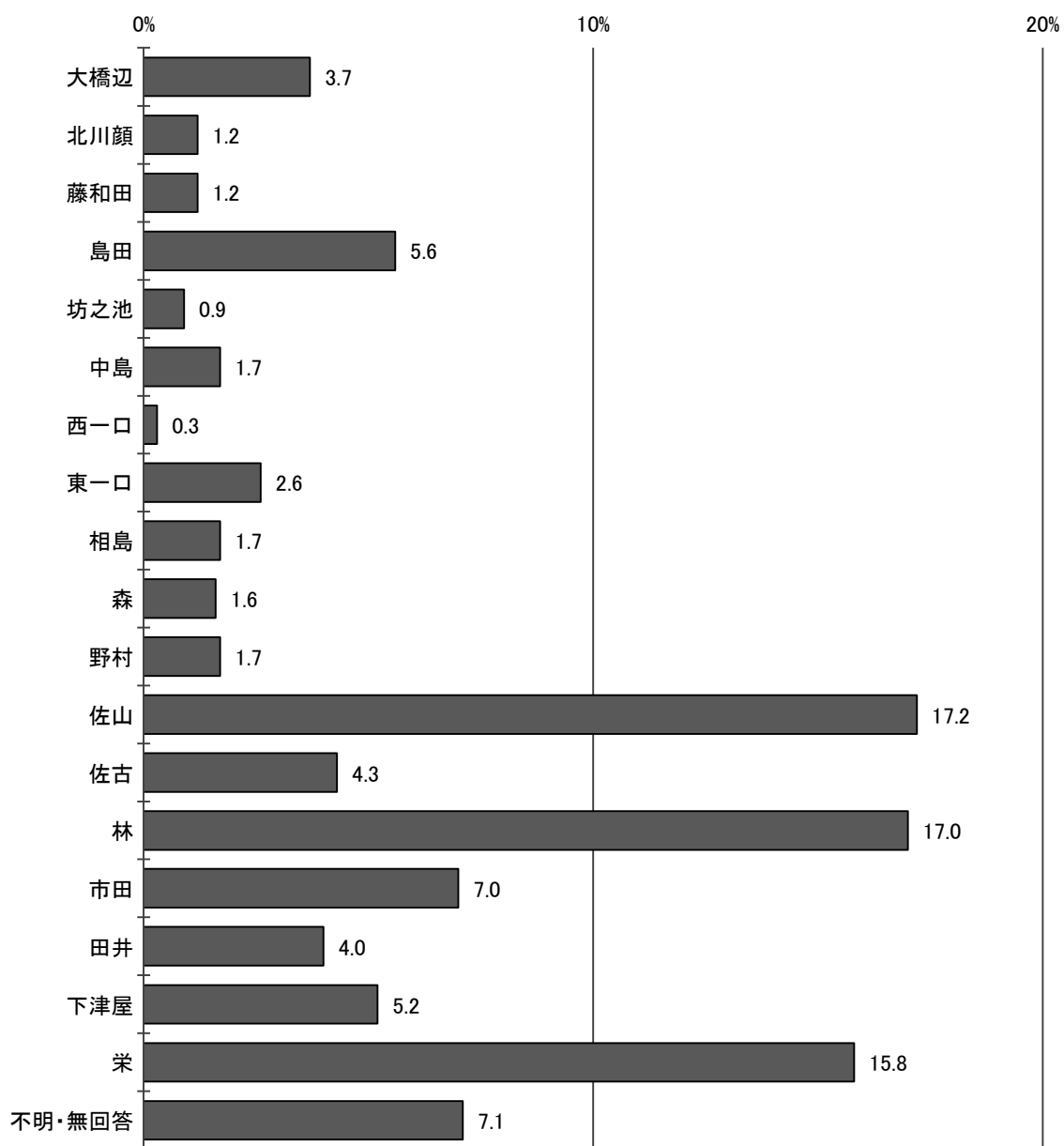
「無職」が24.9%と最も多く、次いで「会社員」が23.3%、「パート・アルバイト」が13.7%となっています。



③ 住所

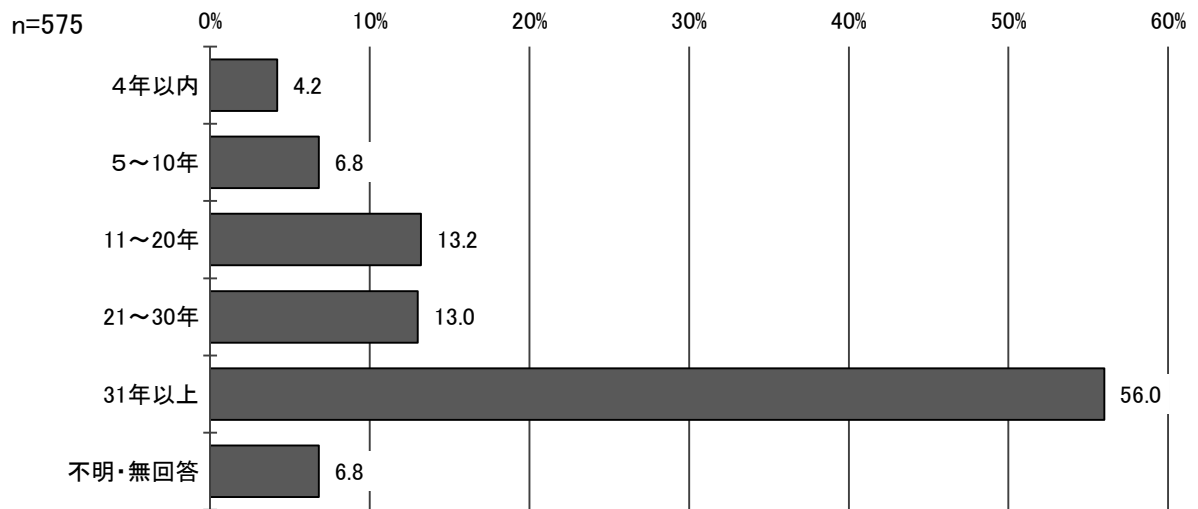
「佐山」が17.2%と最も多く、次いで「林」が17.0%、「栄」が15.8%となっています。

n=575



④ 居住年数

「31年以上」が56.0%と最も多く、次いで「11～20年」が13.2%、「21～30年」が13.0%となっています。



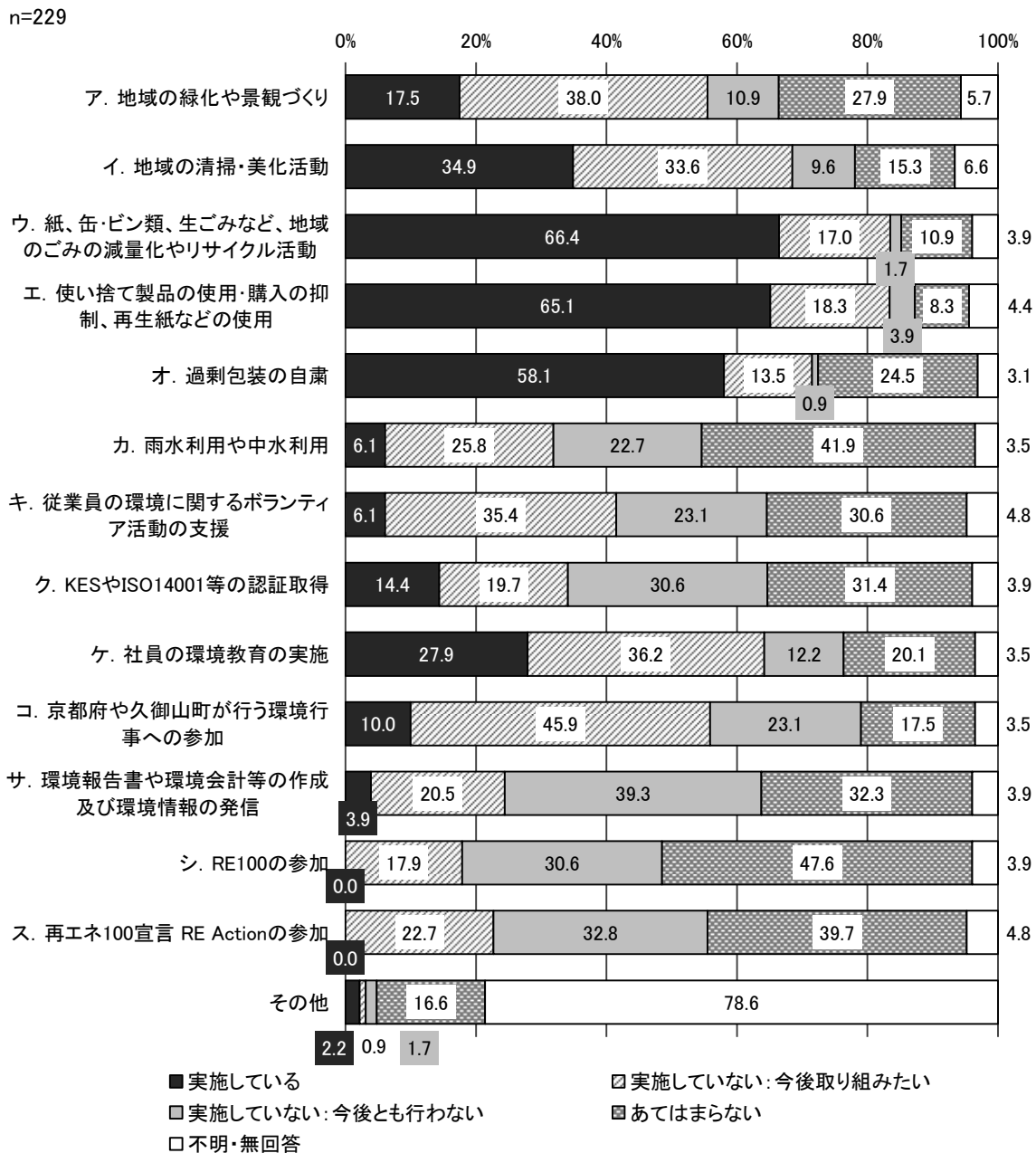
III 事業所アンケート調査結果

1 事業活動と環境保全について

問1 貴事業所が現在行っている地域の環境保全のための取組について、次の項目ごとに、それぞれあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

『実施意向あり(「実施している」と「実施していない:今後取り組みたい」の合計)』では、[ウ. 紙、缶・ビン類、生ごみなど、地域のごみの減量化やリサイクル活動][エ. 使い捨て製品の使用・購入の抑制、再生紙などの使用]が83.4%と最も多く、次いで[オ. 過剰包装の自粛]が71.6%となっています。

「実施していない:今後とも行わない」では、[サ. 環境報告書や環境会計等の作成及び環境情報の発信]が39.2%と最も多く、次いで[ス. 再エネ100宣言 RE Actionの参加]が32.8%、[ク. KESやISO14001等の認証取得][シ. RE100の参加]が30.6%となっています。

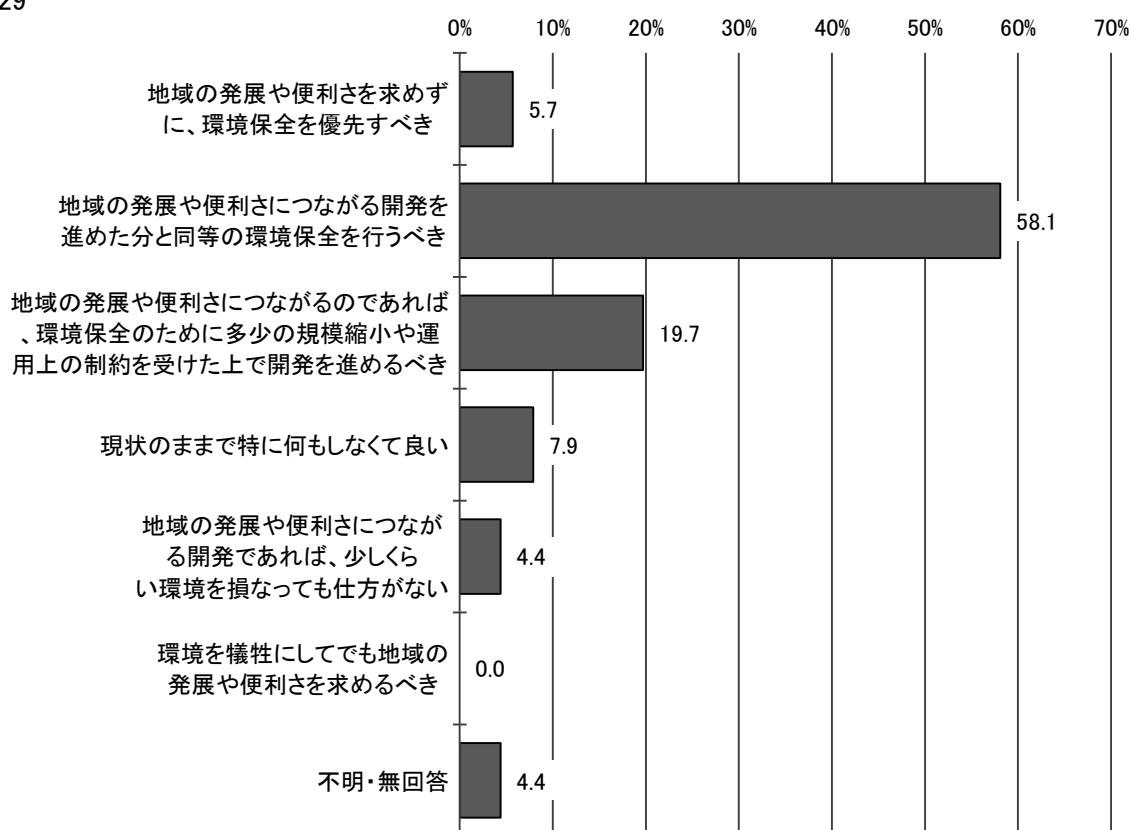


※KES : Kyoto (京都)、Environmental Management System (環境マネジメントシステム)、Standard (スタンダード) の略。京都議定書の発祥地、京都から発信された「環境マネジメントシステム」の規格
 ※RE100 : 企業が自らの事業の使用電力を 100%再エネで賄うことを目指す。年間消費電力量が 100GWh 以上ある企業が対象
 ※再エネ 100 宣言 RE Action : RE100 の対象外となっている中小企業、行政、教育・医療機関等が対象

問 2 貴事業所では、開発と環境保全のバランスについて、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選択してください。

「地域の発展や便利さにつながる開発を進めた分と同等の環境保全を行うべき」が 58.1%と最も多く、次いで「地域の発展や便利さにつながるのであれば、環境保全のために多少の規模縮小や運用上の制約を受けた上で開発を進めるべき」が 19.7%、「現状のままで特に何もなくて良い」が 7.9%となっています。

n=229



■業種別

業種別では、『飲食店』『通信業』を除くすべての業種で、「地域の発展や便利さにつながる開発を進めた分と同等の環境保全を行うべき」、「飲食店」で「地域の発展や便利さにつながるのであれば、環境保全のために多少の規模縮小や運用上の制約を受けた上で開発を進めるべき」「現状のままで特に何もなくて良い」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域の発展 や便利さを 求めずに、 環境保全を 優先すべき	地域の発展 や便利さにつ ながる開 発を進めた 分と同等の 環境保全を 行うべき	地域の発展 や便利さにつ ながるの であれば、 環境保全の ために多少 の規模縮小 や運用上の 制約を受け た上で開発 を進めるべ き	現状のま ま で特に何も しなくて良 い	地域の発展 や便利さにつ ながる開 発であれ ば、少しく らい環境を損 なっても仕 方がない	環境を犠牲 にしても地 域の発展や 便利さを求 めるべき	不明・ 無回答
業 種	農業	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	建設業	21 100.0	1 4.8	15 71.4	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8
	製造業	89 100.0	6 6.7	47 52.8	20 22.5	6 6.7	6 6.7	0 0.0	4 4.5
	卸売・小売業	26 100.0	4 15.4	12 46.2	4 15.4	3 11.5	2 7.7	0 0.0	1 3.8
	飲食店	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	金融・保険	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不動産業	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	運輸業	22 100.0	0 0.0	14 63.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5	0 0.0	1 4.5
	通信業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	電気・ガス・水道業	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療・福祉	12 100.0	0 0.0	7 58.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	教育・学習支援業	5 100.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	複合サービス業	5 100.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	1 6.7	11 73.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

■所在地別

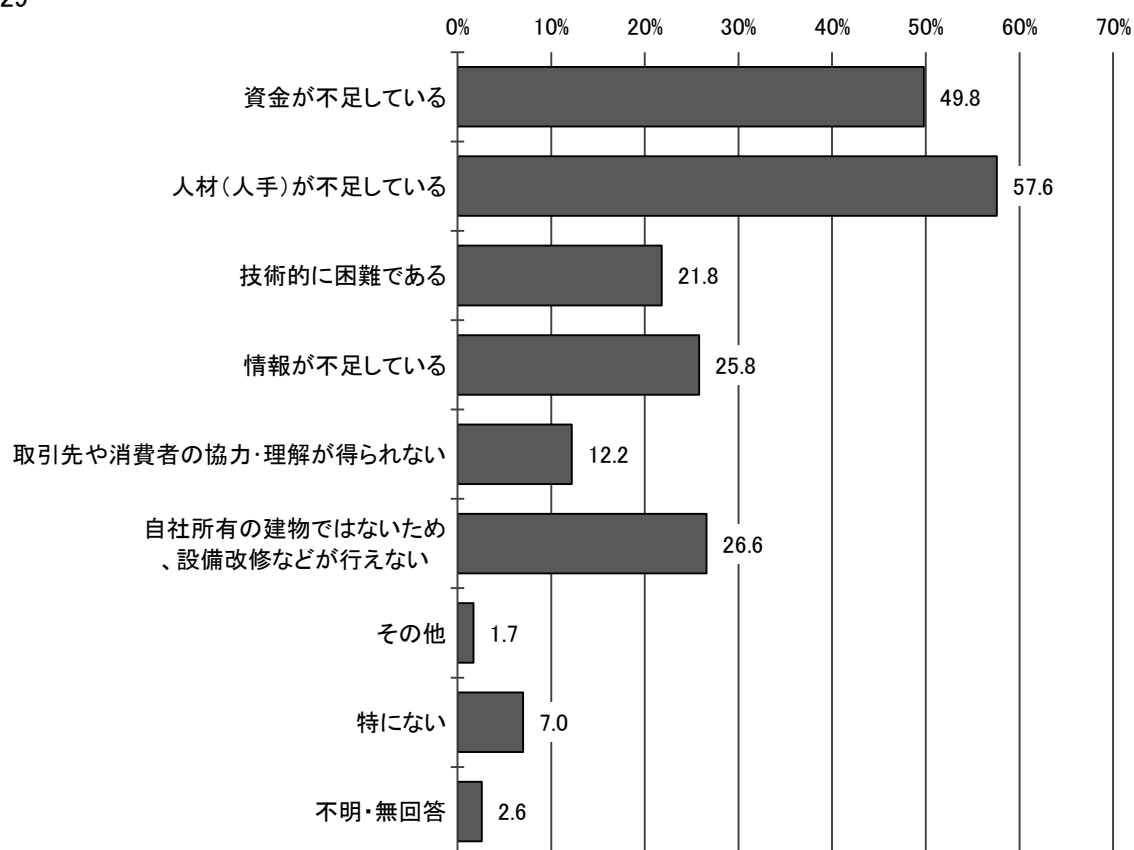
所在地別では、『西一口』『相島』『野村』『林』を除くすべての居住年数で、「地域の発展や便利さにつながる開発を進めた分と同等の環境保全を行うべき」、『野村』『林』で「地域の発展や便利さにつながるのであれば、環境保全のために多少の規模縮小や運用上の制約を受けた上で開発を進めるべき」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	地域の発展 や便利さを 求めずに、 環境保全を 優先すべき	地域の発展 や便利さに つながる開 発を進めた 分と同等の 環境保全を 行うべき	地域の発展 や便利さに つながるの であれば、 環境保全の ために多少 の規模縮小 や運用上の 制約を受け た上で開発 を進めるべ き	現状のまま で特に何も しなくて良い	地域の発展 や便利さに つながる開 発であれ ば、少しく らい環境を損 なっても仕 方がない	環境を犠牲 にしても地 域の発展や 便利さを求 めるべき	不明・ 無回答
所在地	大橋辺	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北川顔	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	藤和田	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	島田	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	坊之池	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	中島	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	相島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	森	30 100.0	5 16.7	17 56.7	3 10.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0	1 3.3
	野村	35 100.0	2 5.7	12 34.3	12 34.3	5 14.3	2 5.7	0 0.0	2 5.7
	佐山	44 100.0	1 2.3	24 54.5	11 25.0	4 9.1	3 6.8	0 0.0	1 2.3
	佐古	13 100.0	0 0.0	12 92.3	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	林	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市田	23 100.0	0 0.0	17 73.9	3 13.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3
	田井	14 100.0	2 14.3	5 35.7	4 28.6	1 7.1	1 7.1	0 0.0	1 7.1
	下津屋	15 100.0	1 6.7	10 66.7	2 13.3	2 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0
	栄	8 100.0	0 0.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5

問3 貴事業所が環境保全に取り組む上で課題であると感じていることは何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

「人材(人手)が不足している」が57.6%と最も多く、次いで「資金が不足している」が49.8%、「自社所有の建物ではないため、設備改修などが行えない」が26.6%となっています。

n=229



■業種別

業種別では、『不動産業』『通信業』『医療・福祉』『教育・学習支援業』を除くすべての業種で、「人材(人手)が不足している」、『農業』『飲食店』『不動産業』『医療・福祉』『複合サービス業』で「資金が不足している」、『教育・学習支援業』で「情報が不足している」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	資金が不足 している	人材(人手) が不足して いる	技術的に困 難である	情報が不足 している	取引先や消 費者の協 力・理解が 得られない	自社所有の 建物ではな いため、設 備改修など が行えない	その他	特にな い	不明・ 無回答
業 種	農業	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	建設業	21 100.0	10 47.6	15 71.4	6 28.6	8 38.1	2 9.5	5 23.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8
	製造業	89 100.0	50 56.2	54 60.7	18 20.2	21 23.6	12 13.5	26 29.2	1 1.1	8 9.0	2 2.2
	卸売・小売業	26 100.0	11 42.3	15 57.7	9 34.6	8 30.8	2 7.7	8 30.8	1 3.8	1 11.5	3 0.0
	飲食店	6 100.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	金融・保険	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	不動産業	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	運輸業	22 100.0	10 45.5	14 63.6	2 9.1	2 9.1	2 9.1	10 45.5	0 0.0	1 4.5	0 0.0
	通信業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	電気・ガス・水道業	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療・福祉	12 100.0	6 50.0	5 41.7	3 25.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	0 0.0	1 8.3	2 16.7
	教育・学習支援業	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	複合サービス業	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	5 33.3	7 46.7	3 20.0	3 20.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0

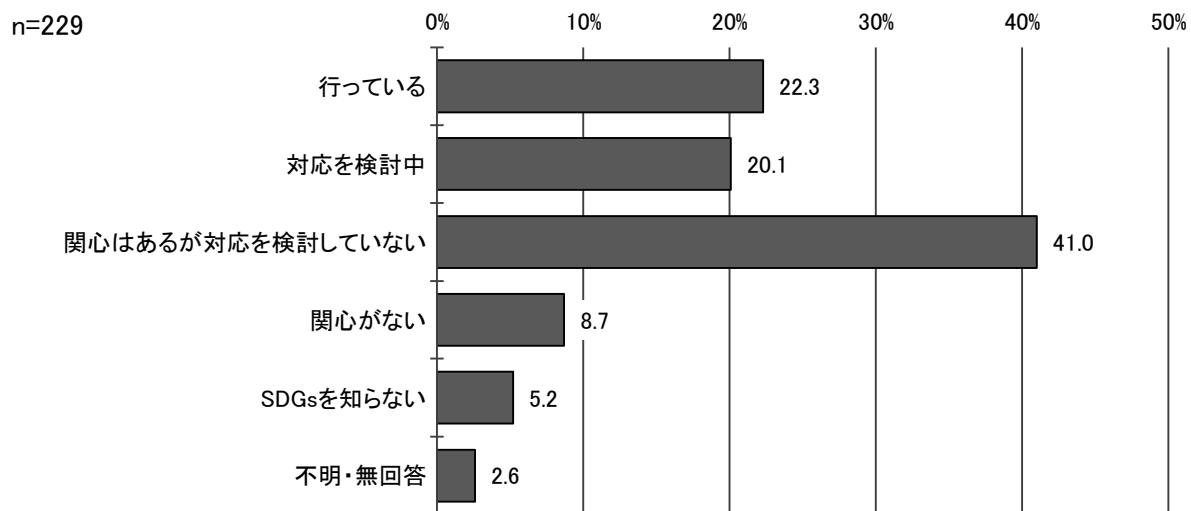
■所在地別

所在地別では、所在地によってばらつきがあり、全体では「資金が不足している」「自分たちだけでなく、みんなと一緒に取り組む運動として行うこと」「人材(人手)が不足している」が高くなっています。また、『藤和田』『東一口』で「情報が不足している」、『大橋辺』で「取引先や消費者の協力・理解が得られない」、『大橋辺』『坊之池』『東一口』で「自社所有の建物ではないため、設備改修などが行えない」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	資金が不足している	人材(人手)が不足している	技術的に困難である	情報が不足している	取引先や消費者の協力・理解が得られない	自社所有の建物ではないため、設備改修などが行えない	その他	特になし	不明・無回答
所在地	大橋辺	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北川顔	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	藤和田	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	島田	5 100.0	4 80.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	坊之池	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	中島	3 100.0	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	相島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	森	30 100.0	12 40.0	20 66.7	4 13.3	8 26.7	2 6.7	7 23.3	0 0.0	3 10.0	1 3.3
	野村	35 100.0	19 54.3	21 60.0	8 22.9	8 22.9	5 14.3	11 31.4	1 2.9	4 11.4	1 2.9
	佐山	44 100.0	18 40.9	24 54.5	9 20.5	12 27.3	5 11.4	13 29.5	1 2.3	3 6.8	1 2.3
	佐古	13 100.0	6 46.2	4 30.8	4 30.8	5 38.5	0 0.0	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	林	6 100.0	4 66.7	4 66.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市田	23 100.0	10 43.5	16 69.6	4 17.4	4 17.4	3 13.0	10 43.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	田井	14 100.0	9 64.3	4 28.6	6 42.9	1 7.1	4 28.6	3 21.4	1 7.1	4 28.6	0 0.0
	下津屋	15 100.0	8 53.3	12 80.0	4 26.7	6 40.0	4 26.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	栄	8 100.0	4 50.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5

問4 貴事業所では、SDGs への貢献の視点を持った経営、事業活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選択し、行っている場合は、その内容を下の枠にご回答ください。

「関心はあるが対応を検討していない」が 41.0%と最も多く、次いで「行っている」が 22.3%、「対応を検討中」が 20.1%となっています。



■業種別

業種別では、『金融・保険』『通信業』を除くすべての業種で、「関心はあるが対応を検討していない」、『金融・保険』で「行っている」が最も高くなっています。また、『農業』では「行っている」「SDGs を知らない」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	行っている	対応を検討中	関心はあるが対応を検討していない	関心がない	SDGsを知らない	不明・無回答
業種	農業	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	建設業	21 100.0	2 9.5	3 14.3	12 57.1	1 4.8	2 9.5	1 4.8
	製造業	89 100.0	26 29.2	18 20.2	29 32.6	10 11.2	5 5.6	1 1.1
	卸売・小売業	26 100.0	2 7.7	5 19.2	15 57.7	2 7.7	0 0.0	2 7.7
	飲食店	6 100.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	金融・保険	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不動産業	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	運輸業	22 100.0	7 31.8	5 22.7	8 36.4	2 9.1	0 0.0	0 0.0
	通信業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	電気・ガス・水道業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療・福祉	12 100.0	0 0.0	3 25.0	6 50.0	1 8.3	0 0.0	2 16.7
	教育・学習支援業	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	複合サービス業	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	その他	15 100.0	4 26.7	3 20.0	6 40.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0

■従業員数別

従業員数別では、『10人以下』で「関心はあるが対応を検討していない」、『11人以上』で「行っている」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	行っている	対応を検討中	関心はあるが対応を検討していない	関心がない	SDGsを知らない	不明・無回答
従業員数	10人以下	122 100.0	15 12.3	23 18.9	56 45.9	16 13.1	8 6.6	4 3.3
	11人以上	89 100.0	35 39.3	17 19.1	30 33.7	2 2.2	3 3.4	2 2.2

■所在地別

所在地別では、所在地によってばらつきがあり、全体では「関心はあるが対応を検討していない」が高くなっています。また、『北川顔』『島田』『林』で「行っている」、『中島』『栄』で「対応を検討中」も高くなっています。

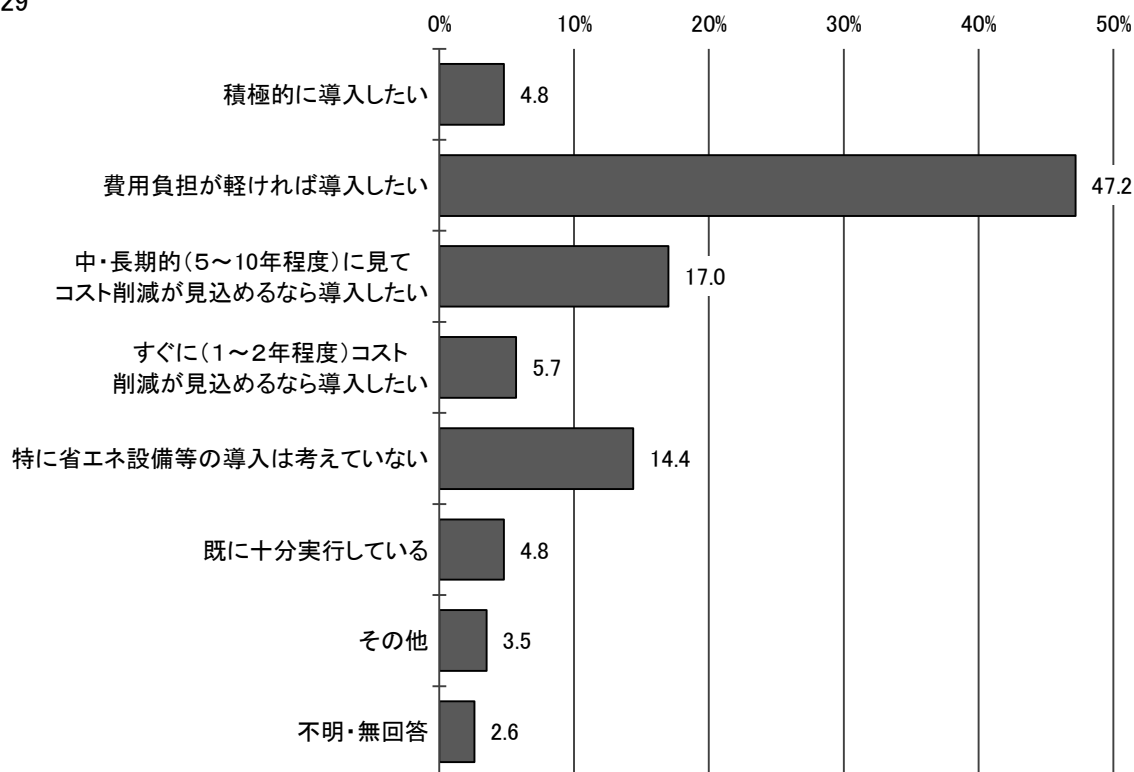
上段:件数 下段:%		合計	行っている	対応を検討中	関心はあるが対応を検討していない	関心がない	SDGsを知らない	不明・無回答
所在地	大橋辺	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	北川顔	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	藤和田	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	島田	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	坊之池	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中島	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	4 100.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	相島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	森	30 100.0	7 23.3	7 23.3	11 36.7	2 6.7	2 6.7	1 3.3
	野村	35 100.0	8 22.9	5 14.3	13 37.1	6 17.1	3 8.6	0 0.0
	佐山	44 100.0	13 29.5	7 15.9	19 43.2	3 6.8	0 0.0	2 4.5
	佐古	13 100.0	2 15.4	3 23.1	8 61.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	林	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	市田	23 100.0	4 17.4	6 26.1	8 34.8	4 17.4	1 4.3	0 0.0
	田井	14 100.0	3 21.4	4 28.6	6 42.9	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	下津屋	15 100.0	4 26.7	0 0.0	8 53.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0
	栄	8 100.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5

2 省エネルギー（省エネ）対策について

問5 貴事業所における「建物の断熱化」や「高効率機器※の導入」などの省エネ対策について、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選択してください。

「費用負担が軽ければ導入したい」が 47.2%と最も多く、次いで「中・長期的(5～10 年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい」が 17.0%、「特に省エネ設備等の導入は考えていない」が 14.4%となっています。

n=229



※高効率機器：LED 照明、省エネ給湯器、IH クッキングヒーター、食器洗い乾燥機、節水型キッチン水栓、節水シャワーヘッド等

■業種別

業種別では、『金融・保険』『通信業』『電気・ガス・水道業』『複合サービス業』を除くすべての業種で、「費用負担が軽ければ導入したい」、「金融・保険」で「中・長期的(5～10年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい」「既に十分実行している」「その他」、『電気・ガス・水道業』『複合サービス業』で「中・長期的(5～10年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	積極的に導入したい	費用負担が軽ければ導入したい	中・長期的(5～10年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい	すぐに(1～2年程度)コスト削減が見込めるなら導入したい	特に省エネ設備等の導入は考えていない	既に十分実行している	その他	不明・無回答
業種	農業	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	建設業	21 100.0	2 9.5	10 47.6	5 23.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8
	製造業	89 100.0	3 3.4	45 50.6	16 18.0	5 5.6	11 12.4	4 4.5	3 3.4	2 2.2
	卸売・小売業	26 100.0	1 3.8	8 30.8	4 15.4	3 11.5	7 26.9	1 3.8	2 7.7	0 0.0
	飲食店	6 100.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	金融・保険	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 33.3	1 33.3	0 0.0
	不動産業	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	運輸業	22 100.0	1 4.5	10 45.5	3 13.6	0 0.0	7 31.8	0 0.0	1 4.5	0 0.0
	通信業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	電気・ガス・水道業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療・福祉	12 100.0	0 0.0	7 58.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	教育・学習支援業	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	複合サービス業	5 100.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	1 6.7	7 46.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0

■所在地別

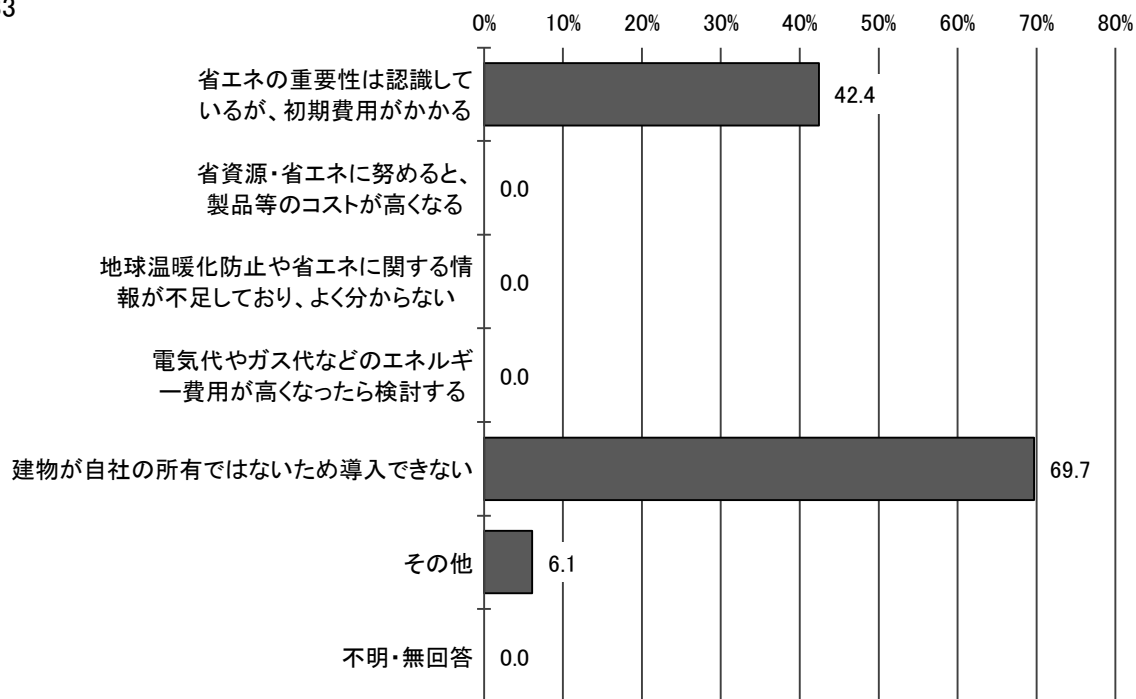
所在地別では、所在地によってばらつきがあり、全体では「費用負担が軽ければ導入したい」「特に省エネ設備等の導入は考えていない」が高くなっています。また、『佐古』で「中・長期的(5～10年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい」も高くなっています。

	上段:件数 下段:%	合計	積極的に導入したい	費用負担が軽ければ導入したい	中・長期的(5～10年程度)に見てコスト削減が見込めるなら導入したい	すぐに(1～2年程度)コスト削減が見込めるなら導入したい	特に省エネ設備等の導入は考えていない	既に十分実行している	その他	不明・無回答
所在地	大橋辺	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北川顔	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	藤和田	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	島田	5 100.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	坊之池	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中島	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
	相島	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	森	30 100.0	3 10.0	14 46.7	4 13.3	2 6.7	3 10.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3
	野村	35 100.0	2 5.7	17 48.6	8 22.9	3 8.6	3 8.6	2 5.7	0 0.0	0 0.0
	佐山	44 100.0	2 4.5	23 52.3	11 25.0	0 0.0	4 9.1	1 2.3	1 2.3	2 4.5
	佐古	13 100.0	1 7.7	4 30.8	6 46.2	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	林	6 100.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	市田	23 100.0	2 8.7	8 34.8	3 13.0	3 13.0	6 26.1	1 4.3	0 0.0	0 0.0
	田井	14 100.0	0 0.0	5 35.7	2 14.3	1 7.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	下津屋	15 100.0	0 0.0	7 46.7	2 13.3	0 0.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0
	栄	8 100.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5

問6 問5で「特に省エネ設備※等の導入は考えていない」と回答した方にお尋ねします。省エネ設備等を導入するにあたり、障害になると思われることは何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

「建物が自社の所有ではないため導入できない」が69.7%と最も多く、次いで「省エネの重要性は認識しているが、初期費用がかかる」が42.4%、「その他」が6.1%となっています。

n=33



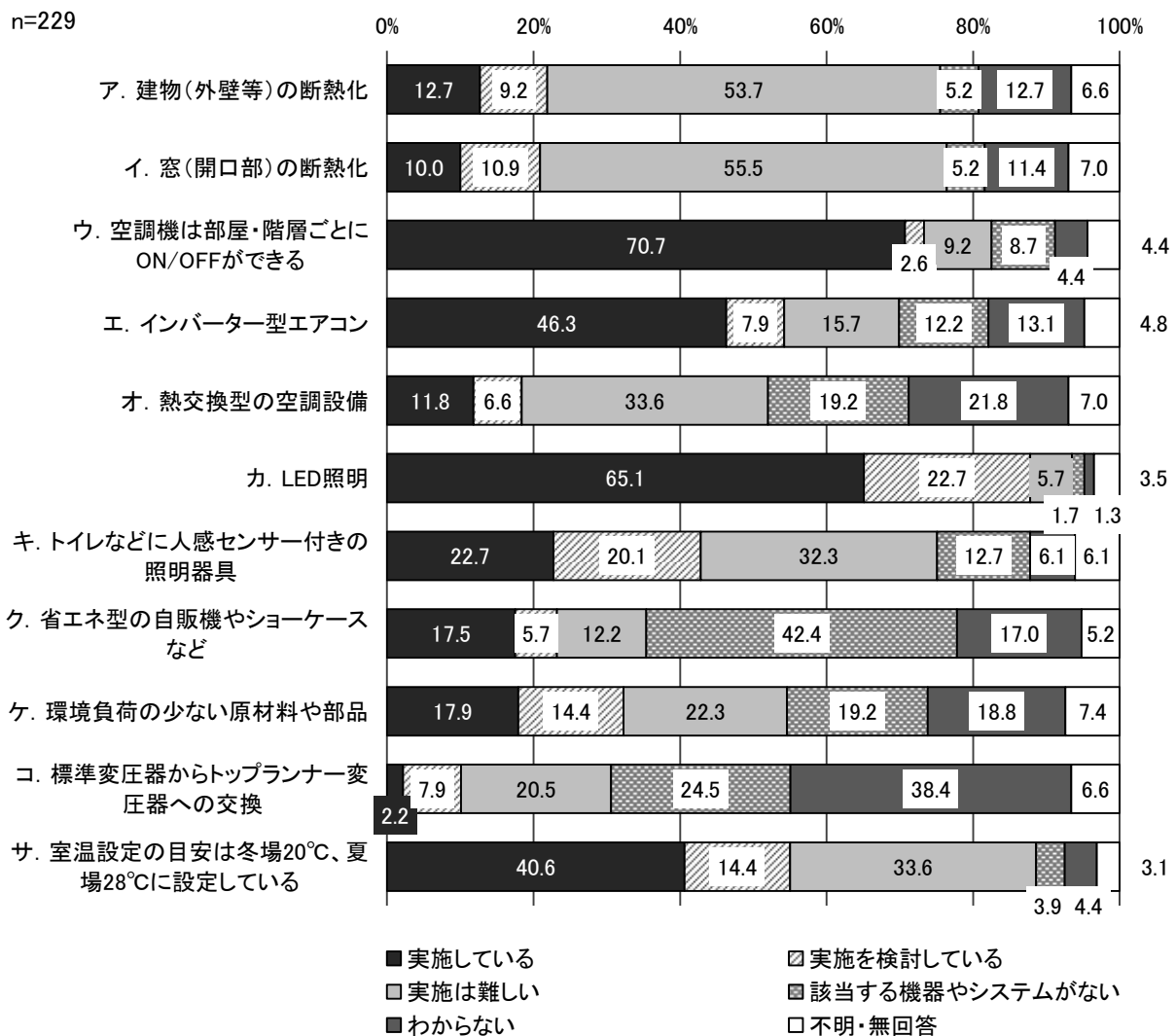
※省エネ設備：照明、給湯、暖房、厨房、冷房など環境に配慮した設備

問7 貴事業所の省エネ行動や設備導入の状況について、それぞれあてはまる欄に○をつけてください。

「実施している」では、[ウ. 空調機は部屋・階層ごとに ON/OFF ができる]が 70.7%と最も多く、次いで[カ. LED 照明]が 65.1%、[エ. インバーター型エアコン]が 46.3%となっています。

「実施を検討している」では、[カ. LED 照明]が 22.7%と最も多く、次いで[キ. トイレなどに人感センサー付きの照明器具]が 20.1%、[ナ. 脱炭素の取組に関する見学会や講習会、勉強会への参加]が 19.2%となっています。

「実施は難しい」では、[イ. 窓(開口部)の断熱化]が 55.5%と最も多く、次いで[ア. 建物(外壁等)の断熱化]が 53.7%、[ト. 環境の取組に関する担当者もしくは部門を設置]が 45.9%となっています。



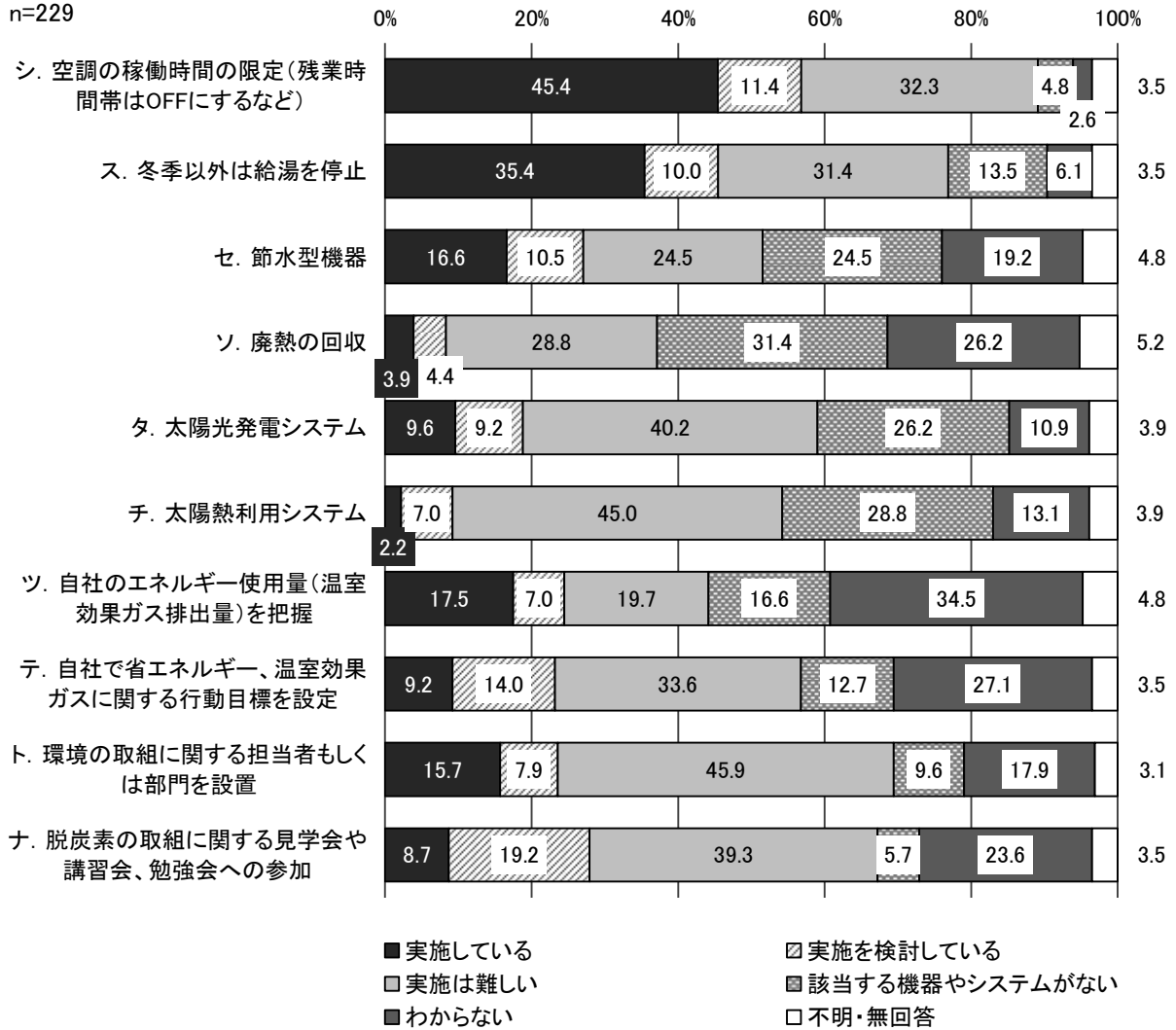
※インバーター型エアコン：部屋の快適温度に合わせ必要なだけの運転能力で、効率よく省エネ運転を行うエアコンのこと

※熱交換：排気時に捨てられてしまう室内の熱を回収して、給気してきた空気に戻すことで、換気による空調負荷の増加を抑えることができる換気システムのこと

※トップランナー変圧器：省エネ法によって定められた一定基準値以上の効率を達成した変圧器のこと

(続き)

n=229



※太陽光発電システム：太陽の光を電気に変える利用法のこと。太陽光発電は、価格が高くなるが、広範な建物に利用可能

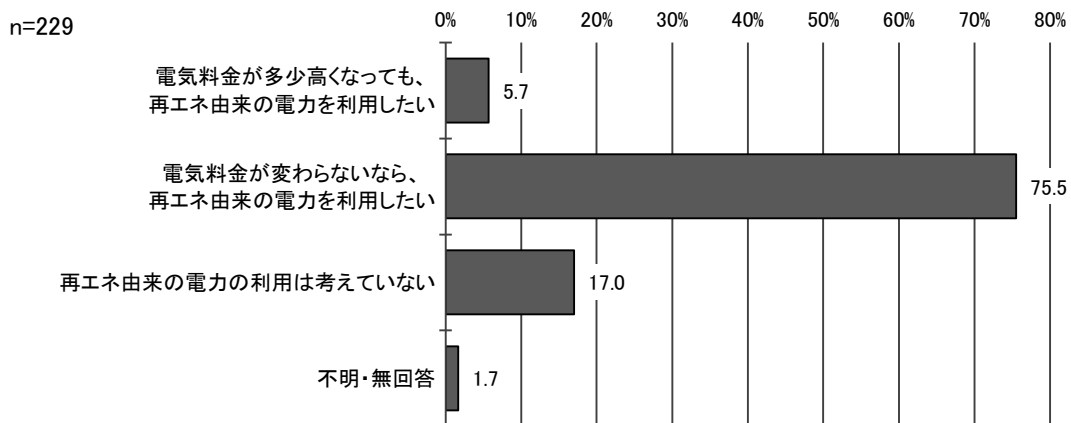
※太陽熱利用システム：太陽の熱を利用してお湯をつくり出すシステムのこと。太陽光発電に比較してエネルギー効率は高く、価格も安価であるが、適用建物は給湯需要の多い建物（ホテル、病院、福祉施設、共同住宅、学校など）

3 再生可能エネルギー※（再エネ）の導入などについて

※再生可能エネルギー：「再生可能エネルギー」とは太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった、自然由来で二酸化炭素（CO2）を排出せずに活用できるエネルギーで、今後の脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現に向けて導入が進められています。

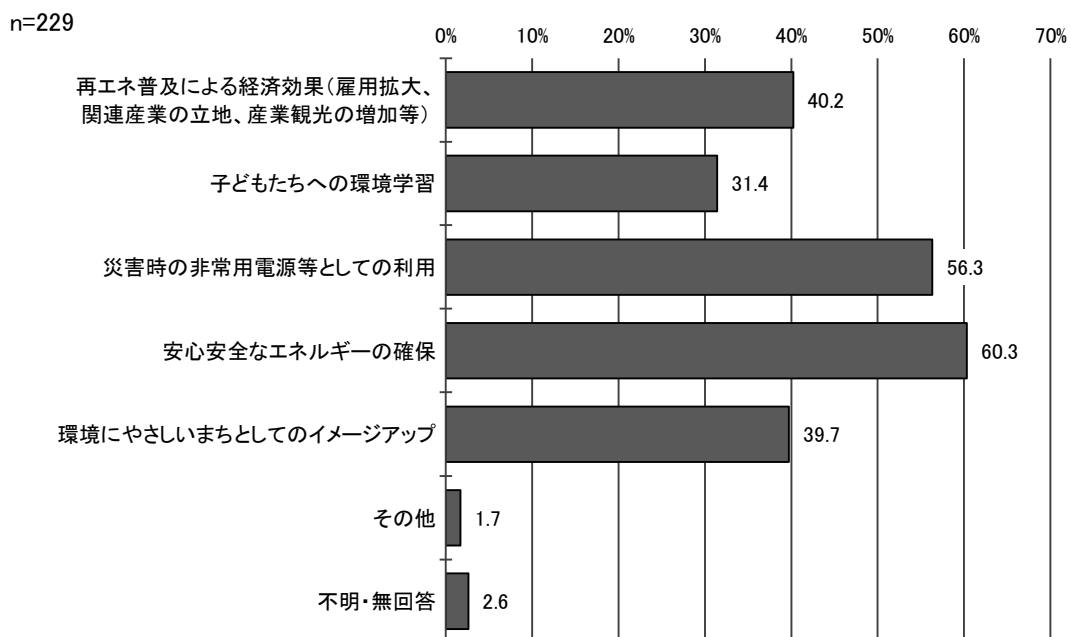
問8 貴事業所では、再エネ由来の電力を利用したいと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「電気料金が変わらないなら、再エネ由来の電力を利用したい」が75.5%と最も多く、次いで「再エネ由来の電力の利用は考えていない」が17.0%、「電気料金が多少高くなっても、再エネ由来の電力を利用したい」が5.7%となっています。



問9 久御山町に再エネが普及することによって、地域にどのような効果を期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください。

「安心安全なエネルギーの確保」が60.3%と最も多く、次いで「災害時の非常用電源等としての利用」が56.3%、「再エネ普及による経済効果(雇用拡大、関連産業の立地、産業観光の増加等)」が40.2%となっています。



■業種別

業種別では、業種によってばらつきがあり、全体では「災害時の非常用電源等としての利用」「安心安全なエネルギーの確保」が最も高くなっています。また、『飲食』『金融・保険』では「環境にやさしいまちとしてのイメージアップ」、『金融・保険』『複合サービス業』で「再エネ普及による経済効果(雇用拡大、関連産業の立地、産業観光の増加等)」も高くなっています。

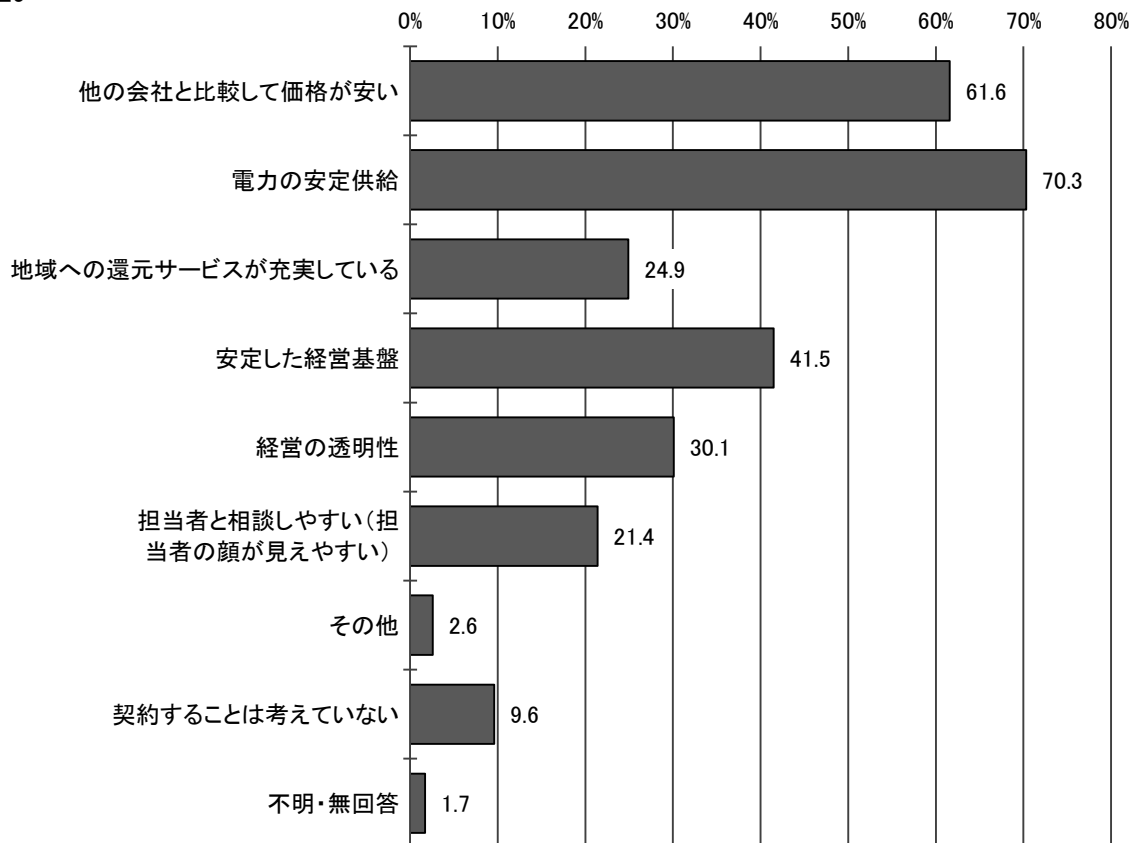
上段:件数 下段:%		合計	再エネ普及 による経済 効果(雇用 拡大、関連 産業の立 地、産業観 光の増加 等)	子どもたち への環境学 習	災害時の非 常電源等 としての利 用	安心安全な エネルギー の確保	環境にやさ しいまちとし てのイメージ アップ	その他	不明・ 無回答
業 種	農業	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	建設業	21 100.0	8 38.1	7 33.3	14 66.7	11 52.4	5 23.8	1 4.8	0 0.0
	製造業	89 100.0	39 43.8	30 33.7	47 52.8	59 66.3	37 41.6	2 2.2	2 2.2
	卸売・小売業	26 100.0	7 26.9	6 23.1	15 57.7	16 61.5	8 30.8	0 0.0	0 0.0
	飲食店	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	金融・保険	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	不動産業	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	運輸業	22 100.0	9 40.9	6 27.3	11 50.0	11 50.0	7 31.8	0 0.0	2 9.1
	通信業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	電気・ガス・水道業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	医療・福祉	12 100.0	6 50.0	4 33.3	7 58.3	7 58.3	4 33.3	0 0.0	1 8.3
	教育・学習支援業	5 100.0	2 40.0	4 80.0	5 100.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
	複合サービス業	5 100.0	4 80.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	6 40.0	5 33.3	11 73.3	9 60.0	8 53.3	0 0.0	0 0.0

4 電力の地産地消について

問 10 どのような条件があれば地域電力マネジメント事業所（以下、地域電力）と契約しますか。
あてはまるものをすべて選択してください。

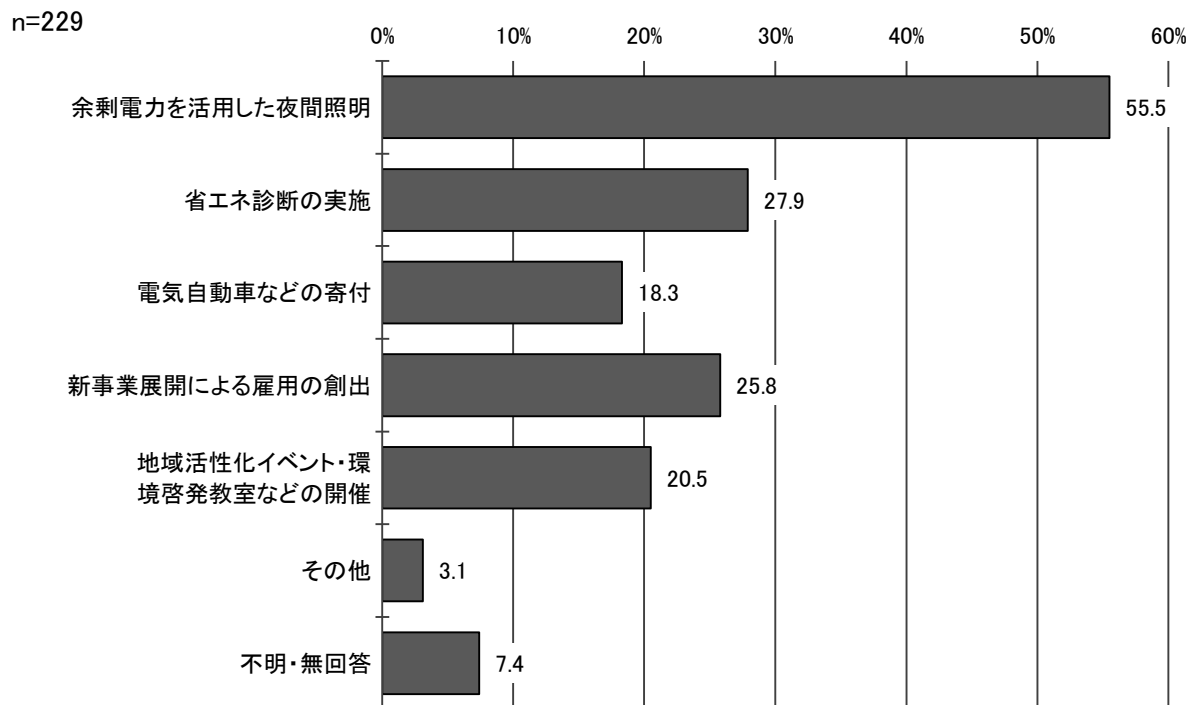
「電力の安定供給」が70.3%と最も多く、次いで「他の会社と比較して価格が安い」が61.6%、「安定した経営基盤」が41.5%となっています。

n=229



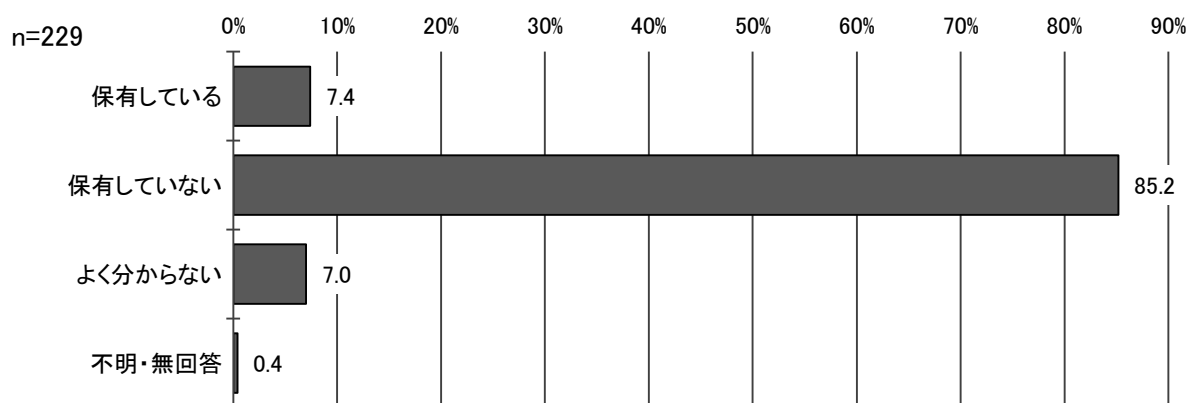
問 11 地域電力が実施する地域への還元サービスはどのようなものを期待しますか。あてはまるものをすべて選択してください。

「余剰電力を活用した夜間照明」が 55.5%と最も多く、次いで「省エネ診断の実施」が 27.9%、「新事業展開による雇用の創出」が 25.8%となっています。



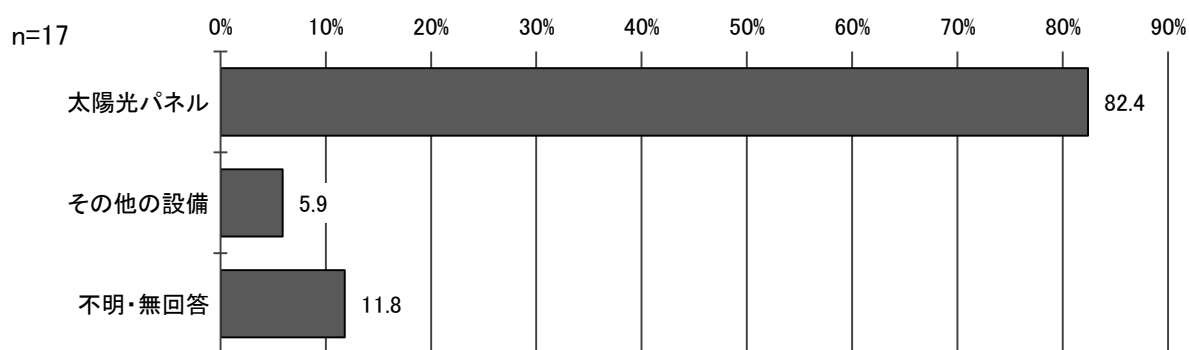
問 12 貴事業所では、再エネ設備を保有していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「保有していない」が 85.2%と最も多く、次いで「保有している」が 7.4%、「よく分からない」が 7.0%となっています。



問 13 問 12 で「保有している」と回答した方にお尋ねします。貴事業所が保有している再エネ設備は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

「太陽光パネル」が 82.4%、「その他の設備」が 5.9%となっています。



設置年度

太陽光パネルでは「2014 年度」が 5 件、その他の年度が 1 件となっています。

その他の設備では「風力発電」の「1998 年度」が 1 件となっています。

■太陽光パネル

西暦	件数
1999	1
2005	1
2010	1
2011	1
2013	1

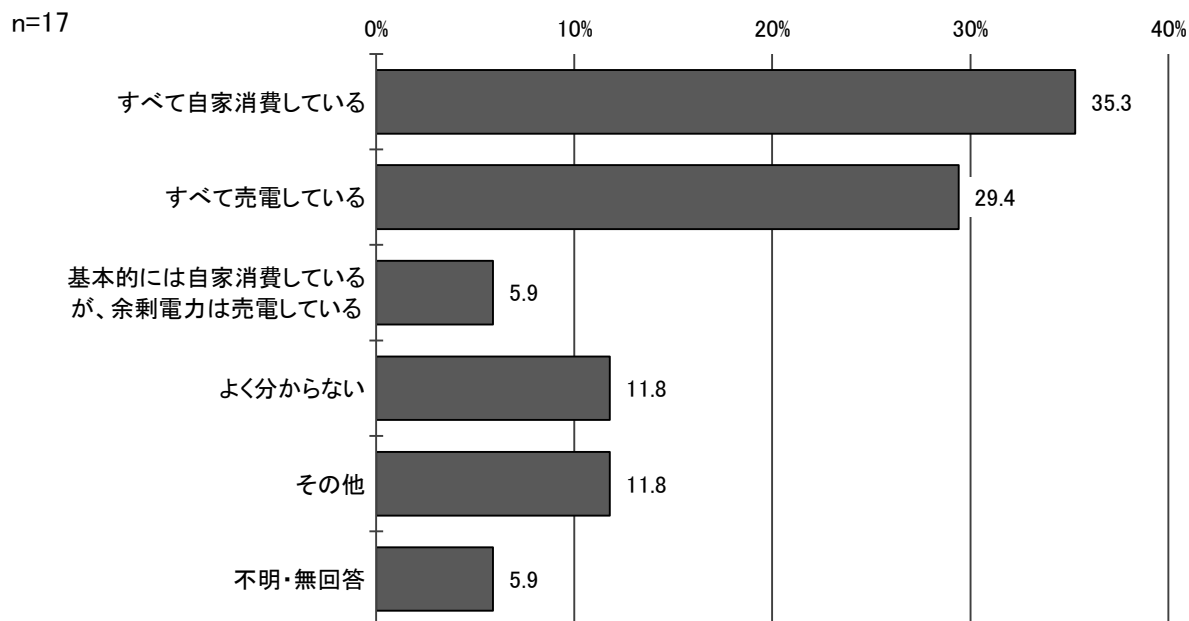
西暦	件数
2014	5
2015	1
2016	1
2019	1
2021	1

■その他の設備

具体的に	西暦	件数
風力発電	1998	1

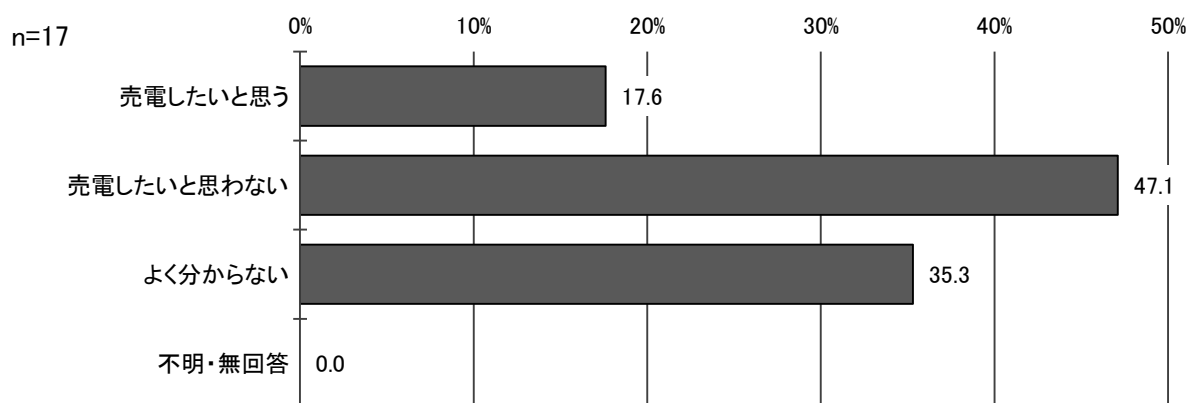
問 14 問 12 で「保有している」と回答した方にお尋ねします。再エネ設備で発電した電力はどのように活用していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「すべて自家消費している」が 35.3%と最も多く、次いで「すべて売電している」が 29.4%、「よく分からない」「その他」が 11.8%となっています。



問 15 問 12 で「保有している」と回答した方にお尋ねします。地域内に契約できる電力マネジメント事業所があれば、貴事業所が保有する再エネ設備で発電した電力を売電したいと思いますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「売電したいと思わない」が 47.1%と最も多く、次いで「よく分からない」が 35.3%、「売電したいと思う」が 17.6%となっています。



問 16 問 15 で「売電したいと思う」と回答した方にお尋ねします。貴事業所が保有する再エネ設備の種別と発電出力を教えてください。

太陽光発電の久御山町内の発電出力は、5.7kW が1件、5.5kW が1件となっています。

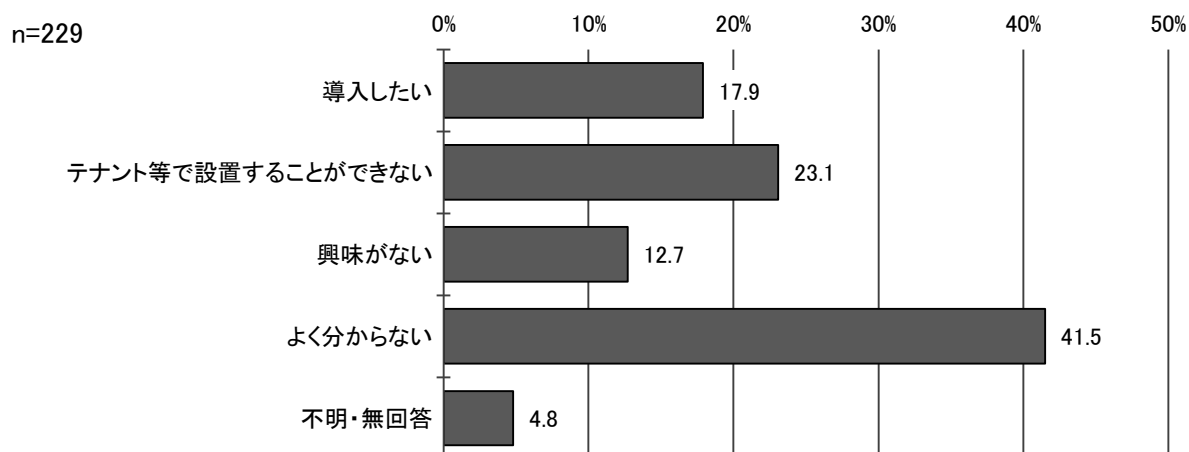
太陽光発電の久御山町外の発電出力、その他の再エネの久御山町内の発電出力、その他の再エネの久御山町外の発電出力はいずれも回答がありませんでした。

■太陽光発電：久御山町内の発電出力

発電出力 (kW)	件数
5.5	1
5.7	1

問 17 昨今、地球温暖化対策や非常時対応を目的として、太陽光発電や蓄電池の設置が進んできていますが、初期費用が課題となっています。太陽光発電等を初期費用無償設置できる事業（PPA モデル※）について、どのようにお考えですか。あてはまるものを1つ選択してください。

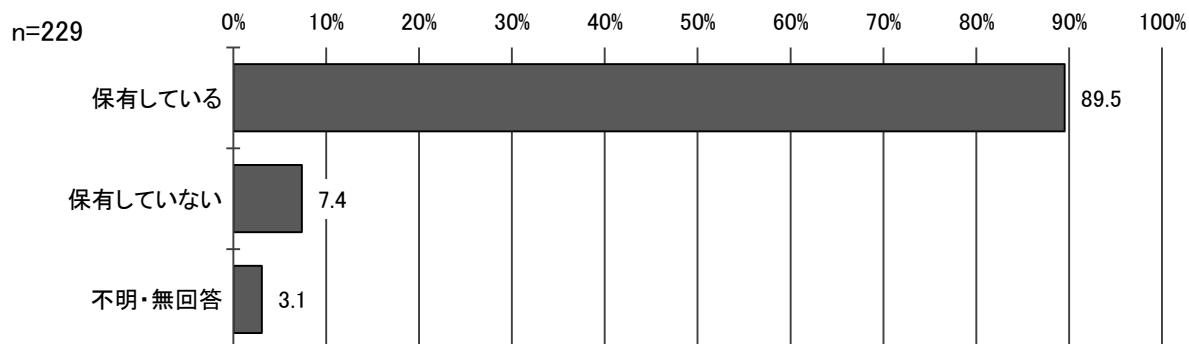
「よく分からない」が 41.5%と最も多く、次いで「テナント等で設置することができない」が 23.1%、「導入したい」が 17.9%となっています。



※PPA モデル：需要家（電力の使用者）の屋根などを借り、電力事業者が太陽光発電等を取りつけ、発電した電気は需要家に供給（売電）される。一定期間が過ぎると太陽光発電は電力事業者から譲渡される。初期投資額が無償にできるモデルもある。

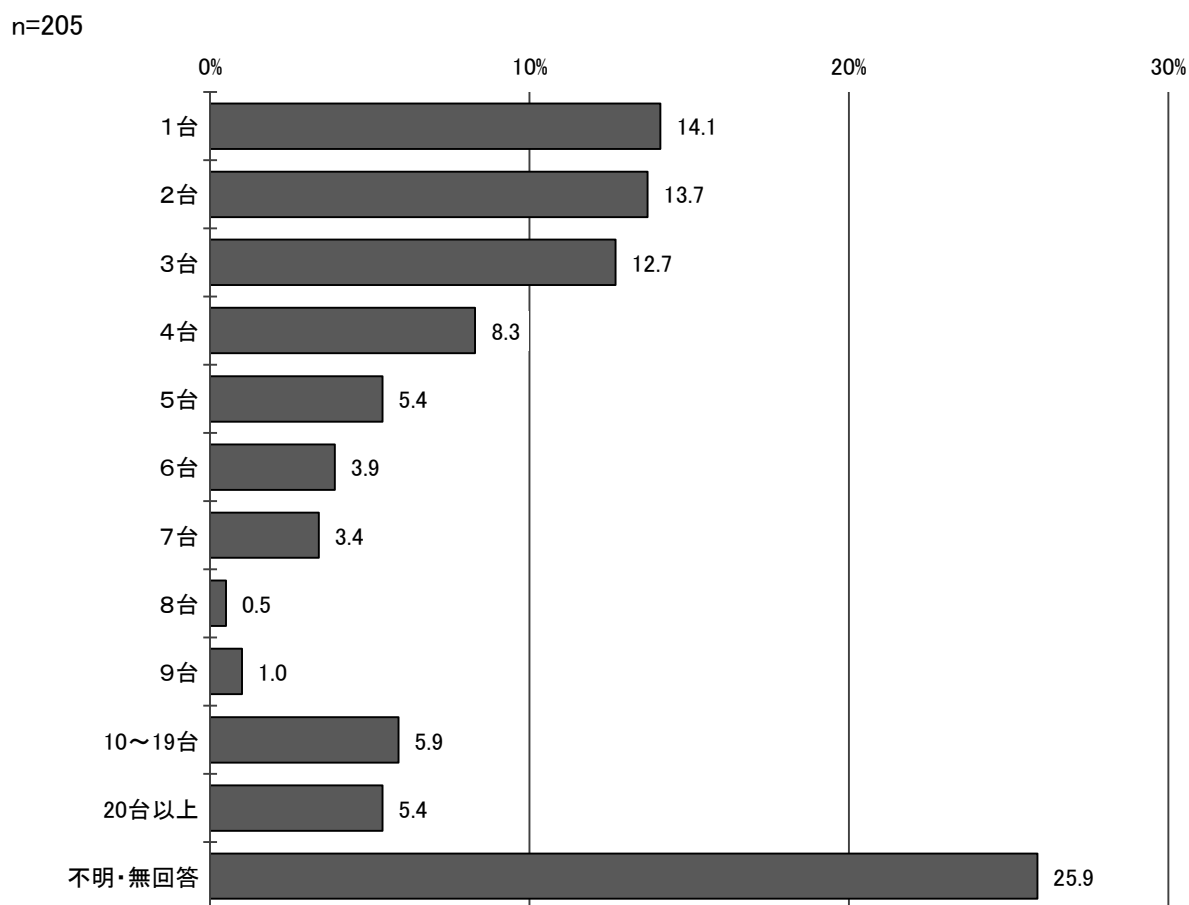
問 18 貴事業所では、自動車を保有していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「保有している」が89.5%、「保有していない」が7.4%となっています。



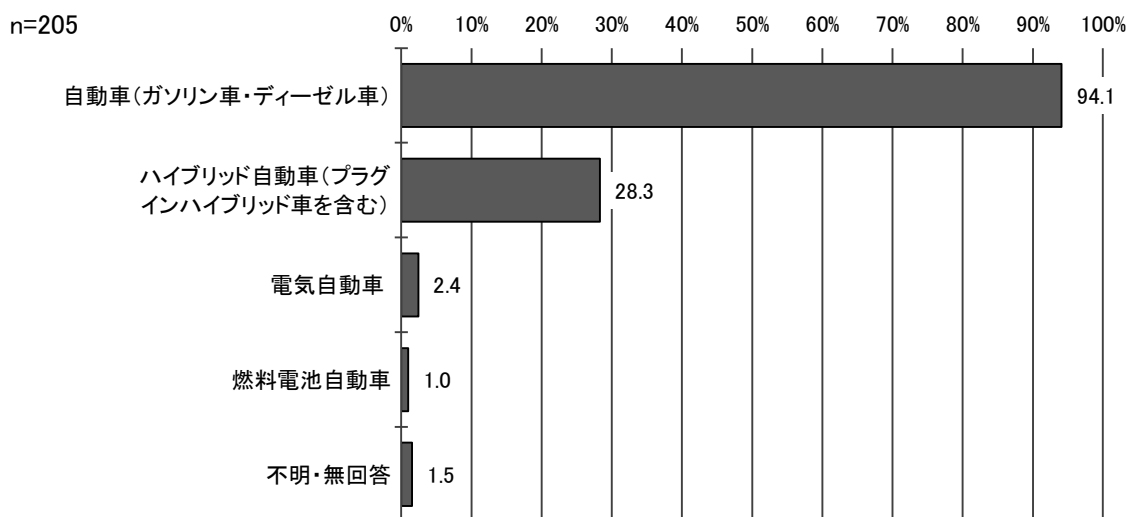
■保有台数

「1台」が14.1%と最も多く、次いで「2台」が13.7%、「3台」が12.7%となっています。



問 19 問 18 で「保有している」と回答した方にお尋ねします。貴事業所では、どのような車を所有していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

「自動車(ガソリン車・ディーゼル車)」が 94.1%と最も多く、次いで「ハイブリッド自動車(プラグインハイブリッド車を含む)」が 28.3%、「電気自動車」が 2.4%となっています。

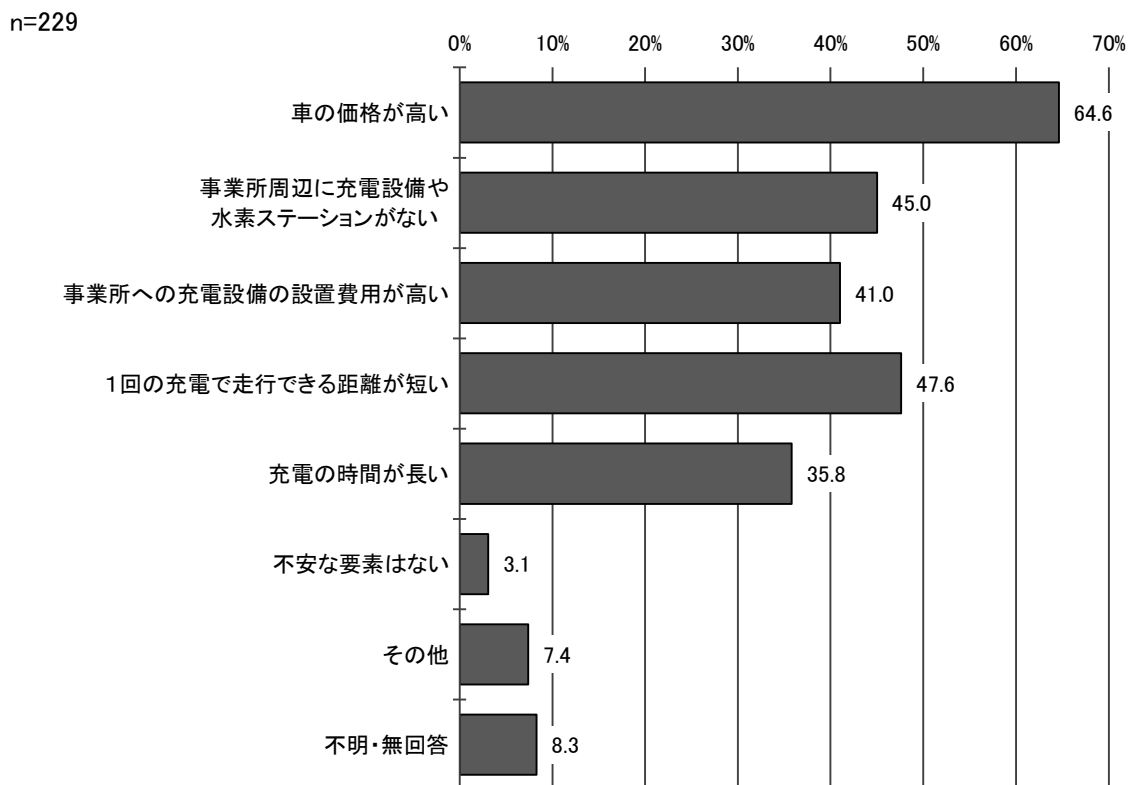


※プラグインハイブリッド車：ハイブリッド自動車の一種で、その中でも外部から充電できる自動車

※燃料電池自動車：燃料電池内で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーで、モーターを回して走る自動車

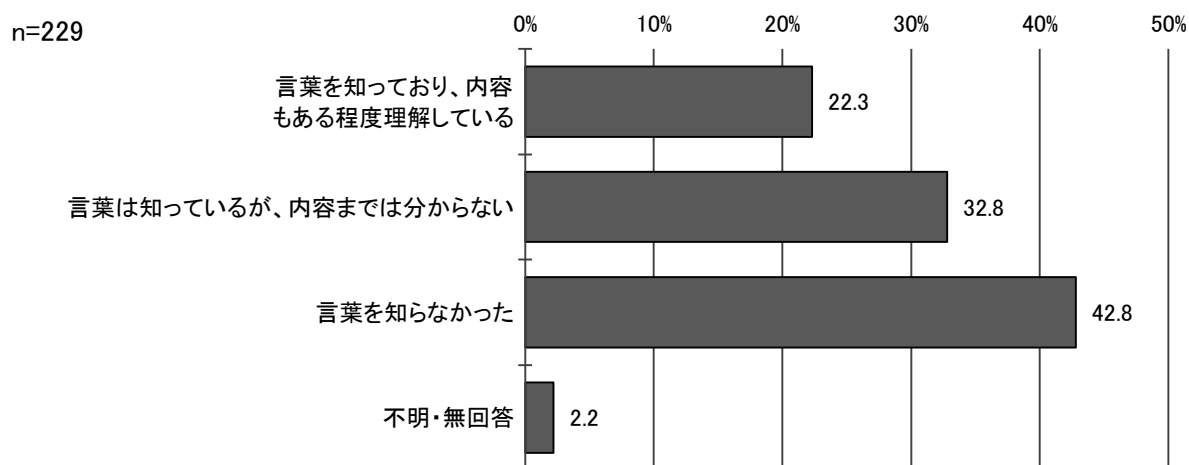
問 20 電気自動車等の購入にあたって、不安な要素はありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

「車の価格が高い」が 64.6%と最も多く、次いで「1回の充電で走行できる距離が短い」が 47.6%、「事業所周辺に充電設備や水素ステーションがない」が 45.0%となっています。



問 21 あなたは、「ソーラーカーポート」という言葉をご存じですか。あてはまるものを1つ選択してください。

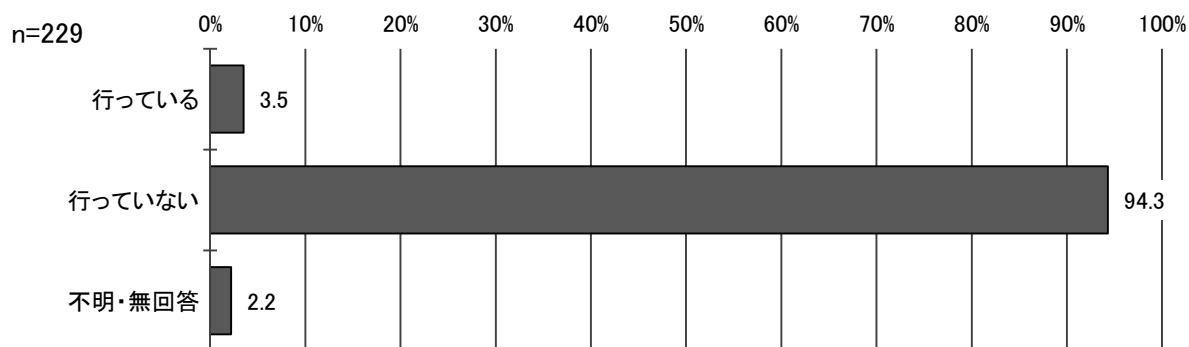
「言葉を知らなかった」が 42.8%と最も多く、次いで「言葉は知っているが、内容までは分からない」が 32.8%、「言葉を知っており、内容もある程度理解している」が 22.3%となっています。



5 カーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けた事業の取組について

問 22 貴事業所では、カーボンニュートラル（脱炭素社会）に関わる事業を行っていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「行っている」が3.5%、「行っていない」が94.3%となっています。



問 23 問 22 で「行っている」と回答した方にお尋ねします。行っている事業内容について教えてください。あてはまるものをすべて選択してください。

「省エネに係る商材の販売」が3件と最も多く、次いで「再エネ発電」「電気自動車の製造」が2件、「太陽光パネルの販売・設置」「電気自動車の販売」「省エネ機器の開発・研究」「省エネ機器の製造」「省エネ機器の販売」が1件となっています。

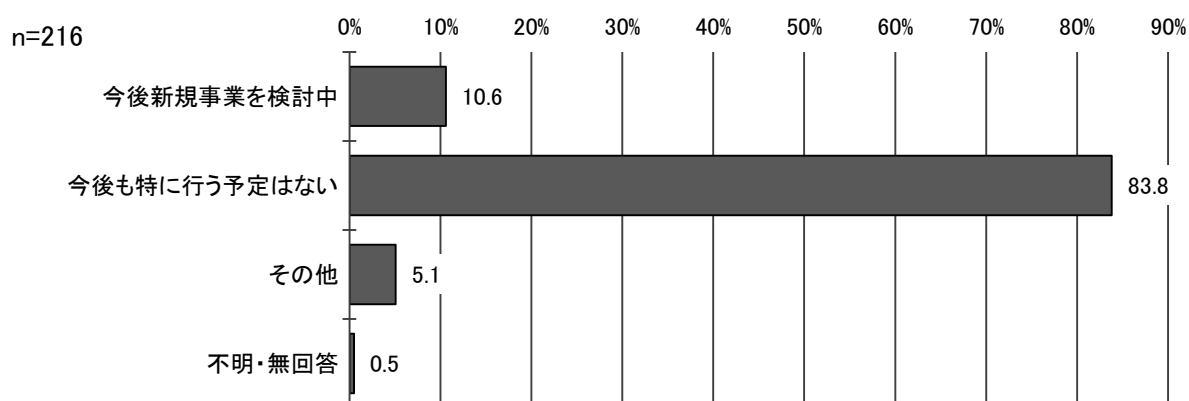
カテゴリ	件数
再エネ発電	2
太陽光パネルの販売・設置	1
PPA 事業	0
電気自動車の製造	2
電気自動車の販売	1
蓄電池供給	0
断熱材など省エネに係る商材の製造	0
省エネに係る商材の販売	3
環境に配慮した住宅の販売	0
省エネ機器の開発・研究	1
省エネ機器の製造	1
省エネ機器の販売	1
脱炭素を売りとした観光	0
その他	0
不明・無回答	0

問 24 問 22 で「行っている」と回答した方にお尋ねします。今後、さらに脱炭素に関わる事業拡大を検討しているかを教えてください。（自由記述）

内容
電気自動車の基本技術であるトラクションドライブの無段変速機の開発中
当社のノウハウである IH コイルの作り方のセミナーを行うことを進めている
再生率の高いアルミ製品の拡販+自社商品の開発
環境保全に何かしらアプローチできる新事業検討をしています。
太陽光パネル設置（追加）
本社が対応するため詳細はわからない

問 25 問 22 で「行っていない」と回答した方にお尋ねします。カーボンニュートラル（脱炭素社会）に関する事業に関して、今後の予定をお聞かせください。あてはまるものを1つ選択してください。

「今後も特に行う予定はない」が 83.8%と最も多く、次いで「今後新規事業を検討中」が 10.6%、「その他」が 5.1%となっています。

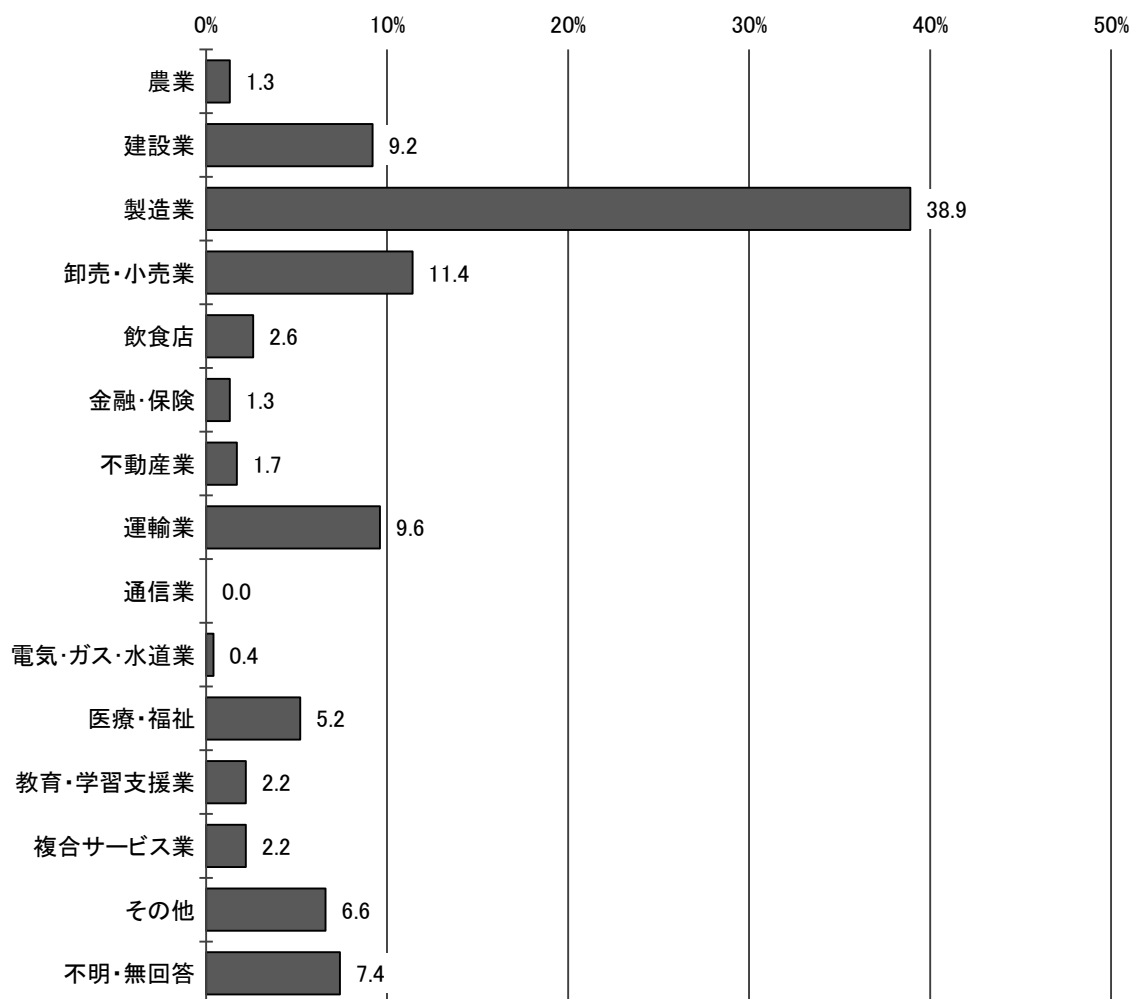


6 回答者について

業種

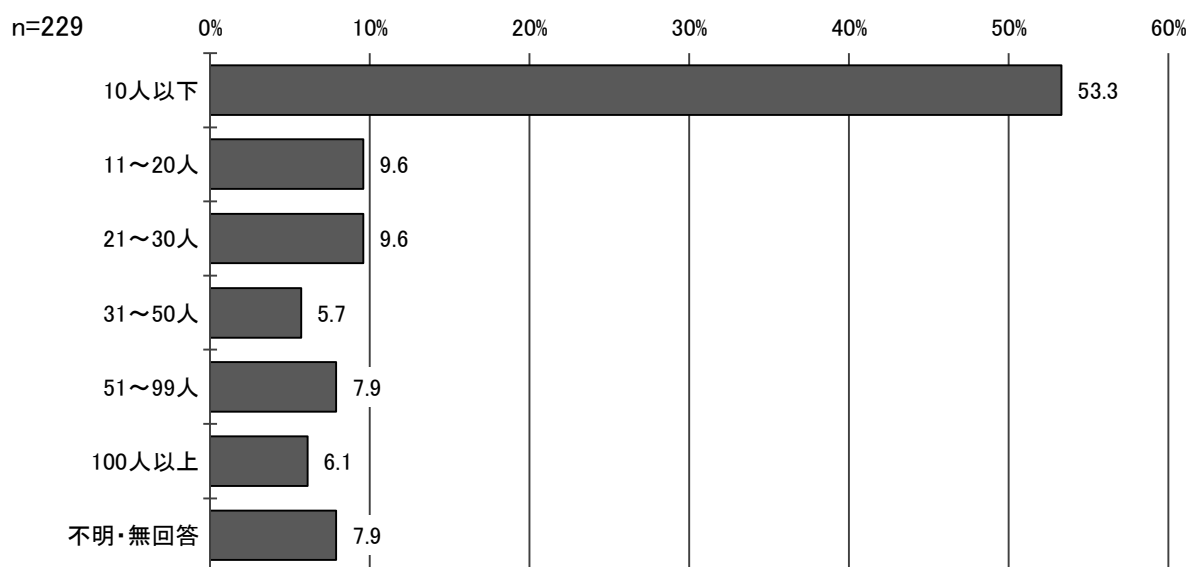
「製造業」が 38.9%と最も多く、次いで「卸売・小売業」が 11.4%、「運輸業」が 9.6%となっています。

n=229



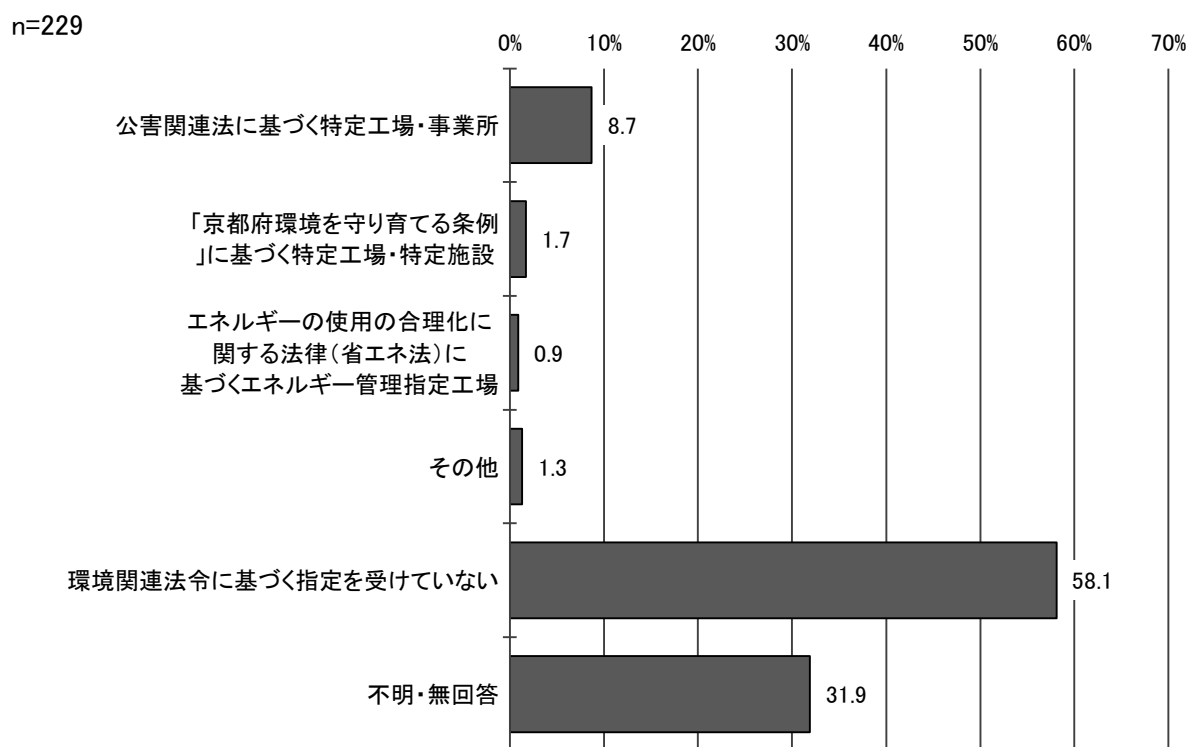
従業員数（パート含む）

「10人以下」が53.3%と最も多く、次いで「11～20人」「21～30人」が9.6%、「51～99人」が7.9%となっています。



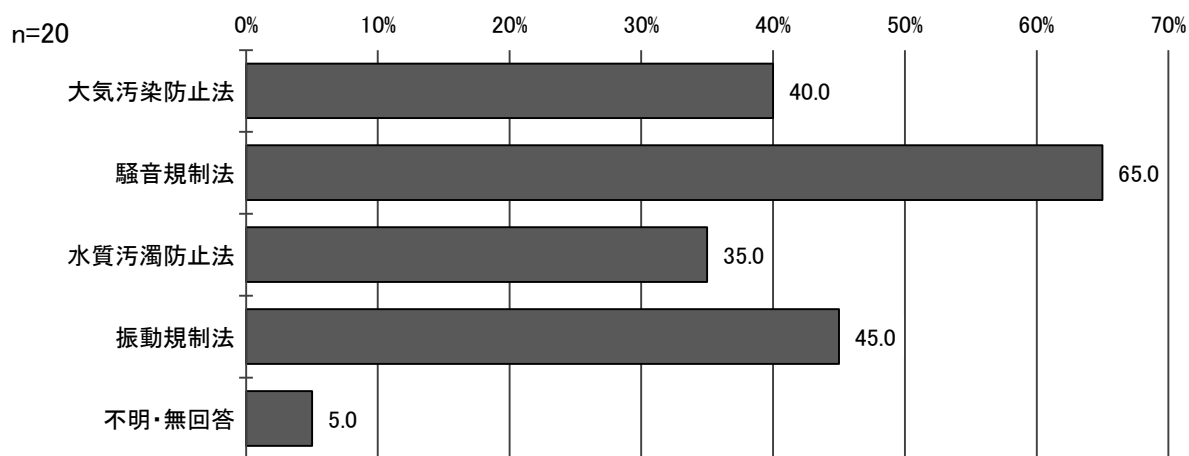
環境関連法令の指定状況

「環境関連法令に基づく指定を受けていない」が58.1%と最も多く、次いで「公害関連法に基づく特定工場・事業所」が8.7%、「京都府環境を守り育てる条例」に基づく特定工場・特定施設」が1.7%となっています。



「公害関連法に基づく特定工場・事業所」を回答された方

「騒音規制法」が 65.0%と最も多く、次いで「振動規制法」が 45.0%、「大気汚染防止法」が 40.0%となっています。



「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づくエネルギー管理指定工場」を回答された方

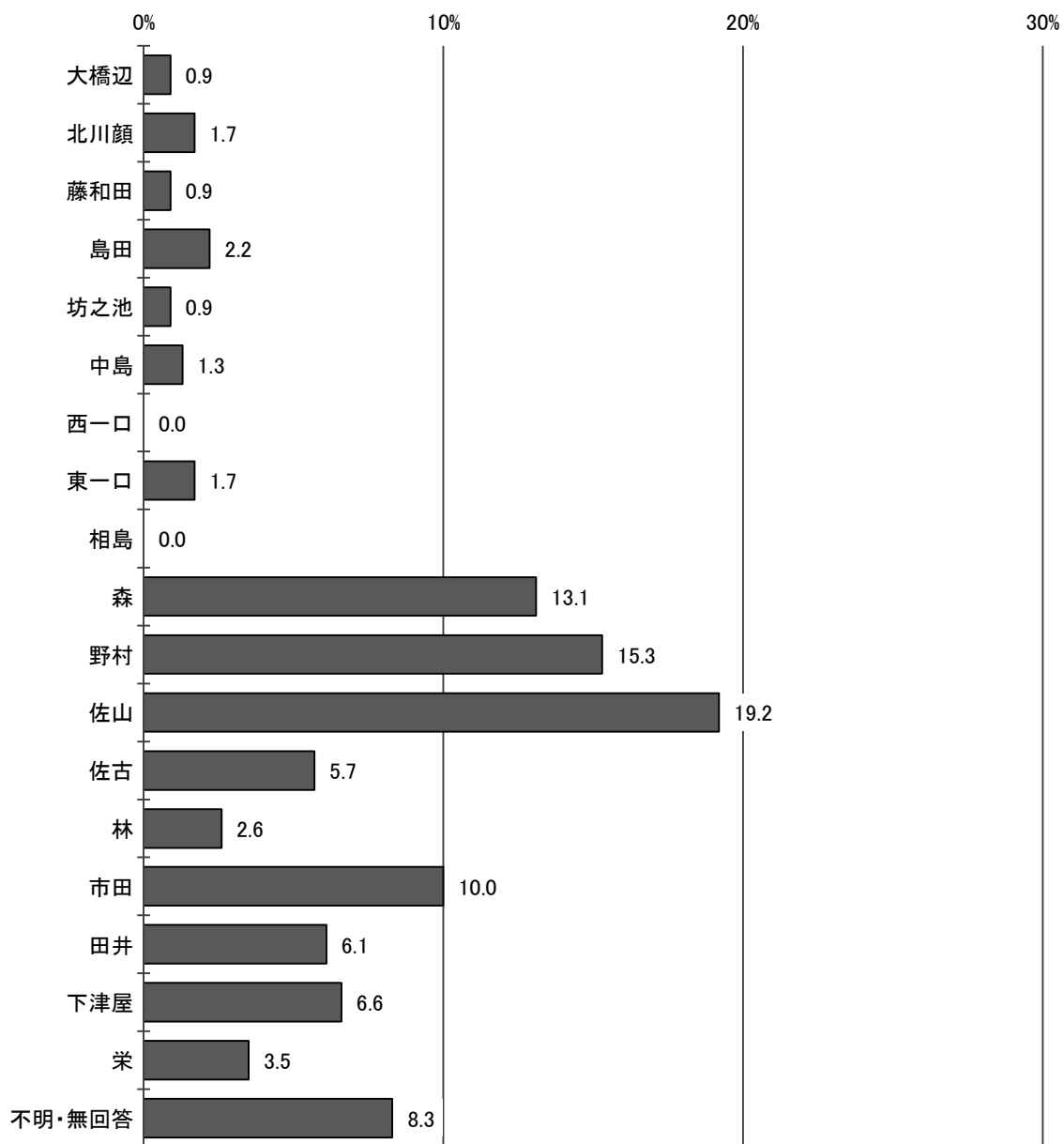
「第二種エネルギー管理指定工場」が1件となっています。

カテゴリ	件数
第一種エネルギー管理指定工場	0
第二種エネルギー管理指定工場	1
不明・無回答	1

所在地

「佐山」が 19.2%と最も多く、次いで「野村」が 15.3%、「森」が 13.1%となっています。

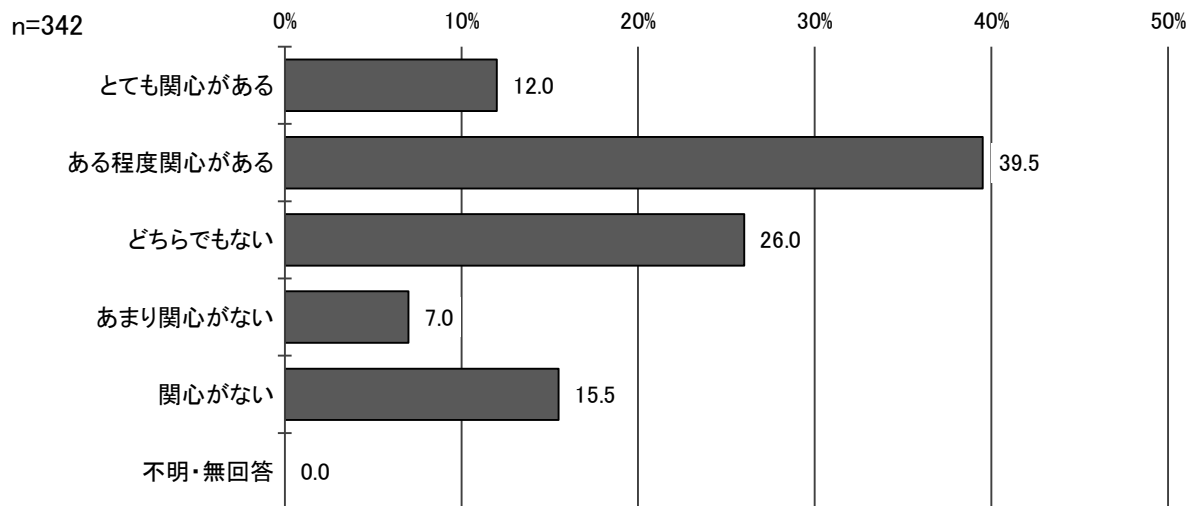
n=229



IV 中学生アンケート調査結果

問1 あなたは環境（例えば「地球温暖化」や「自然環境の保護」「生物多様性」「自然災害」など）について興味がありますか。あてはまるものを1つ選択してください。

「ある程度関心がある」が 39.5%と最も多く、次いで「どちらでもない」が 26.0%、「関心がない」が 15.5%となっています。



■住所別

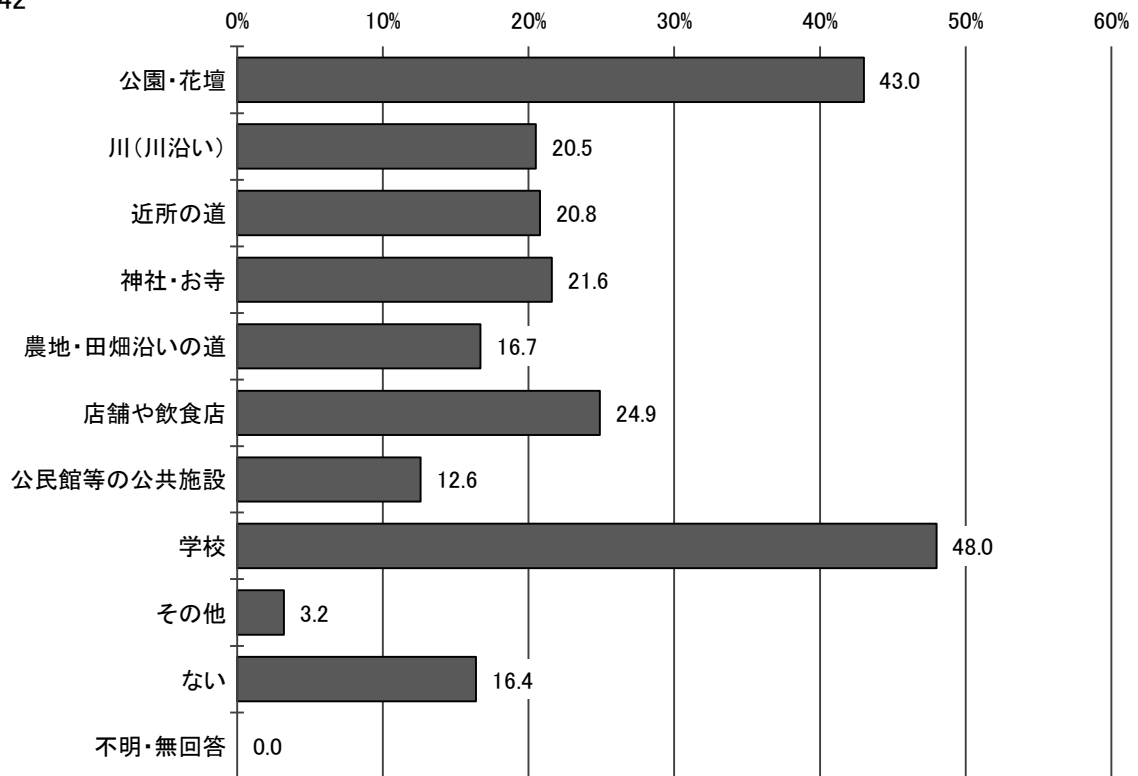
住所別では、住所によってばらつきがあり、全体では「ある程度関心がある」「どちらでもない」が高くなっています。また、『大橋辺』『北川顔』『中島』で「とても関心がある」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	とても関心 がある	ある程度関 心がある	どちらでもな い	あまり関心 がない	関心がない	不明・ 無回答
住所	大橋辺	9 100.0	6 66.7	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	北川顔	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	藤和田	15 100.0	1 6.7	7 46.7	5 33.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0
	島田	21 100.0	5 23.8	11 52.4	2 9.5	0 0.0	3 14.3	0 0.0
	坊之池	5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中島	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西一口	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	東一口	13 100.0	0 0.0	8 61.5	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	相島	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	森	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	野村	12 100.0	2 16.7	5 41.7	2 16.7	3 25.0	0 0.0	0 0.0
	佐山	49 100.0	3 6.1	21 42.9	10 20.4	5 10.2	10 20.4	0 0.0
	佐古	19 100.0	1 5.3	5 26.3	8 42.1	3 15.8	2 10.5	0 0.0
	林	54 100.0	6 11.1	17 31.5	19 35.2	5 9.3	7 13.0	0 0.0
	市田	26 100.0	3 11.5	12 46.2	5 19.2	1 3.8	5 19.2	0 0.0
	田井	16 100.0	1 6.3	7 43.8	5 31.3	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	下津屋	32 100.0	1 3.1	9 28.1	11 34.4	3 9.4	8 25.0	0 0.0
	栄	41 100.0	6 14.6	17 41.5	8 19.5	2 4.9	8 19.5	0 0.0
	その他町外	16 100.0	3 18.8	6 37.5	2 12.5	2 12.5	3 18.8	0 0.0

問2 久御山町内で、身近に自然とふれあえる、他人と交流できるような、あなたにとって大切な場所がありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

「学校」が48.0%と最も多く、次いで「公園・花壇」が43.0%、「店舗や飲食店」が24.9%となっています。

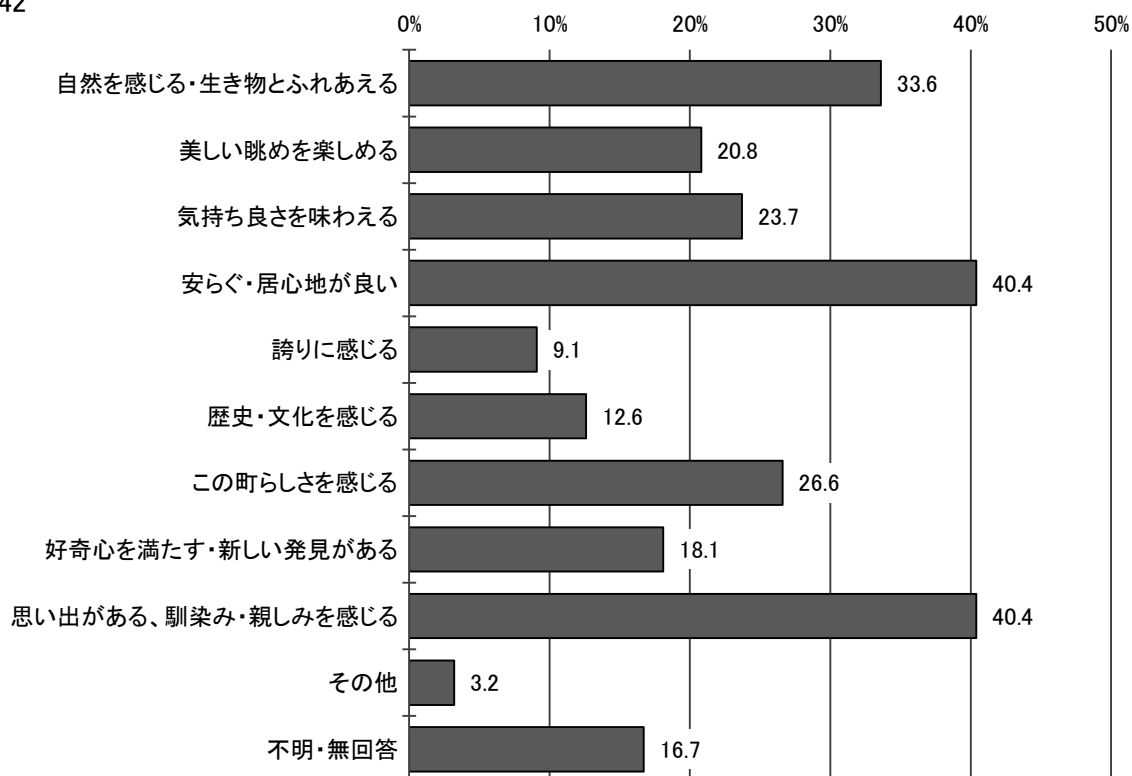
n=342



問3 問2で回答した場所が大切だと感じるのはなぜですか。あてはまるものをすべて選択してください。

「安らぐ・居心地が良い」「思い出がある、馴染み・親しみを感じる」が40.4%と最も多く、次いで「自然を感じる・生き物とふれあえる」が33.6%、「この町らしさを感じる」が26.6%となっています。

n=342



問4 あなたは、よりよい環境づくりのために普段どのようなことを行っていますか。次の項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

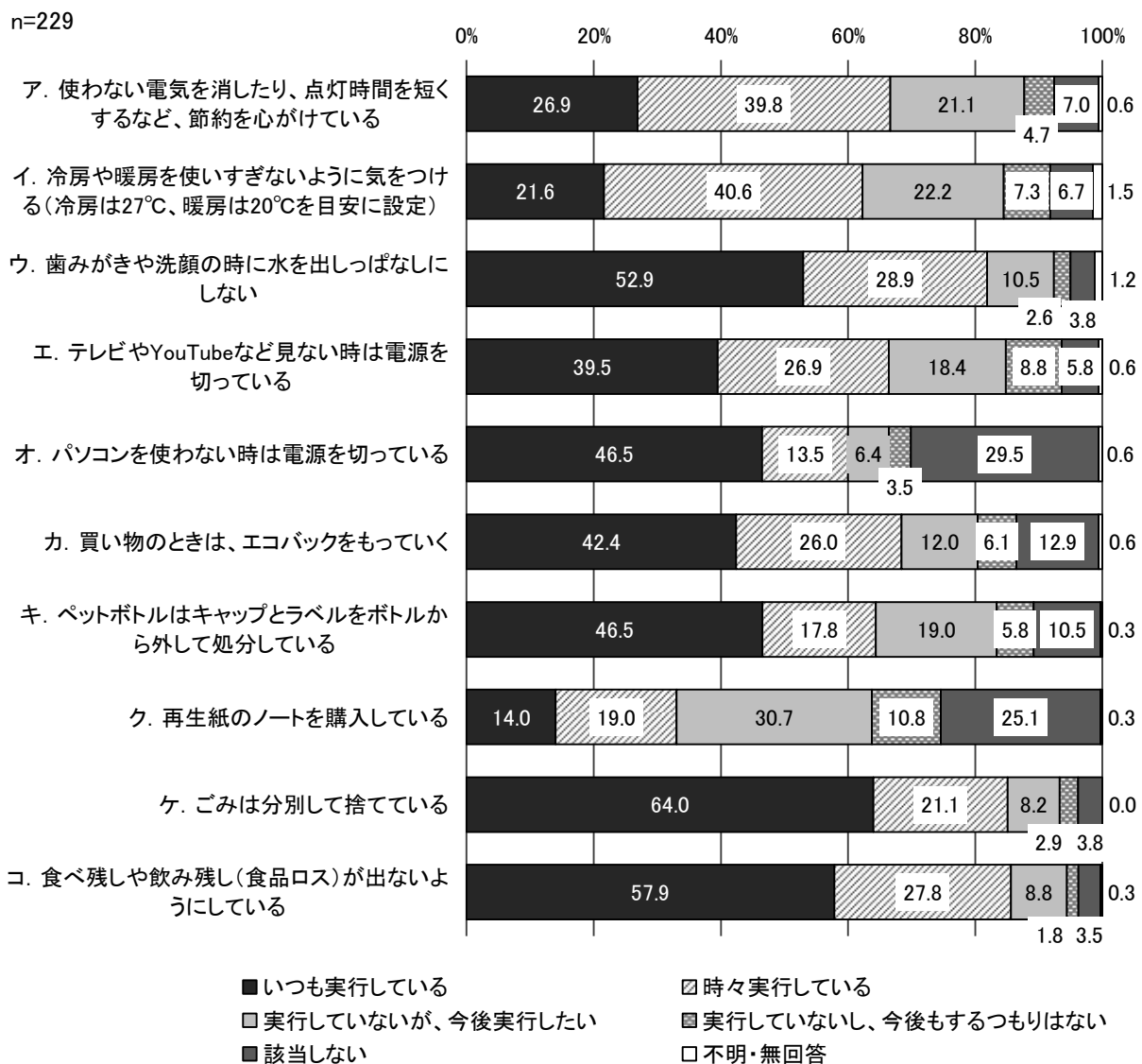
また、「実行していないし、今後もするつもりはない」と回答された箇所については、その理由として最もあてはまるものを下欄から1つ選び、番号を記入してください。

「いつも実行している」では、[ケ. ごみは分別して捨てている]が 64.0%と最も多く、次いで[コ. 食べ残しや飲み残し(食品ロス)が出ないようにしている]が 57.9%、[ウ. 歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない]が 52.9%となっています。

「時々実行している」では、[イ. 冷房や暖房を使いすぎないように気をつける(冷房は27℃、暖房は20℃を目安に設定)]が 40.6%と最も多く、次いで[ア. 使わない電気を消したり、点灯時間を短くするなど、節約を心がけている]が 39.8%、[ウ. 歯みがきや洗顔の時に水を出しっぱなしにしない]が 28.9%となっています。

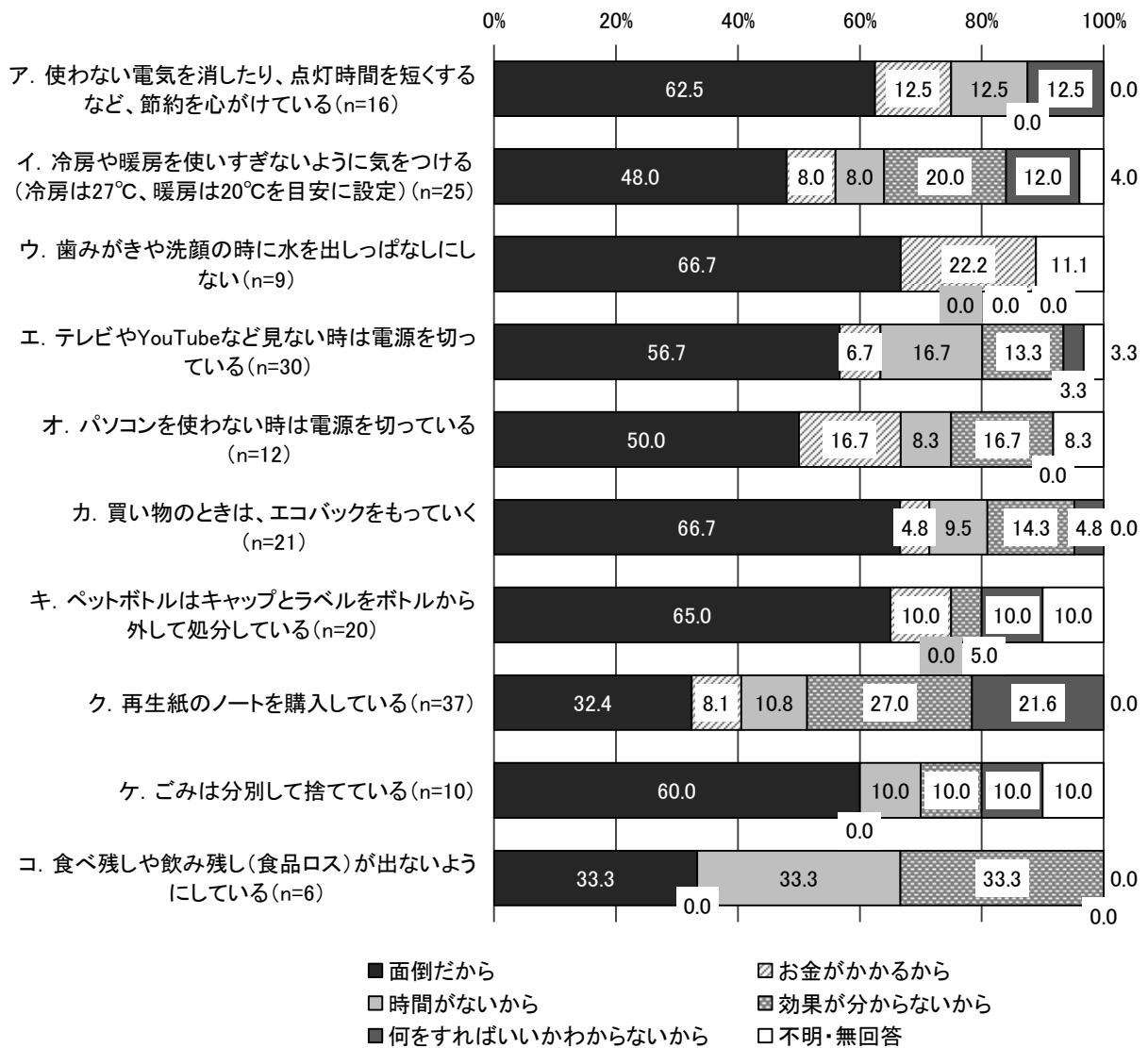
「実行していないが、今後実行したい」では、[ク. 再生紙のノートを購入している]が 30.8%と最も多く、次いで[イ. 冷房や暖房を使いすぎないように気をつける(冷房は27℃、暖房は20℃を目安に設定)]が 22.2%、[ア. 使わない電気を消したり、点灯時間を短くするなど、節約を心がけている]が 21.1%となっています。

「実行していないし、今後もするつもりはない」では、[ク. 再生紙のノートを購入している]が 10.8%と最も多く、その他の項目では1割未満となっています。



「実行していないし、今後もするつもりはない」と回答された理由

[コ. 食べ残しや飲み残し(食品ロス)が出ないようにしている]では「面倒だから」「時間がないから」「効果が分からないから」、その他の項目では「面倒だから」がそれぞれ最も多くなっています。



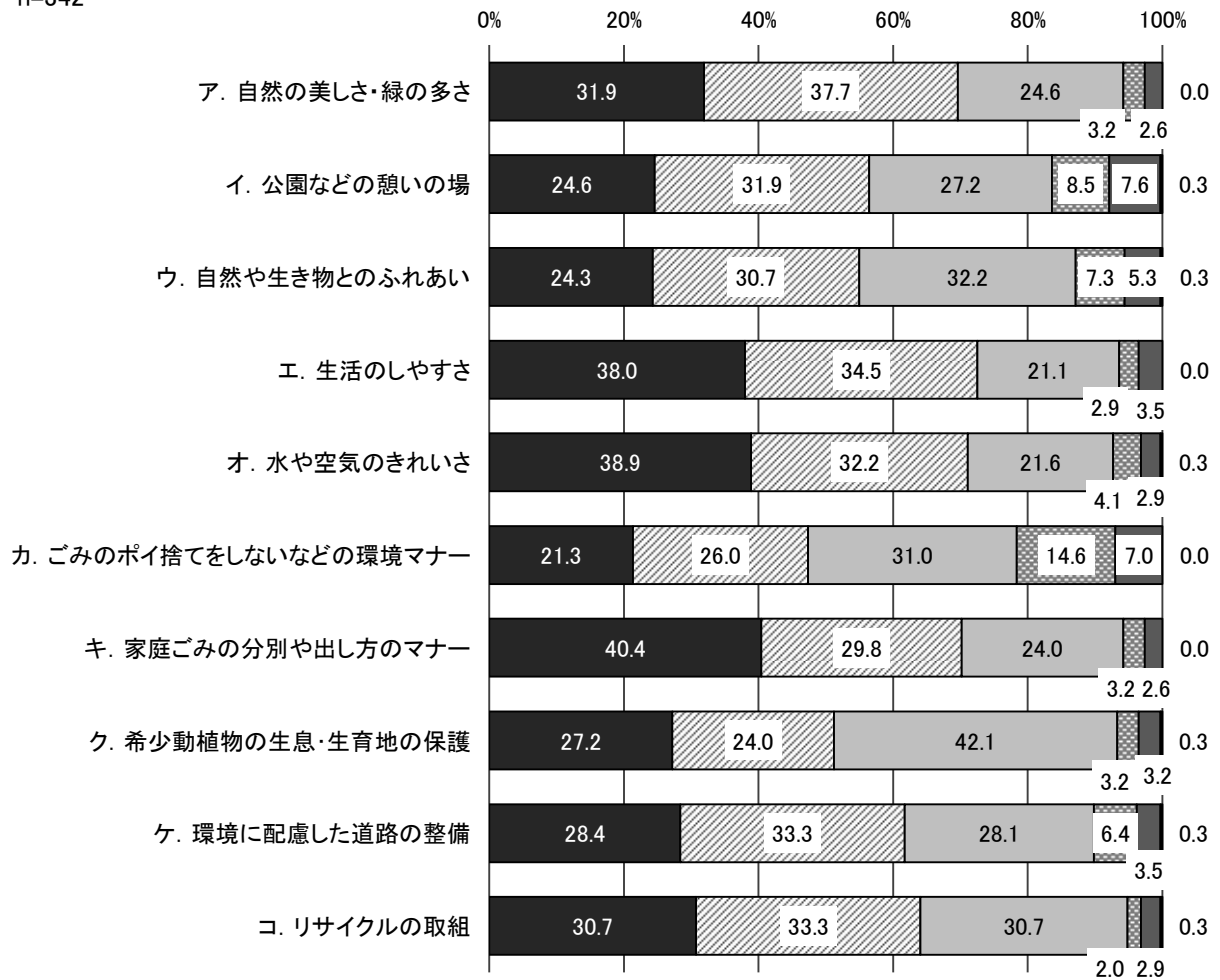
問5 あなたは、家や学校のまわりの環境について、どのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いものを満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

① 満足度

『満足計』では、[エ. 生活のしやすさ]が 72.5%と最も多く、次いで[オ. 水や空気のきれいさ]が 71.1%、[キ. 家庭ごみの分別や出し方のマナー]が 70.2%となっています。

『不満計』では、[カ. ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー]が 21.6%と最も多く、次いで[イ. 公園などの憩いの場]が 16.1%、[ウ. 自然や生き物とのふれあい]が 12.6%となっています。

n=342



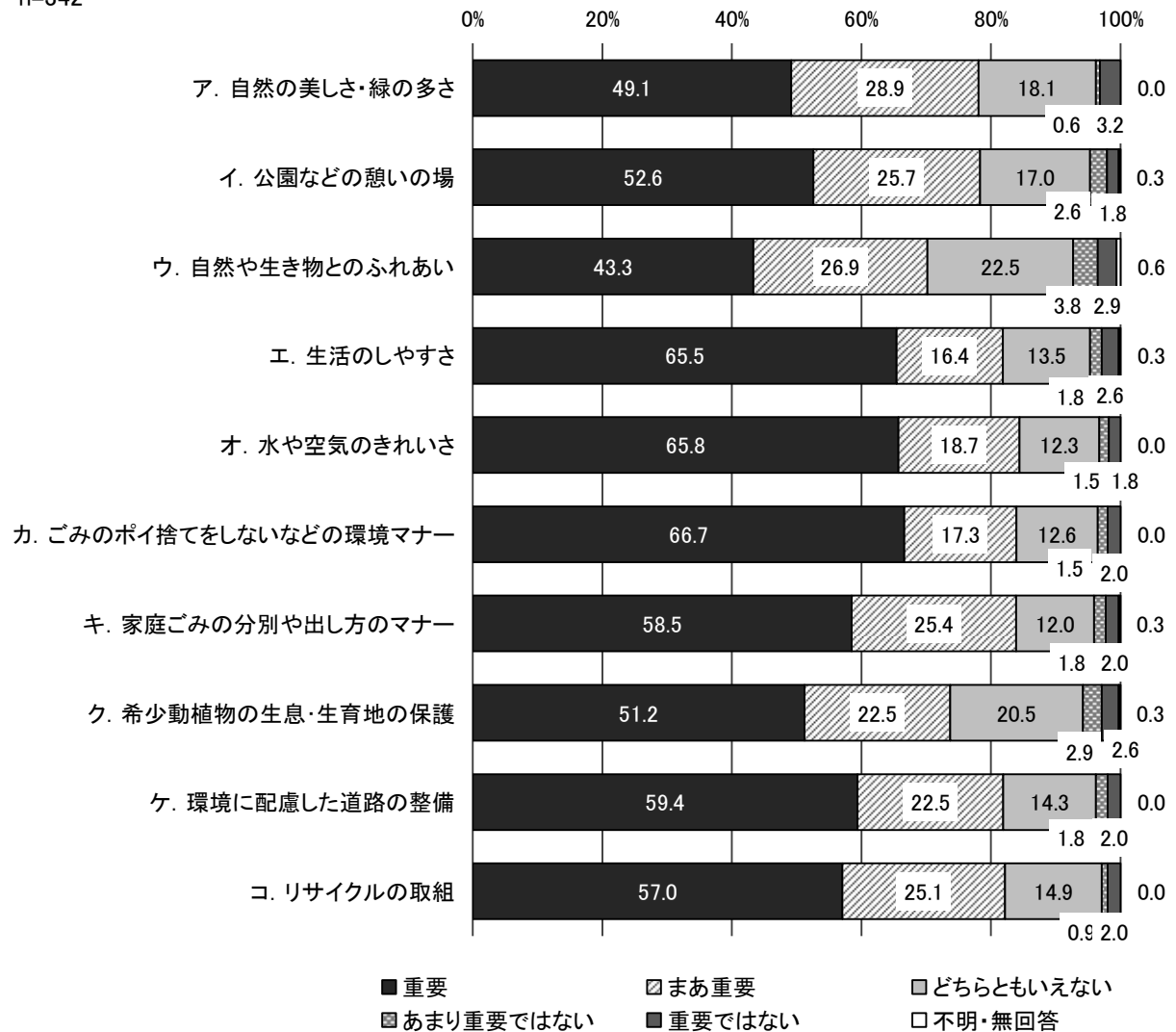
■ 満足 □ まあ満足 □ どちらともいえない □ やや不満 ■ 不満 □ 不明・無回答

② 重要度

『重要計』では、すべての項目で7～8割台となっていますが、「ウ. 自然や生き物とのふれあい」「ク. 希少動植物の生息・生育地の保護」で7割台前半と他の項目と比べて低くなっています。

『重要ではない計』では、いずれの項目も1割未満となっています。

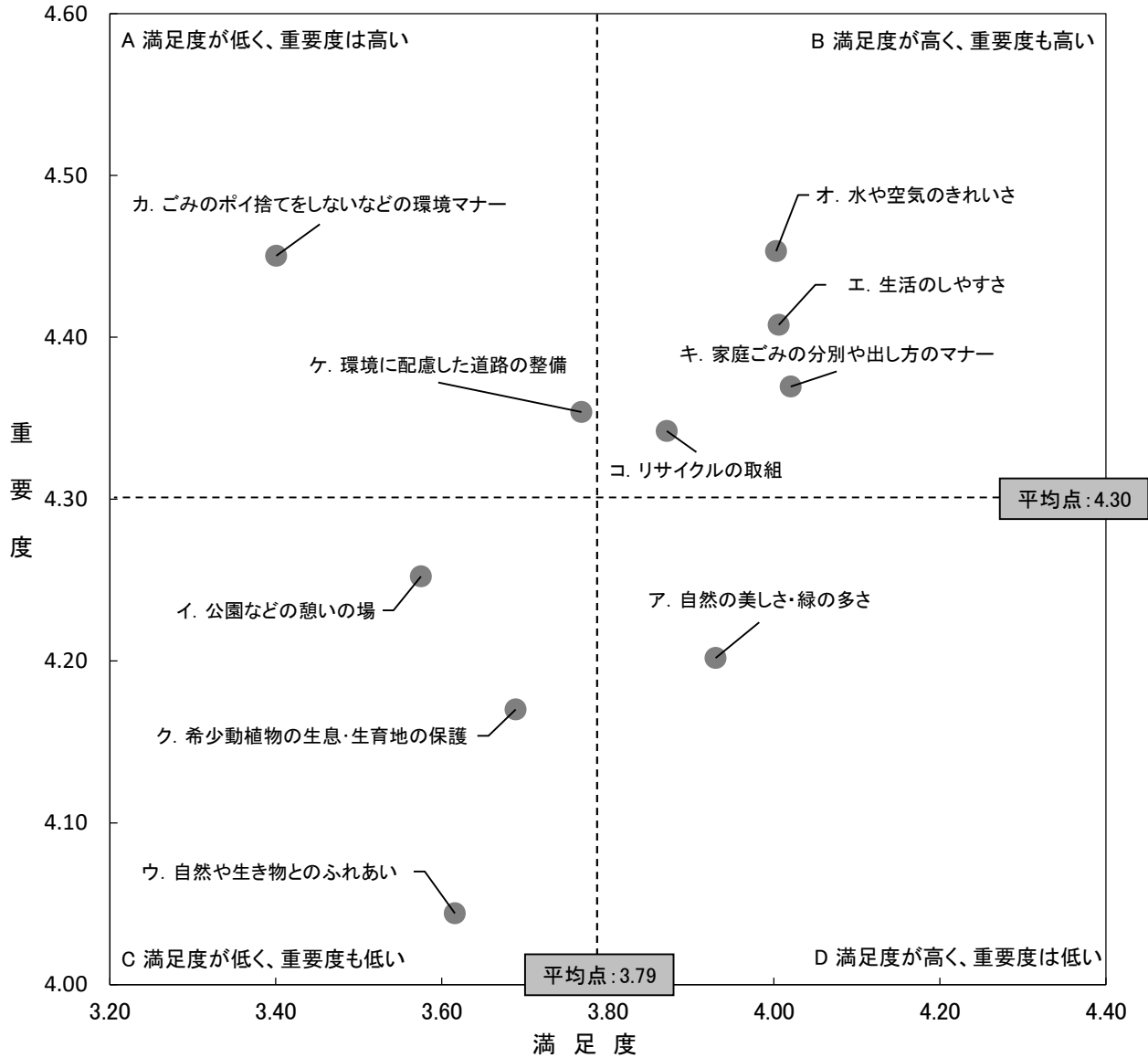
n=342



満足度と重要度の相関（優先度） 散布図

家や学校のまわりの環境についての重要度・満足度をみると、〈カ、ごみのポイ捨てをしないなどの環境マナー〉〈ケ、環境に配慮した道路の整備〉の満足度が低く、重要度が高くなっています。

n=342

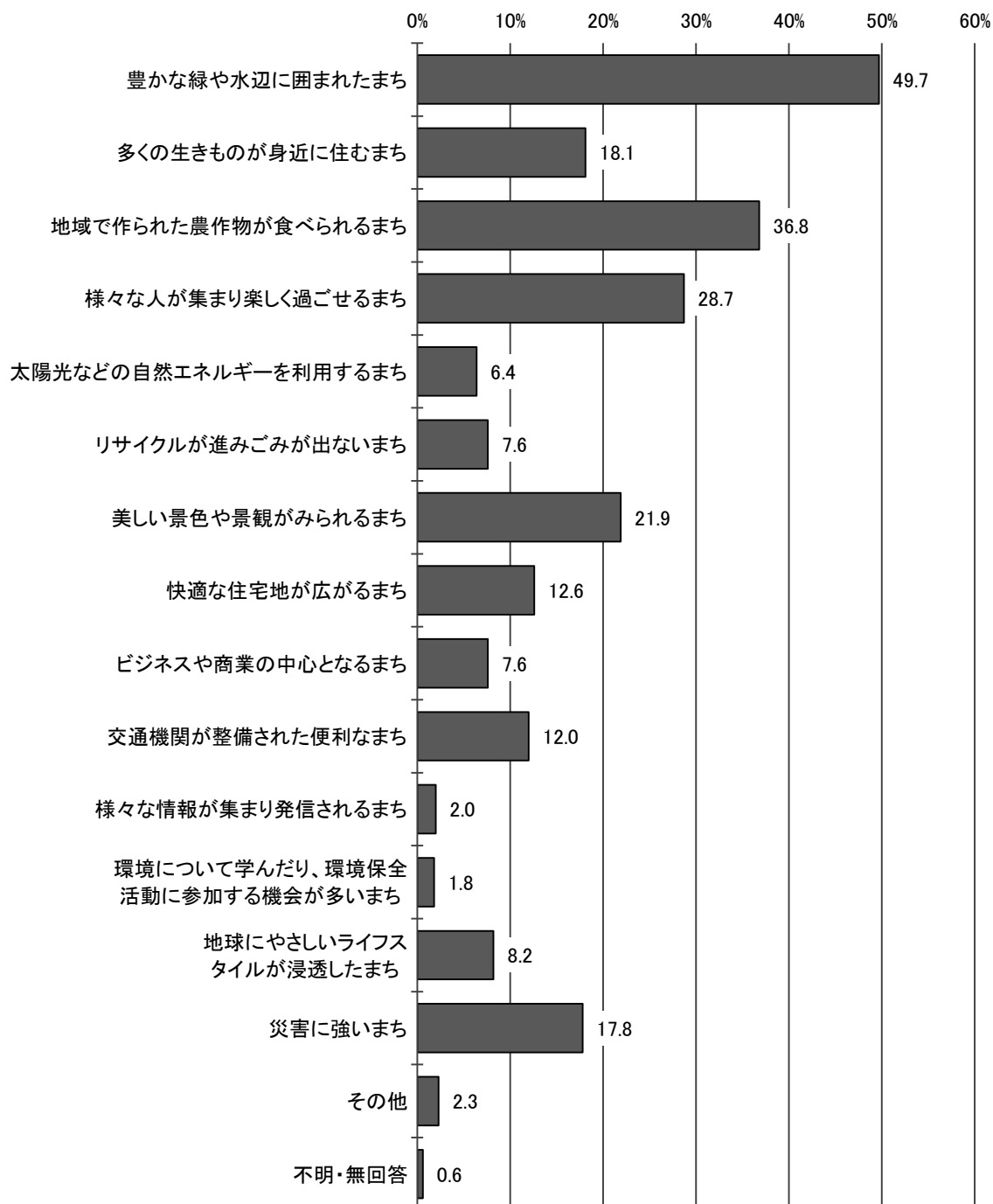


【点数化の説明】
 各施策に対する市民の評価を点数化し、満足度と重要度の2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示している。点数化の方法は以下の通り。
 満足度: 各項目について、「満足」を5点、「まあ満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出
 重要度: 各項目について、「重要」を5点、「まあ重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とした各回答の合計点を、不明・無回答を除いた回答者数で除し、平均点を算出

問6 将来の久御山町の環境を表すキーワードとして何をイメージしますか。次の中から3つまで選択してください。

「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」が49.7%と最も多く、次いで「地域で作られた農作物が食べられるまち」が36.8%、「様々な人が集まり楽しく過ごせるまち」が28.7%となっています。

n=342



■住所別

住所別では、住所によってばらつきがあり、全体では「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」「地域で作られた農作物が食べられるまち」が高くなっています。また、『坊之池』で「美しい景色や景観がみられるまち」「交通機関が整備された便利なまち」「地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち」、『森』で「災害に強いまち」、『佐古』で「様々な人が集まり楽しく過ごせるまち」も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や水辺に囲まれたまち	多くの生きものが身近に住むまち	地域で作られた農作物が食べられるまち	様々な人が集まり楽しく過ごせるまち	太陽光などの自然エネルギーを利用するまち	リサイクルが進みごみが出ないまち	美しい景色や景観がみられるまち	快適な住宅地が広がるまち
住所	大橋辺	9	7	1	1	1	0	0	0	0
	100.0	77.8	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	北川顔	3	2	1	0	1	0	0	1	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	
	藤和田	15	10	2	6	3	1	1	4	2
	100.0	66.7	13.3	40.0	20.0	6.7	6.7	26.7	13.3	
	島田	21	10	7	8	5	0	2	6	3
	100.0	47.6	33.3	38.1	23.8	0.0	9.5	28.6	14.3	
	坊之池	5	2	1	2	0	0	0	2	0
	100.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	
	中島	3	1	0	3	0	0	0	1	0
	100.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	西一口	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	東一口	13	9	2	4	5	2	1	1	1
	100.0	69.2	15.4	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7	7.7	
	相島	3	2	0	2	1	0	0	1	1
	100.0	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	
	森	3	2	0	0	1	0	0	1	1
	100.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	
野村	12	11	3	5	1	0	1	4	1	
100.0	91.7	25.0	41.7	8.3	0.0	8.3	33.3	8.3		
佐山	49	24	8	20	19	3	4	13	6	
100.0	49.0	16.3	40.8	38.8	6.1	8.2	28.5	12.2		
佐古	19	7	3	4	7	1	3	2	5	
100.0	36.8	15.8	21.1	36.8	5.3	15.8	10.5	26.3		
林	54	28	13	18	15	5	5	11	8	
100.0	51.9	24.1	33.3	27.8	9.3	9.3	20.4	14.8		
市田	26	13	6	12	11	2	0	5	3	
100.0	50.0	23.1	46.2	42.3	7.7	0.0	19.2	11.5		
田井	16	4	4	7	5	1	2	4	2	
100.0	25.0	25.0	43.8	31.3	6.3	12.5	25.0	12.5		
下津屋	32	10	4	9	7	6	4	8	3	
100.0	31.3	12.5	28.1	21.9	18.8	12.5	25.0	9.4		
栄	41	19	4	19	12	1	3	10	5	
100.0	46.3	9.8	46.3	29.3	2.4	7.3	24.4	12.2		
その他町外	16	8	3	5	3	0	0	1	2	
100.0	50.0	18.8	31.3	18.8	0.0	0.0	6.3	12.5		

上段:件数 下段:%		ビジネスや商業の中心となるまち	交通機関が整備された便利なまち	様々な情報が集まり発信されるまち	環境について学んだり、環境保全活動に参加する機会が多いまち	地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち	災害に強いまち	その他	不明・無回答
住所	大橋辺	0	0	0	0	0	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	北川顔	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	藤和田	4	3	0	0	3	1	0	0
	26.7	20.0	0.0	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	島田	1	5	0	1	2	4	0	1
	4.8	23.8	0.0	4.8	9.5	19.0	0.0	4.8	0.0
	坊之池	0	2	0	0	2	1	0	0
	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	中島	0	0	0	1	1	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	西一口	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東一口	1	2	0	0	1	1	0	0
	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0
	相島	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	森	1	0	0	1	0	2	0	0
	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
野村	1	2	0	0	1	2	0	0	
8.3	16.7	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	
佐山	4	1	2	0	5	8	1	1	
8.2	2.0	4.1	0.0	10.2	16.3	2.0	2.0	0.0	
佐古	2	3	1	0	2	6	0	0	
10.5	15.8	5.3	0.0	10.5	31.6	0.0	0.0	0.0	
林	4	6	0	2	4	8	1	0	
7.4	11.1	0.0	3.7	7.4	14.8	1.9	0.0	0.0	
市田	2	2	2	1	1	6	0	0	
7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	23.1	0.0	0.0	0.0	
田井	2	2	0	0	2	3	1	0	
12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	18.8	6.3	0.0	0.0	
下津屋	3	4	0	0	1	9	0	0	
9.4	12.5	0.0	0.0	3.1	28.1	0.0	0.0	0.0	
栄	1	7	0	0	1	7	1	0	
2.4	17.1	0.0	0.0	2.4	17.1	2.4	0.0	0.0	
その他町外	0	2	2	0	1	2	4	0	
0.0	12.5	12.5	0.0	6.3	12.5	25.0	0.0	0.0	

■環境への関心度別（×問1）

環境への関心度別では、すべての関心度で「豊かな緑や水辺に囲まれたまち」が最も高く、次いで「地域で作られた農作物が食べられるまち」となっています。また、3番目に高い項目では、『関心がある』『どちらでもない』で「様々な人が集まり楽しく過ごせるまち」、『関心がない』で「美しい景色や景観がみられるまち」となっています。

一方、他の項目では『関心がない』より『関心がある』で高い項目は、「交通機関が整備された便利なまち」「地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち」、『関心がある』より『関心がない』で高い項目は、「リサイクルが進みごみが出ないまち」「様々な情報が集まり発信されるまち」となっています。

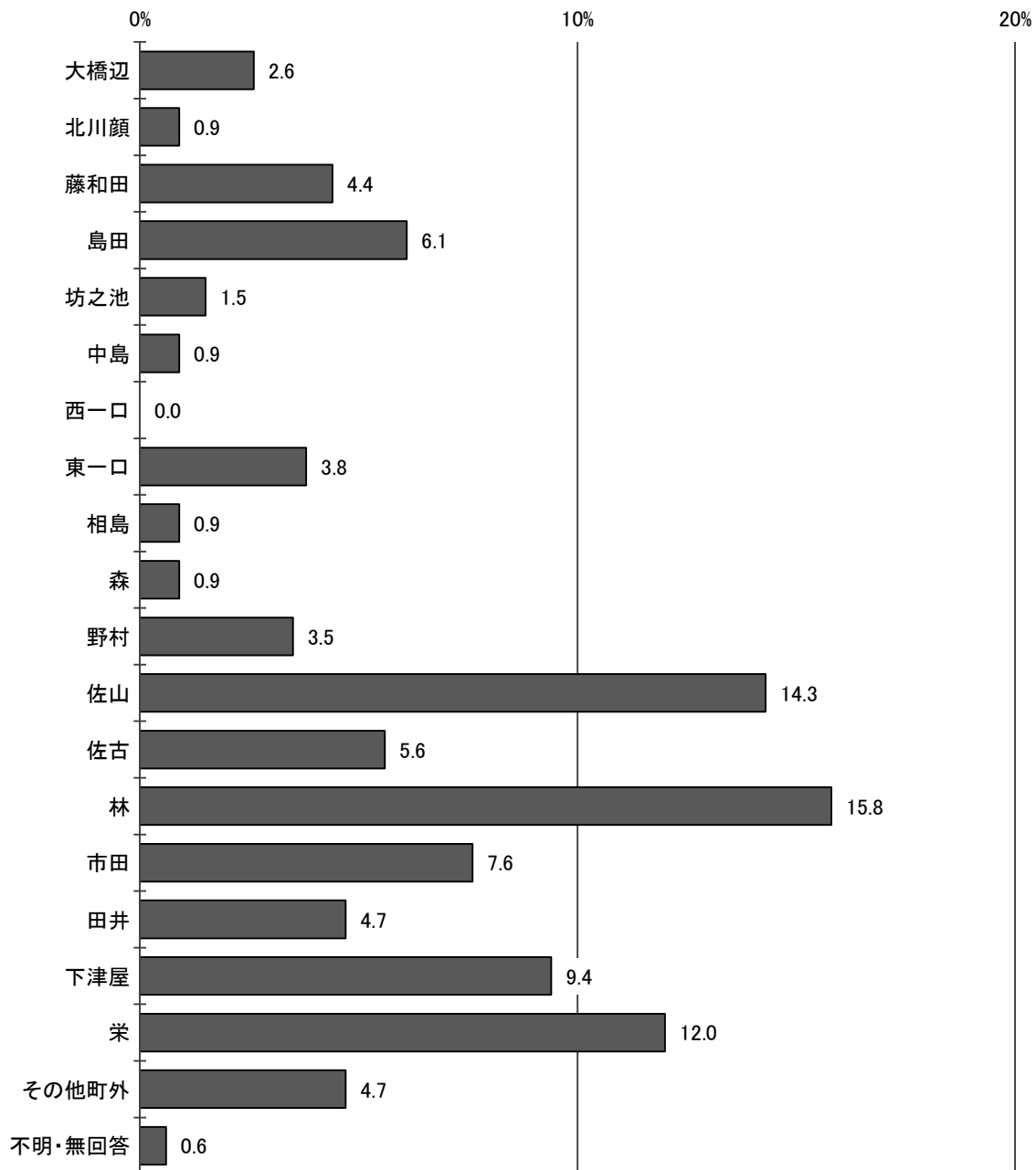
上段:件数 下段:%		合計	豊かな緑や水辺に囲まれたまち	多くの生きものが身近に住むまち	地域で作られた農作物が食べられるまち	様々な人が集まり楽しく過ごせるまち	太陽光などの自然エネルギーを利用するまち	リサイクルが進みごみが出ないまち	美しい景色や景観がみられるまち	快適な住宅地が広がるまち
環境への関心度	関心がある	176	94	33	71	47	11	10	41	24
		100.0	53.4	18.8	40.3	26.7	6.3	5.7	23.3	13.6
	どちらでもない	89	46	17	32	34	5	6	15	9
		100.0	51.7	19.1	36.0	38.2	5.6	6.7	16.9	10.1
	関心がない	77	30	12	23	17	6	10	19	10
		100.0	39.0	15.6	29.9	22.1	7.8	13.0	24.7	13.0

上段:件数 下段:%		ビジネスや商業の中心となるまち	交通機関が整備された便利なまち	様々な情報が集まり発信されるまち	環境について学んだり、環境保全活動に参加する機会が多いまち	地球にやさしいライフスタイルが浸透したまち	災害に強いまち	その他	不明・無回答
環境への関心度	関心がある	13	25	2	2	16	33	3	1
		7.4	14.2	1.1	1.1	9.1	18.8	1.7	0.6
	どちらでもない	7	13	2	3	10	13	1	0
		7.9	14.6	2.2	3.4	11.2	14.6	1.1	0.0
	関心がない	6	3	3	1	2	15	4	1
		7.8	3.9	3.9	1.3	2.6	19.5	5.2	1.3

問7 あなたのお住まいはどこですか。あてはまるものを1つ選択してください。

「林」が15.8%と最も多く、次いで「佐山」が14.3%、「栄」が12.0%となっています。

n=342



久御山町環境基本計画(久御山町地球温暖化
対策実行計画「区域施策編」含む)
策定にかかるアンケート調査
結果報告書

発行:久御山町 事業環境部 産業・環境政策課
TEL:075-631-9964、0774-45-3914

発行年月:令和5年4月